武蔵野市第五期基本構想・長期計画

無作為抽出市民ワークショップⅡ

（平成 23 年 3 月 5 日・6 日開催）

報告書

武蔵野市

目　次

§１　ワークショップ討議結果報告
１　目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２　位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３　テーマ及び実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
４　ワークショップ
（１）出された意見（得票順）
①「健康・福祉」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
②「子ども・教育」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
③「緑・環境・市民生活」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
④「都市基盤・行財政」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
（２）出された意見（グループ別）
①「健康・福祉」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
②「子ども・教育」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
③「緑・環境・市民生活」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
④「都市基盤・行財政」分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
§２　ワークショップ実施状況報告
１　事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
２　事務日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
３　当日の進行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
４　使用したシート等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
５　ワークショップの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
６　参加者の状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
７　今回の無作為抽出市民ワークショップの成果・評価・・・・・・・・・・６０
資料
１　参加者属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５
２　参加者アンケート集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
３　参加不承諾者アンケート集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７４
４　その他資料
（１）ワークショップのご案内（新規参加者用）・・・・・・・・・・・・・・８８
（２）承諾書兼振込依頼書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９０
（３）ワークショップのご案内（前回参加者用）・・・・・・・・・・・・・・９１
（４）ワークショップへのご案内（再送付）・・・・・・・・・・・・・・・・９２
（５）参加承諾者への通知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９２
（６）プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９３
（７）見学のルール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９６

ワークショップ討議結果報告

1　目的

武蔵野市では、これまで長期計画策定にあたっては、市民委員および副市長による策定委員会を中心とし、市民参加・議員参加・職員参加による、いわゆる「武蔵野市方式」により策定を行ってきた。

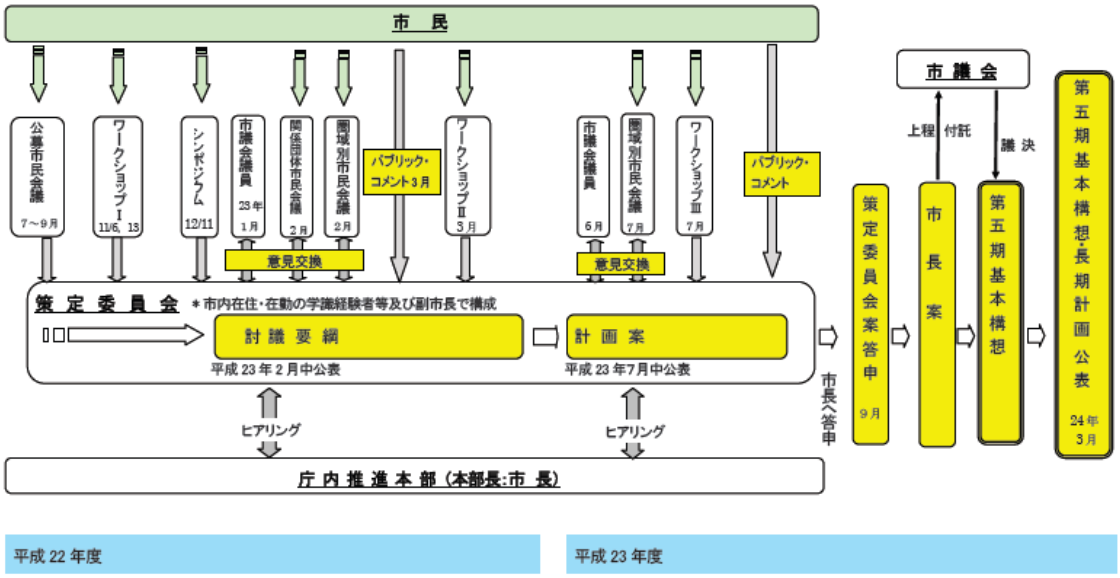
第五期基本構想・長期計画の策定も、この「武蔵野市方式」を継承するが、新たな試みとして無作為に選出された市民によるワークショップを行っている。今回は、昨年 11 月に続いて 2 回目の開催で、「討議要綱」をテーマに行った。

本ワークショップは、長期計画策定過程で行うもので、これまで市政などに参加の機会が無かった多くの市民にも参加いただき、多様な意見をいただくとともに、今後の社会参加のきっかけの一助になることを目的として行ったものである。

2　位置づけ

第五期基本構想・長期計画策定にあたっては、皮切りとなった公募市民による「武蔵野市の将来を考える市民会議」、続いて始まった策定委員会、その他「圏域別市民会議」、「関係団体市民会議」や「シンポジウム」など、さまざまな市民参加の機会を設けてきた。本ワークショップは、この多様な市民参加の一環として市が実施したものである。本ワークショップから出された意見は、本報告書をもって市長へ報告するとともに、計画案策定に向けた議論の資料として策定委員会へも報告する。

なお第五期基本構想・長期計画の策定スケジュールの全体像は下表のとおりで、無作為抽出市民によるワークショップⅢは、計画案をテーマとして夏頃行う予定である。



３　テーマ及び実施方法

本ワークショップでは、「討議要綱について」をテーマとして、「健康・福祉」「子ども・教育」「緑・環境・市民生活」「都市基盤・行財政」の四つの分野に分かれて、その記載内容について討議等を行った。現在、第五期基本構想・長期計画の分野や章立てなどは決定していないが、討議要綱はこれまでの基本構想・長期計画の分野をそのまま継承しているため、本ワークショップの討議もこの分野に沿って行ったものである。

討議は、各分野について１グループ４～５名ずつ９～１０グループに分かれて行った。分野とグループは、受付でくじを引いて決定した。また、多くの方と意見交換することで、より深い議論となるよう途中でメンバーの交代を行った後、再度、当初のメンバーに戻って議論を行い、最後にグループの意見をまとめた。意見は、基本的に討議要綱に記載してある項目ごとに分類してまとめ、討議要綱に書かれていない分野については新しい項目としてまとめた。その中から特に主張すべき意見を３つまで選び、その項目を選んだ理由と意見を発表用シートに記載した。

まとめた意見は、分野内でグループごとに発表し、その後、一人 3 票ずつの投票を行い順位付けを行った。

なお、討議要綱中には、分野別課題のほかにも「計画策定の基本的な考え方」「今後 10 年間の市政運営における４つの基本課題」などがあるが、これらについては、1 日目の冒頭で司会より簡単に説明をするのみにとどめ、意見は別途パブリックコメント等で提出するようお願いした。

＜参考＞武蔵野市第五期基本構想・長期計画　討議要綱　目次

Ⅰ はじめに
Ⅱ 計画策定の基本的な考え方
Ⅲ 第四期基本構想（平成17～26年度）の実績と評価
Ⅳ 第四期長期計画・調整計画（平成20年度～）の実績と評価
Ⅴ 人口推計・財政見通し
Ⅵ 今後10年間の市政運営における４つの基本課題
Ⅶ 分野別の課題
１ 健康・福祉
１）役割分担と連携・協働
２）新たな福祉ニーズへの対応
３）地域リハビリテーションの推進
４）地域福祉活動のあり方
５）健康づくりと介護予防
６）こころの健康づくり
７）認知症高齢者施策の推進
８）こころのバリアフリーの推進
９）高齢者・障害者の活動支援
10）サービス基盤の整備
２ 子ども・教育
１）子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み
２）子育て支援施設の再編
３）保育園入園待機児童解消に向けた取組み
４）公立保育園の役割、あり方の検討

５）幼児教育への市の関与のあり方の検討
６）小学生の放課後施策の充実
７）知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践
８）地域に開かれた学校づくり
９）少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討
10）特別支援教育・教育相談の充実
11）教育資源の蓄積・活用と教員育成・支援
12）学校改築方針の策定
13）生涯学習施策の推進

３ 緑・環境・市民生活
１）地域コミュニティの活性化
２）多様な主体との協働とその公益的活動への支援
３）緑豊かな都市環境の創出
４）環境負荷の少ない生活や事業の推進
５）新クリーンセンター稼動と周辺まちづくりの推進及びごみ減量
６）商工業・農業の振興
７）都市観光の推進
８）防災態勢の強化
９）安全・安心を実感できる魅力あるまち
10）男女共同参画社会の推進
11）市民文化発展の支援
12）スポーツの振興
13）都市・国際交流の意義

４ 都市基盤
１）市民のビジョンとまちづくりの整合
２）都市のリニューアル
３）都市基盤における環境への負荷軽減
４）安全・安心まちづくりの推進
５）安全で円滑な交通環境の整備
６）安心して住み続けられる住まいづくり
７）三駅周辺まちづくりの推進
◆吉祥寺地区
◆中央地区
◆武蔵境地区
８）水道一元化へ向けた検討

５ 行・財政
１）地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応
２）公共施設の再配置・市有財産の有効活用
３）持続可能な市政運営の確立
４）チャレンジする組織風土の醸成
５）セキュリティ対策及びリスクマネジメント徹底
６）市の情報公開・情報発信の見直し

武蔵野市第五期基本構想・長期計画策定委員会委員

参考

討議要綱作成に当たっての参考資料等
《各分野における個別計画》
《武蔵野市の将来を考える市民会議》
《無作為抽出市民ワークショップ》
《市民意識調査》

４　ワークショップ

（１）出された意見（得票順）

①「健康・福祉」分野

第１位　４）地域福祉活動のあり方

意見：「参加意識が高い方が多いので、高齢者も含めて地域を支える活動に参加するきっかけや支援が必要である。地域全体で支えるための世代間交流が必要である。

（例）学校、コミセンの活用や大人も子どもも楽しめる公園のせいび）」

説明要旨：武蔵野市民は参加意識が高いが、その方法がわからないで活動できていない人がいる。高齢者も含めたそういう人たちに、参加のきっかけをつくることが必要である。また特定の人、世代が地域福祉活動を支えていくのではなくて、地域全体で支えるために各世代間の交流の推進が必要である。そのためには学校の空き教室、コミセン、公園も有効に活用すべきではないか。

第２位　４）地域福祉活動のあり方

意見：「コミセンを活性化させ、利用者の幅を拡げる。

健康づくりと世代間交流を焦点の一つとし、地域住民の心の健康づくりの拠点とする。」

説明要旨：　現在、コミセンは一部の人しか利用していないし、またそれ以外の人にとっては使いづらい。役員を入れ替えるべき。健康づくりと世代間の交流も取り組みのポイントとして、地域の住民の拠点としてもっと活用すべきである。

第３位　新　コミュニティセンター活動の充実

意見：「高齢者・子育て世代の家庭への訪問を、民生委員のみならず、ボランティア員などで充実させ、確実にコミュニケーションをとれるような環境をつくる。」

説明要旨：　コミュニティセンターが、地域コミュニティ活性化に貢献できていない。また民生委員が行っている高齢者・子育て世代への訪問活動に、コミセンの協議会やボランティアも活用して充実させ、地域で住民同士がコミュニケーションを取れるような環境づくりをコミセンを中心に整えるべきではないか。

第３位　新　市の広報活動

意見：「・市報がわかりづらいので、字を大きく、年代別等情報をわかりやすく発信してほしい（※専門用語をへらし、わかりやすく）

・ＨＰがわかりにくいので、検索システムを改良してほしい。」

説明要旨： 市（行政）の情報が、市民に伝わっていない。また専門用語等も多く、わかりづらい。年代別にターゲットを分けて、ターゲットごとに情報を絞るべき。例えば、高齢者向けは、高齢者の編集委員により、高齢者向けの情報を集約し、字を大きくするなど、適切な方法で広報するべきではないか。

その他グループでまとめた意見は次のとおりである。(得票順)

順位	グループの意見		投票欄
1	４）	地域福祉活動のあり方	１０
	参加意識が高い方が多いので、高齢者も含めて地域を支える活動に参加するきっかけや支援が必要である。地域全体で支えるための世代間交流が必要である。 （例）学校、コミセンの活用や大人も子どもも楽しめる公園のせいび）		
2	４）	地域福祉活動のあり方	９
	コミセンを活性化させ、利用者の幅を拡げる。 健康づくりと世代間交流を焦点の一つとし、地域住民の心の健康づくりの拠点とする。		
3	新	コミュニティセンター活動の充実	８
	高齢者・子育て世代の家庭への訪問を、民生委員のみならず、ボランティア員などで充実させ、確実にコミュニケーションをとれるような環境をつくる。		
3	新	市の広報活動	８
	・市報がわかりづらいので、字を大きく、年代別等情報をわかりやすく発信してほしい（※専門用語をへらし、わかりやすく） ・ＨＰがわかりにくいので、検索システムを改良してほしい。		
4	２）	新たな福祉ニーズへの対応	７
	福祉ボランティア（高齢者、町内会等）活動をポイント制、もしくは有償化への提案。		
5	新	学校の空教室の利用	６
	介護施設･子供をあずける施設がないことをふまえ、この二つを統合。空教室を利用して両方のニーズに叶う施設を作る。高齢者と子供の世代間交流にもつながる。		
5	10）	サービス基盤の整備	６
	少子化に伴う、空いた学校施設の再利用		
5	新	市の情報窓口の設置	６
	市の各種サービスについて、総合的な相談窓口があったらよい。		

5	9）	高齢者・障害者の活動支援	6
	『高齢者の有効活用』 シルバーで有償ボランティアを構成 活用例：子育て支援、単身高齢者世帯巡回、 シルバー向け案内やビラの配布		
5	4）	地域福祉活動のあり方	6
	・ボランティアを増やすために、ポイント制（将来還元されるもの、ボランティアをお願いする時使用できるetc）の導入、有償化 ・ボランティアの受付窓口の充実		
6	6）	こころの健康づくり	5
	介護･育児の悩み相談が気軽にできる、ＳＯＳを出せるしくみづくり。 相談する窓口とサービスの明確化。		
6	新	老いる楽しみ	5
	武蔵野の巣鴨商店街を作る（交流の場）		
6	新	行政サービスのアナウンス	5
	・市役所から解りやすいサービスの案内 ・年別、目的別など（分割版市報など） 見やすい案内やビラ		
6	新	財政支出の抑制をめざす	5
	既存施設の有効利用 学校を用いて高齢者と子どもたちのふれあいの場を作る		
7	10）	サービス基盤の整備	4
	・学校（空き教室）を地域の福祉活動の拠点とする。 Ex.介護施設や老人リハビリ施設への転用 〝元気〟老人の交流（いろいろな世代の人たちと） ・近隣他市と連携を図り、サービスの充実を図る。		
7	新	広報紙の見直し	4
	・必要な情報がさがしにくい ・高齢者にインターネットは使えない		
7	4）	地域福祉活動のあり方	4
	市民参加の機会が不足している。 町内会（現代版）の設立 市民参加のボランティア（ポイント制の設立）地域通貨 etc		
7	1）	役割分担と連携・協働	4
	高齢者、リタイアした方、有償ボランティアとして地域で活用する。		
7	2）	新たな福祉ニーズへの対応	4
	施設不足や当事者が望む介護を考える。 最後まで地域で自宅で過ごせるように。		

8	4）	地域福祉活動のあり方	3
	ボランティアへの参加方法、依頼方法を解かり易くして欲しい。 窓口の明確化。		
8	5）	健康づくりと介護予防	3
	健やかな生活を営むために、予防接種の補助をもっと充実させてほしい。		
8	4）	地域福祉活動のあり方	3
	「福祉でまちづくり」を基本に住民が住民意識をつくりかえて、豊かな地域をつくる		
9	4）	地域福祉活動のあり方	2
	小学生～高校生までボランティア学習の機会を設ける 学校の空き校舎の活用による広い世代による交流の場を設ける		
9	5）	健康づくりと介護予防	2
	健康づくりは高齢者の様々な生きがいを作るための活動支援が重要である。高齢になるほど身近な場所が必要である。また高齢者だけでなく、勤労世代への対応も必要である。		
9	新	わかりやすい情報の提供	2
	様々な情報を一元的に全てがわかるような窓口サービスを提供する		
9	9）	高齢者・障害者の活動支援	2
	高齢者が孤立化しない政策づくりが重要である。高齢者向けの市報を作り、配布ボランティアやコミュニティづくりをはたらきかける（高齢者の高齢者による高齢者のための‥‥）		
10	6）	こころの健康づくり	1
	精神／身体両方のヘルスチェック補助の提供 ”もうすぐ高齢者”と”高齢者”の連携！（1 人で老いない！）		
10	新	その他	1
	・シルバーの子供のあずかり（学校、・コミセン等） ・歩道等のバリアフリー化 ・予防接種の無償化		
10	2）	新たな福祉ニーズへの対応	1
	・ボランティアに対する枠決めを市で明確にしてほしい ・空きのある小中学校の教室を利用してお年寄と子供の交流の場作り ・老人ホームの増設		
11	5）	健康づくりと介護予防	0
	健康診断の充実。 利便性に頼りすぎない生活のよびかけ。		

	取り上げたグループの数	合計得票数
１）役割分担と連携・協働	1	4
２）新たな福祉ニーズへの対応	3	12
３）地域リハビリテーションの推進	0	0
４）地域福祉活動のあり方	7	37
５)健康づくりと介護予防	3	5
６）こころの健康づくり	2	6
７）認知症高齢者施策の推進	0	0
８）こころのバリアフリーの推進	0	0
９）高齢者・障害者の活動支援	2	8
１０）サービス基盤の整備	2	10
新）情報提供について	5	25
新	5	25
	30	132

※「市の広報活動」「市の情報窓口の設置」「行政サービスのアナウンス」「広報紙の見直し」「わかりやすい情報の提供」は、参加者の意向により、「情報提供について」として同じ項目として集計した。

②「子ども・教育」分野

第１位　新　子育て世代を増やそう！

意見：「・保育園の充実
・住宅問題の解消
・補助金等を見える形で」

説明要旨：少子化がいわれている中、武蔵野市は子育て世代を増やさなければいけないのではないかということで、市としてアピールした方がいいのではないか。保育園を充実させて、武蔵野市に来れば子どもが育てられるぞと思わせる、待機児童解消が必要。住みたい街ナンバー１だが、実際住めるかというと家賃が高いなどで住めないので、住宅問題を解消するための何かを市からできないか。子育て世代への補助金が市からどのように出ているかが見えてこないので、もっと見える形でアピールして欲しい。

第２位　２）子育て支援施設の再編

意見：「0123は３才までの子供が対象・桜堤児童館は年令制限なし。巾広い年令の子供達が共に遊ぶ場所を目指して欲しい。」

説明要旨：０１２３は３歳までの子どもを扱うところなので、現在、桜堤児童館に来ることのできる４歳から上の年齢の子どもたちとの交流がなくなってしまう。子どもたちにとっても、他の年齢の子どもたちと共に過ごすことで得られることも多いので、そういうことが可能な施設にしたほうがいいのではないか。

第３位　１）子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み

意見：「地域で子どもたちの心の学習を実践する。
思いやり→高齢者・障害者から学ぶ機会
↑
市がバックアップ、教師の協力、学校の協力
（コミュニティ充実[高齢者][障害者][子ども][若者]バラバラ　結びつけるネットワーク大切）」

説明要旨：武蔵野市は「豊か」「高齢者福祉が良い」といわれてるが、高齢者は高齢者、若者たちは若者たち、子どもは子どもというふうに細分化していて結びついていない。子どもは宝であるし、子どもは大きくなって高齢化し、自分たちと同じ人生を歩んでいく。子どもたちは少子化で、しかも育ちにくい世の中になっているが、せっかく武蔵野市のいい環境があるので、ネットワーク的に結び付けていく。それには市の応援が必要なので市政が取り組んで欲しい。

その他グループでまとめた意見は次のとおりである。（得票順）

順位	グループの意見	得票数
1	新　子育て世代を増やそう！ ・保育園の充実 ・住宅問題の解消 ・補助金等を見える形で	13
2	２）　子育て支援施設の再編 0123 は３才までの子供が対象・桜堤児童館は年令制限なし。巾広い年令の子供達が共に遊ぶ場所を目指して欲しい。	12
3	１）　子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み 地域で子どもたちの心の学習を実践する。 思いやり→高齢者・障害者から学ぶ機会 ↑ 市がバックアップ、教師の協力、学校の協力 （コミュニティ充実[高齢者][障害者][子ども][若者]バラバラ 結びつけるネットワーク<u>大切</u>）	9
4	10）　特別支援教育・教育相談の充実 ・各校に１クラスはほしい。特別な場所に集めるのではなく、健常児と交流を持たせるようにしたい。↓ 障害を持った子も健常児も一緒に育っていくことで「心」の教育を。 いじめ、不登校・差別をなくす　↑ ・専門の先生、相談できる先生、補助員が不足↑ ↓ 大卒の採用数増加＆地域の方々の教育への参加にもつながる。 ↑ ・先生の数を増やす（支援級に限らず、普通級も子供の数を１クラス20 人以下に）	8
4	１）　子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み ・大人と地域の子供がふれあえる場をつくり、だめなことをだめといえる大人が必要だ。 ・子供にボランティア教育をするべきだ。（大人も）	8
5	新　子育て世代と他の人をつなぐシステム作り ・研修制度 ・ネットワーク ・宣伝 <u>ハードからソフトへ</u>	7

6	8）	地域に開かれた学校づくり	6
	「地域の人々でつくる学校」 【親や他の人に学校に関する情報が少ない】 →どうする？ ・副校長や関係者から等の説明 ・なにより、地域の方々（近くの高齢者の方や障害者の方）を学校に招待してお話をしてもらう。 →・コミュニケーション能力や道徳力を養う。 ・地域の事を子供達に知ってもらう。等		
7	新	市の教育施設や施策の広報の必要性	5
	・単身世帯というライフスタイルでも地域の子育てに役立てる、貢献できる仕組み・武蔵野プレイスの活用の仕方・子育て支援で保育所はどの位あって間に合っているのか？・0123 は東町、緑町　公園　公立幼稚園がない・近いと（使う）利用できるがわざわざ行かない・市の施設を使う人は限られている。年輩の 65 才以上の方・コミセンや公共の施設で参加にもなかなかなじめない。・ＮＰＯ法人で子供　ふれあう場があるのか？例：絵本や紙芝居など・子育て支援ネットワークの内容のＰＲの必要・特殊学校の充実させてほしい。場所が遠い。・自分から求めていかないと何もわかない。　・ケーブルテレビは？		
7	2）	子育て支援施設の再編	5
	・予算の流動的運用を図り、保育園入園、待機児童の解消を図るべし。 ・マンションの一室、小学校の空きスペースを利用して保育所を作ってほしい。 ・公園よりも保育園を造ってほしい！		
7	3）	保育園入園待機児童解消に向けた取組み	5
	若い人たちが子育てをし易い市に。環境作り…保育園		
7	6）	小学生の放課後施策の充実	5
	・ボール遊びのできる公園がほしい。 ・校庭開放をもっと子供に利用してもらえるようにする。		
7	2）	子育て支援施設の再編	5
	『空き教室・コミセン等の利用（世代間交流）』土日含め、小学校の空き教室で英語・そろばん・「おばあちゃんの知恵」などを教えたり、コミセンの利用、保育園としての利用など、世代間交流を活性化する		
8	新	コミュニティセンター施設の充実	4
	・子供（幼児～小中高、大学生）にも使い易いコミセンに。（⇒スポーツ、遊び、カラオケ etc） ・リタイヤした市民による文化貢献活動の拠点に。 ・窓口の利用者対応の改善を！！		

8	7）	知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	4
	・子どもたちは郷土のことをどの程度知っているのか。 ・「少子」以外で学校が静かすぎる。 ・学校が意外と静かなのはなぜか。 ・学生のマナーの悪さが目に付く ・学校まで行けても教室に入れない子、親が付いていかないと行けない子ども　学校の対応は？ ・教師も子どもも点数第一主義に陥っていることはないか。 ・教師は生徒児童に遠慮していることはないか。		
8	2）	子育て支援施設の再編	4
	保育園の一時預りの充実と料金の見直し 地域的に利用しやすい子育て支援施設 0123 より幅広い年齢が使える施設		
8	7）	知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	4
	英語教育のより低学年からの開始交通ルールの教育学校教育・教師の質を上げる。いじめは教師・親が絶対にやらせない。		
9	新	教員、忙しすぎ！！	3
	・教員と保護者（と生徒）の接点や時間が少ない！ ⇒少人数教育・地域人材の活用（リタイヤ組 etc）		
9	新	英語教育	3
	・実用的な使える英語力（×文法　◎会話） ・市民に利用し易い英会話教室の創設 ・学校教育でもより実用的に！！		
9	3）	保育園入園待機児童解消に向けた取組み	3
	公立の保育施設（幼稚園を含む）を増やしてほしい。 ・建物増、空きスペースの利用。 ・入所条件の緩和をすることにより働きやすい環境を作る。 ・子供手当を充当してもよい。		
9	10）	特別支援教育・教育相談の充実	3
	教育支援センターの取組みを充実させ、きめ細い支援を行ってほしい。もっと情報を発信し、存在等についてアピールしてほしい。		
9	3） 4）	保育園入園待機児童解消に向けた取組み 公立保育園の役割、あり方の検討	3
	・待機児童解消のために保育所を増やしてほしい。・働いていなくても保育所を利用できるようにしてほしい。・緊急時の泊まりも受け付けてほしい。（親子共に）あおばみたいな場所をもっと！		
9	1）	子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	3

	『市民の教育ボランティアのネットワーク化』 単身（高齢）世帯と子育て世帯をつなぐネットワークを作る。（子育て相談のかけこみ出来る場所をわかるようにするなど）		
10	１）	子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	2
	・テンミリオンハウスあおば等使いやすい場をもっと増やす（おとまりもできる。一時保育の場を増やす） ・安全な帰り道の確保（街灯を明るくする等） ・学童クラブが 18 時で終了するのは働く親にとって負担。 ・少子化に伴う教育現場のあり方。		
10	１）	子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	2
	子育て中の孤立、不安感、負担感が高まっている中、子育てネットワークをさらに拡充する。 単身世帯の高齢者と子育て世帯をつなぐネットワーク（場所）を作り、社会で子供を育てる。　↑ 両者が交わる場所が必要		
11	新	コミセン施設の見直し	1
	体育館等箱物の小型化　地域密着型に。（空家も多い？）コミセンの活用法　児童教育に役立てる。		
11	３）	保育園入園待機児童解消に向けた取組み	1
	・既存の施設を有効利用する。（空き教室、マンション） ・他の福祉施設などとの連携をはかる。（ボランティア団体、施設…）		
11	１）	子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	1
	『市民の力で子供の教育を助ける。』 道徳教育（いのちの大切さ、思いやり、ボランティア精神など）を市民のネットワークで支えあう。		
12	８）	地域に開かれた学校づくり	0
	ボランティアセンター、各コミセン、武蔵野プレイス→（各施設）役割を明確に！ハッキリ理解できず、わかりにくい…		
12	６）	小学生の放課後施策の充実	0
	校庭の開放拡大 あそべえの他にも放課後安心して遊べる場所を。 （公園施設の充実） ・ボール遊びなど自由に・芝ふに入れたり 見守り		
12	３）	保育園入園待機児童解消に向けた取組み	0
	小学校等の空き教室の利用学習支援の活動。		

分野別課題	取り上げたグループの数	合計得票数	
1）子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	6	25	
2）子育て支援施設の再編	4	26	
3）保育園入園待機児童解消に向けた取組み	5	12	重複あり
4）公立保育園の役割、あり方の検討	1	3	重複あり
5）幼児教育への市の関与のあり方の検討	0	0	
6）小学生の放課後施策の充実	2	5	
7）知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	2	8	
8）地域に開かれた学校づくり	2	6	
9）少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	0	0	
10）特別支援教育・教育相談の充実	2	11	
11）教育資源の蓄積・活用と教員育成・支援	0	0	
12）学校改築方針の策定	0	0	
13）生涯学習施策の推進	0	0	
新	7	36	
	31	132	

③「緑・環境・市民生活」分野

第１位　９）安全・安心を実感できる魅力あるまち

意見：「地元民に向いたまち作り

・出店計画や開発計画にビジョンを!!（それを市民と共有）

・住んでる人も来る人も楽しめる個性的なまちに。

→ハモニカ横丁をモデルに。

交通機関：ムーバスの整備→早く終わりすぎ・ルート少ない

自転車の整備→駐輪場をまち毎に管理、

通学・通勤用の貸し自転車を」

説明要旨：吉祥寺が住みたい街ナンバー１というのはよく知られているが、最近、「住みたい街ベスト 10」、「住んでよかった街ベスト 10」という特集があった。「住みたい街ナンバー1」は吉祥寺だったが、「住んでよかった街ナンバー1」は中野だった。実際に他から来て、吉祥寺に住んでよかったと思ってもらえていないのではないか。吉祥寺が、他のまちと同じようになりつつあるのが残念である。まちの出店計画、開発計画にビジョンを持って欲しい。またそれを市民と共有して欲しい。住んでいる人も、外部から来る人も楽しめるハモニカ横丁に代表されるような個性的なまちづくりをして欲しい。交通機関、駐輪場を街ごとで管理する、ムーバスのルートや本数を考えて欲しい。

第２位　４）環境負荷の少ない生活や事業の推進

意見：「『ソーラーパネルの導入』

（CO2 削減量、エネルギーの発生量）

集合住宅等へのソーラーパネルの設置義務化。

また、大きな建物（サンロード等）への設置

その効果（CO2 削減量、エネルギーの発生量）の可視化を！」

説明要旨：ソーラーパネルは太陽光の力を借りてエネルギーを出す、何よりクリーンなエネルギーで、消費するものもなく生成するものだけである。これを、例えば、大規模な集合住宅などに設置を義務化、または多く設置するよう市で誘導できないか。サンロードにもぜひ設置して、その効果を可視化できないか。「エネルギーやＣＯ２がこれだけ削減できました」「これだけエネルギーが出ました」という効果が目に見えれば、市民も、これを家につけたら家でもこれだけ削減できるんだなあ、とわかって、設置への後押しになるのではないか。

第３位　３）緑豊かな都市環境の創出

意見：「緑化の考え方、税金の使い方の再検討

・公園のあり方

・市民農園の管理・運営
・民有地（個人住宅 etc.）の緑維持の補助」

説明要旨：　緑化についての考え方、税金の使い方を再検討して欲しい。例えば、公園のあり方、あちこちに同じような公園があればいいのではない。キャッチボールができるような公園、子どもたちが安心して遊ばせられる公園、そういうものを考えていってほしい。市民農園の管理・運営のあり方。足りてないのであれば、農地をやめてる方を使うとか、民有地、個人住宅にある緑の維持の補助を考えていってはどうか。

その他グループでまとめた意見は次のとおりである。（得票順）

順位	グループの意見		得票数
1	９）	安全・安心を実感できる魅力あるまち	13
	地元民に向いたまち作り ・出店計画や開発計画にビジョンを!!（それを市民と共有） ・住んでる人も来る人も楽しめる個性的なまちに。 　→ハモニカ横丁をモデルに。 交通機関：ムーバスの整備→早く終わりすぎ・ルート少ない 　　自転車の整備→駐輪場をまち毎に管理、 　　通学・通勤用の貸し自転車を		
2	４）	環境負荷の少ない生活や事業の推進	11
	『ソーラーパネルの導入』 （CO2 削減量、エネルギーの発生量） 集合住宅等へのソーラーパネルの設置義務化。 また、大きな建物（サンロード等）への設置 その効果（CO2 削減量、エネルギーの発生量）の可視化を！		
3	３）	緑豊かな都市環境の創出	9
	緑化の考え方、税金の使い方の再検討 ・公園のあり方 ・市民農園の管理・運営 ・民有地（個人住宅 etc.）の緑維持の補助		
4	９）	安全・安心を実感できる魅力あるまち	8
	・自転車の問題（事故・駐輪場…東京ワースト１） ・警察との連携によるマナーの向上（他市との連携）		
5	8),9)	防災態勢の強化 安全・安心を実感できる魅力あるまち	7

	地震対策情報の徹底とフォローハザードマップ 防犯カメラの設置を増やす。 夜間パトロールの強化…リタイヤ族の有効活用 歩行喫煙の禁止、分煙の徹底		
5	６）	商工業・農業の振興	7
	・市内での新規起業の推進（老若男女みんなに） ・市内企業で働く人たちのワークライフバランスの改善 ・住む人だけでなく働きやすいまちに。		
6	９）	安全・安心を実感できる魅力あるまち	5
	地域コミュニティを活用した防犯対策が重要である。 ・駅周辺の監視カメラの設置増　・シルバー世代の活用　・町内会の活用（or コミセン）		
6	７）	都市観光の推進	5
	・でも物価が高くなるのは反対 ・もっと文化的に ・観光もわかるが、地域住民を置き去りにはしないで欲しい ・中高年をターゲットとしたような店も保つ、個人商店等 ・三鷹北口、市長は何で許可したのか!?		
6	新	日本一の市民マナーへ	5
	・自転車のマナー（歩道での暴走、放置、歩く人を大切に） ・たばこのマナー（路上全て禁煙に）		
6	３）	緑豊かな都市環境の創出	5
	緑豊かな都市を目指す。個人の住宅の庭での緑を増やす。公園のゴミ拾いなど美化に取り組む、		
7	新	自転車対策	4
	駐輪場の確保と義務化。 駅前地下の有効活用。 自転車利用者のマナー指導（事故多発）		
7	１）	地域コミュニティの活性化	4
	『コミセンをもっと有効に』 地域の拠点として住民参加しやすいように宣伝・普及して欲しい		
7	３）	緑豊かな都市環境の創出	4
	公園と個人住宅の緑を増やす。 新築マンションの緑化の義務付け。		
8	１）	地域コミュニティの活性化	3
	コミセンの有効活用を考え直す。 気軽に使えるコミセン。 リタイヤ族の有効活用…低額有償とする。		

８	12)	スポーツの振興	３
	施設の公園整備などとの一体化。 初心者スポーツ講座の充実		
８	９）	安全・安心を実感できる魅力あるまち	３
	武蔵野市は、高齢者、女性の単身世帯も多く、治安に関し、不安の声がある。夜間の安全確保のための活動を強化していく必要がある。（交番、地域住民による有償パトロールなど）		
８	６）	商工業・農業の振興	３
	・利用しやすい商店街作り（歩行者にやさしく） 　→スポット駐輪場 ・まちの「通り」等にいいネーミングを		
８	３）	緑豊かな都市環境の創出	３
	・一般家庭の緑化（植木・草花の配布） ・太陽光発電の推進（市からの援助） ・公園のあり方（ボール遊びのできる、緑の多い）		
８	９）	安全・安心を実感できる魅力あるまち	３
	・パトロールの強化（夜間と夕方のパトロール） ・安心して子供を遊ばせることができる場所の確保		
９	新	自転車・道路・その在り方について	２
	自転車と歩行者との共存が厳しい現実 　（放置自転車や歩行者の増加！） →自転車専用道を作れないか!? 　又、自転車を利用する者のマナーをよくできないか!?規則の徹底		
９	新	自転車利用環境の改善	２
	自転車利用にあたっては、駐輪環境と事故を防止する環境の整備が重要。 駅前周辺・商店街の駐輪施設の拡大。 運転取締の強化、道路の整備		
９	新	総合的な自転車対策を	２
	・自転車事故ワースト１を返上すべくＰＲ活動 ・駐輪所の拡充 ・自転車専用レーンの設置 ・罰則強化．．．．		
９	３）	緑豊かな都市環境の創出	２
	・武蔵野市は緑豊か、維持して欲しい ・雨水を地下に浸透させる設備の拡充 ・公園に防犯カメラ等の設置を ・吉祥寺の駅前に緑が少ない		

9	1）	地域コミュニティの活性化	2
	いずれの課題も地域コミュニティの力で解決していくことが必要である。コミュニティセンターを中心に地域の人々の交流をはかる。はじめてくる方への説明会、懇親会を開くなど、多くの人に来てもらえるような工夫をする。		
10	新	煙害の防止	1
	分煙が行き届いていない現状が問題である。 分煙の厳格化と歩きタバコの規制強化（喫煙所の密室化）		
10	1）	地域コミュニティの活性化	1
	・皆が利用しやすいコミセン作りのためにコミセンの活用ＰＲを！		
11	1）	地域コミュニティの活性化	0
	コミセンの有効活用について ・利用に片寄りがある。 ・予約がないとつかえない ・予約がとれない（当日はさらに）		

	取り上げたグループの数	合計得票数	
1)地域コミュニティの活性化	5	10	
2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	0	0	
3)緑豊かな都市環境の創出	5	23	
4)環境負荷の少ない生活や事業の推進	1	11	
5)新クリーンセンター稼動と周辺まちづくりの推進及びごみ減量	0	0	
6)商工業・農業の振興	2	10	
7)都市観光の推進	1	5	
8)防災態勢の強化	1	7	重複あり
9)安全・安心を実感できる魅力あるまち	6	39	重複あり
10)男女共同参画社会の推進	0	0	
11)市民文化発展の支援	0	0	
12)スポーツの振興	1	3	
13)都市・国際交流の意義	0	0	
新)自転車対策について	4	10	
新	2	6	
	28	124	

※「自転車対策」「自転車・道路・その在り方について」「自転車利用環境の改善」「総合的な自転車対策を」は新規項目であるが、いずれも自転車についての内容であるので、同じ項目として集計した。

④「都市基盤・行財政」分野

第１位　都-７）三駅周辺まちづくりの推進

意見：「『吉祥寺の再開発【駅前】』

・北口ロータリーの地下駐輪場

・南口の立体化（バス停 etc）

・緑のゆとりある空間をつくって欲しい。」

説明要旨：吉祥寺駅北口ロータリーの地下駐車場化や、南口を浜松町駅のようなバス停の立体的な再開発ができないか。吉祥寺駅は待ち合わせ場所に困るので、緑のゆとりある空間を作って欲しい。

第２位　都-５）安全で円滑な交通環境の整備

意見：「・放置自転車撤去をいつもやる。

・歩道のグリーンベルト化」

説明要旨：放置自転車の撤去。中野の例、年中やってて、減っていった。きれいになった。駅前に駐輪場大量確保できた。それがセットでやるべきだ。まず即効性を狙う。歩道をカラーリングして、はっきりさせて車の通りりを悪くする。自転車・歩行者住み分けをはっきりさせて、安全を確保する。道路に盛り土をして、スピードの高速化を防ぐ、ペイントで道路に置石されている３Ｄ見えるみたいなものを、狭い道におおい、対策にして、安全に通れるようにする。自転車対策＆暴走自転車を規制するなどいろんな効果が期待できる。

第３位　行-１）地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応

意見：「・隣接区市との協働（施設の相互利用・広報など近隣自治体との合併も含めた連携による行政の効率化）

・シンボル作り」

説明要旨：武蔵野市は人口 13 万人だが、それで一つの自治体を確保していくのが本当にいいのか。もう少し近隣の市と協働していろんなことをやっていけばいいのではないか。そして、最終的には他の市との合併も考えてもいいのかもしれない。連携を密にしていろんな情報を共有して、それぞれの市が自分の市だけということではなく、一緒になってやっていく方策を考えていくべきではないか。また「これが武蔵野市だ」というようなシンボルを作ってもいいのではないか。

その他グループでまとめた意見は次のとおりである。(得票順)

順位	グループの意見		得票数
1	都-7）	三駅周辺まちづくりの推進	11
	『吉祥寺の再開発【駅前】』 ・北口ロータリーの地下駐輪場 ・南口の立体化（バス停 etc） ・緑のゆとりある空間をつくって欲しい。		
2	都-5）	安全で円滑な交通環境の整備	10
	・放置自転車撤去をいつもやる。 ・歩道のグリーンベルト化		
3	行-1）	地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	9
	・隣接区市との協働（施設の相互利用・広報など近隣自治体との合併も含めた連携による行政の効率化） ・シンボル作り		
4	行-2）	公共施設の再配置・市有財産の有効活用	8
	コストの透明化を図る（水道・公共施設・駐輪場など） 今ある施設の有効利用（夜間利用等） 市役所も土日はムリ？		
5	都-1）	市民のビジョンとまちづくりの整合	6
	・景観に統一感のある街づくり ・ファミリー層が暮らしやすい（単身→ファミリー）		
5	都-2）	都市のリニューアル（水道）	6
	都水道との一元化の前に、コスト等の情報を市民に知らせて欲しい。その上で民営化も含めたゼロベースの検討を！！		
5	新	市のサービス向上について	6
	・土、日の市の各種サービスを対応して欲しい。 ・24 時間対応の電話番をつくって欲しい。 ・保育所が少ないので増やして欲しい。 ・ファミリー層の呼び込みにより税増収を図る。		
5	都-3） 8）	都市基盤における環境への負荷低減 水道一元化へ向けた検討	6
	『下水、水道料金について』 ・高い！（料金が高い）でもおいしさは保って欲しい！ →対策 ・雨水タンクの料金補助 ・下水道処理能力の強化		

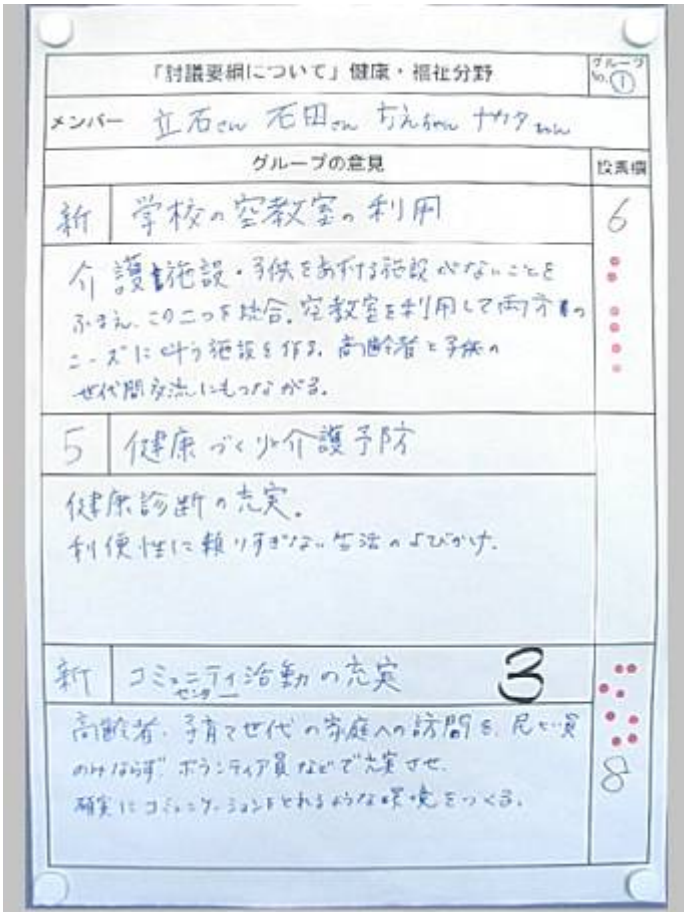
５	都-５）	安全で円滑な交通環境の整備	６
	『自転車利用について』 ・自転車の一時利用の増設（特に南町） 　→対策として北口ロータリーの地下利用など ・自転車専用レーンを作る安全対策		
５	都-７）	三駅周辺まちづくりの推進	６
	駅周辺に既存の大手資本の店ばかりでなく 個性的な魅力ある商店街作りをめざす （空き店舗の活用）		
６	都-４）	安全・安心まちづくりの推進	５
	・駐輪場の整備（駅周辺） ・自転車、歩道の拡幅 ・吉祥寺駅周辺の再開発促進		
６	都-７）	三駅周辺まちづくりの推進	５
	・公道の整備（歩道の歩行者と自転車のレーン分け） ・道路上の物の撤去（看板、商品…）		
７	都-５）	安全で円滑な交通環境の整備	４
	自動車から自転車へ 安心・安全・便利な街へ！！ 先進国オランダ並みに専用道や駐輪スペースを！！ 当然マナー向上も！！		
７	都-４）	安全・安心まちづくりの推進	４
	いつ起こるか判らない自然災害に対しての対策を講じる。防犯に強い街づくりを進める		
７	都-５）	安全で円滑な交通環境の整備	４
	・駐輪場の増強（計画的な投資） ・放置自転車対策 ・交通ルールの教育徹底（小学校～の教育）		
７	都-７）	三駅周辺まちづくりの推進	４
	『駅周辺の道路と環境整備』 ・安心して歩ける歩道 ・五日市街道の歩道の整備		
７	行-３）	持続可能な市政運営の確立	４
	・収入を得るための方法 ・周りの市と協力 ・民営化による質低下の対策		
８	都-５）	安全で円滑な交通環境の整備	３

	・自転車の交通ルール（児童向け）の指導 ・駅周辺の自転車置き場を増やす。 ・自転車道の整備		
８	新	市の収入源確保	３
	・市政の無駄排除のためのモニタリング（仕分けみたいなもの） ・施設の外部委託（ムーバス運営や武蔵野プレイスを民間企業やＮＰＯへ）		
９	都-４）	安全・安心まちづくりの推進	２
	防災（防犯）組織を地域市民の手で結成する！！ 防犯パトロール等の定期的実施		
９	行-６）	市の情報公開、情報発信の見直し	２
	・市民で市議の通信簿をつける（市議の人数を減らす） ・情報発信ネットワークを市民でつくる ・武蔵野プレイス無駄の情報発信		
９	都-５）	安全で円滑な交通環境の整備	２
	・駐輪場と歩道の整備（カラー舗装・心理的　一時駐輪 ・ムーバス運行時間等の見直し ・自転車専用道路		
９	都-７）	三駅周辺まちづくりの推進	２
	・駅前ロータリー地下駐輪場化 ・吉祥寺南口の再開発		
１０	行-３）	持続可能な市政運営の確立	１
	・余分な箱モノ（施設）を作らないで（市民が本当に必要としているのか） ・ハード（施設）よりソフト（イベントなど）の充実 ・歳入を増やす努力を！（駅近の土地の有効活用）		
１０	都-５）	安全で円滑な交通環境の整備	１
	駐輪場の確保とレンタサイクルの事業化を推進する。高齢者、幼児、障害者にも対応できる道路環境と、自転車専用道路の拡張		
１１	行-２）	公共施設の再配置・市有財産の有効活用	０
	新しい箱物とともに昔からの建物（一般住宅）を活用		
１１	行-３）	持続可能な市政運営の確立	０
	・行政活動の仕分けや評価とその公表 ・人件費高熱水費等の見直し		

		取り上げたグループの数	合計得票数	
都市基盤	1）市民のビジョンとまちづくりの整合	1	6	
	2）都市のリニューアル	1	6	
	3）都市基盤における環境への負荷低減	1	6	重複あり
	4）安全・安心まちづくりの推進	3	11	
	5）安全で円滑な交通環境の整備	7	30	
	6）安心して住み続けられる住まいづくり	0	0	
	7）三駅周辺まちづくりの推進	5	28	
	8）水道一元化へ向けた検討	1	6	重複あり
行財政	1）地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	1	9	
	2）公共施設の再配置・市有財産の有効活用	2	8	
	3）持続可能な市政運営の確立	3	5	
	4）チャレンジする組織風土の醸成	0	0	
	5）セキュリティ対策及びリスクマネジメント徹底	0	0	
	6）市の情報公開・情報発信の見直し	1	2	
新		2	9	
		28	126	

（2）出された意見（グループ別）

①「健康・福祉」分野　＜発表用シート＞



「討議要綱について」健康・福祉分野　グループ No.①

メンバー　立石さん　石田さん　ちんさん　ナカタさん

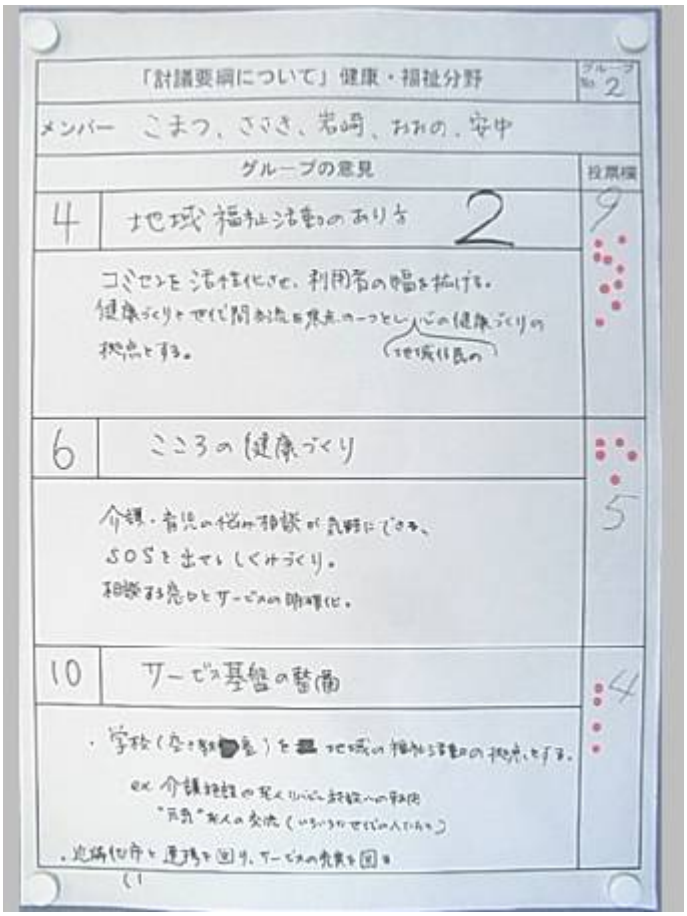
グループの意見		投票欄
新	学校の空教室の利用	6
	介護施設・子供をあずける施設がないことをふまえ、この二つを統合。空教室を利用して両方のニーズに叶う施設を作る。高齢者と子供の世代間交流にもつながる。	
5	健康づくり・介護予防	
	健康診断の充実。利便性に頼りすぎない方法のよびかけ。	
新	コミュニティ活動の充実（センター）　3	8
	高齢者、子育て世代の家庭への訪問を、民生員のみならず、ボランティア員などで充実させ、確実にコミュニケーションとれるような環境をつくる。	

＜作業用シート＞

健康・福祉　1グループ

- 高齢化 20.17%
  三隣 19.28%
  小倉井 13.87%
- 家に子が多い一少子化
- 長く住み続けられるように（結婚）の住宅を提供
- 健康、病気の早期発見の為、定期検診を充実させる
- 体験診断・検診については、地区や市単位などでなく、必要な方は自分で受けられる仕組みを
- 心の健康診断も
- フリーメール・市役所内一化結合かけて利用される
- 核家族・共稼ぎ単身サポートして　ホストファミリー制度のようなもので交流をはかる（子ども・高齢者）
- 学校の利用一保育園や介護施設
- 介護施設
- 市民病院設立
- 介護施設本当で良ない　市内に何年かかんでない入れない一遠くに住んでいる現状見べない
- 介護認定レベルに関係ない介護サポートで家族のサポートが必要
- 武蔵野プレイスー介護施設に
- 個人の情報管理はかり知れて　必要な情報が届かない
- 困い手不足はどこの所でも。高齢者、障害者のために手を借りる。
- コミュニティーボランティアーポイント制
- こころのバリアフリーの推進についてには市報（必）、ラ報で毎回連載するなど工夫を。

①「健康・福祉」分野　＜発表用シート＞



「討議要綱について」健康・福祉分野　グループ No.2

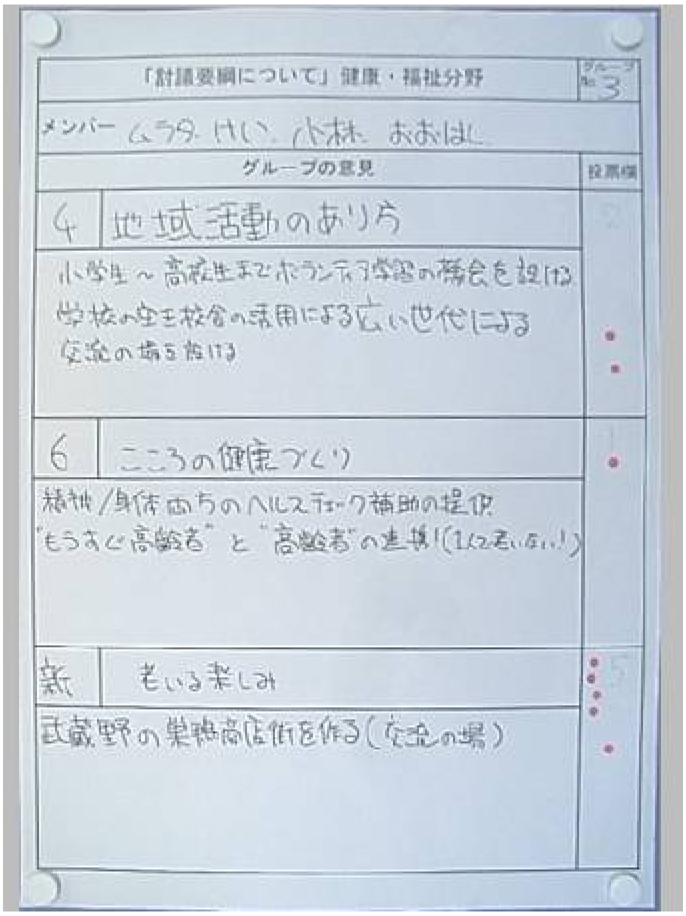
メンバー　こまつ、ささき、岩崎、おれの、安中

グループの意見		投票欄
4	地域福祉活動のあり方　2	9
	コミセンを活性化させ、利用者の幅を拡げる。健康づくりと世代間交流を柱の一つとし、心の健康づくりの拠点とする。（地域住民の）	
6	こころの健康づくり	5
	介護・育児の悩み相談が気軽にできる、SOSを出やすいしくみづくり。相談する窓口とサービスの明確化。	
10	サービス基盤の整備	4
	・学校（空き教室）を地域の福祉活動の拠点とする。 ex 介護施設の老人ホーム・子育て支援への利用 "元気"老人の交流（いろいろな世代の人たち） ・買物代行と運搬を図り、サービスの充実を図る	

＜作業用シート＞

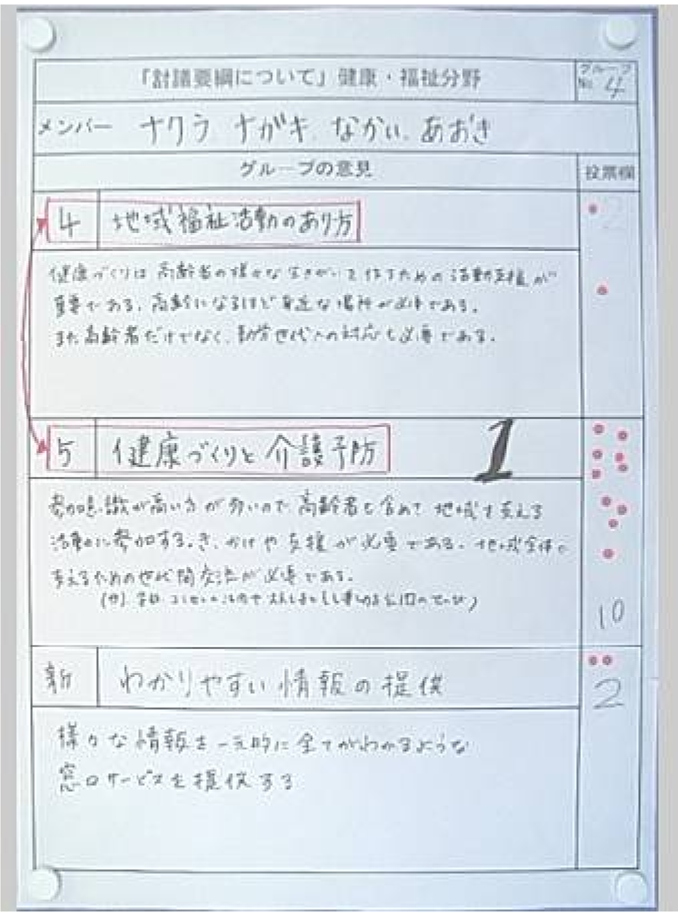
健康・福祉　2グループ

- サービス基盤の場にもっと展開する（行政の本業に対応できる）福祉、医療
- 住民同士のおつきあい、こころの健康づくりの重要性を図る。特に古い地区にコミュニケーションがない。孤独死
- メンタルヘルスの体験談に耳傾ける
- 一役割分担　公助　自助　共助、地区
- 福祉関係のサービス情報のPR不足
- 市民病院があるとよいのではないか一当番制
- 自分の視野であっても母性科数が不足しているため活用できない
- 趣味性、おしゃれなサービスをボランティアで行う。
- 市の多様な施設やサービスを利用する人と利用しない人（知らない人）の差
- 小さいころから社会参加意識を育めるにどうか
- リハビリ　若人5～7名●グループ
- 市民参加は良いプロジェクト　若人と合流する
- 日常生活で病気正しい暮しに予防が有る
- 行政の健康管理は十分が　子育、若人の体験
- 心でとの体験を図る
- 特色の入居が重要
- 被害地っ世代（若い世代）が住める由一矢目充実



健康・福祉　3グループ

- 近隣市・区との連携による効率的な行政運営を。
- 独居世帯が多い中、どのようにしてコミュニティーを維持するか？
- 高齢者の増加に伴う財政負担をどのように解決するか？
- 元気で健康な高齢者を増やすための地域活動推進
  - ・シルバーセンターの活性化
  - ・ボランティア活動
  - ・保育園・幼稚園との交流
- 4）地域活動のあり方　小学生～高校生までボランティア学習の機会を多く設ける。
- 介護者の負担を減らすためのデイサービスの充実
- 精神・身体両方のヘルスチェック補助
- 高齢者入所施設の待機人数を減少させるよう推進して欲しい
- ケアハウス　グループホームズ
- 気軽に外に出て会えない高齢者、障害者の方々がコミュニケーションを取るためのインターネット活用
- 義務教育期間中児童の医療費無料化
- 老人介護の充実（老人ホーム等）
- 高齢化社会のコミュニティー作り。一人で老いないこと。交流を考えること。
- 老いの先導、後進の連携
- 保育施設、病院等の地域差　同じ市民なのに吉祥寺は不利！
- 4）元気な高齢者の地域活動参加の推進
- [illegible]として居る会を減じ、足で自分で稼ぐことを考えて欲しい。（高齢化対策）
- 一つの施設を作る際に住民のニーズにあったものを作って！シアターではなくて病院や児童施設を！
- 施設を作るときの規準は何か知りたい。又その運営についてもよく考えて欲しい。
- 正月のどんど焼（西久保公園）市長の来場して気楽な交流があった。
- お祭りなどのイベントを町単位で活性化させると集合住宅の住民もひっぱり出せる。
- ①地域活動を活用した寝たきり防止（高齢者と子供の交流）
  - ・デイサービスの[illegible]化
  - ・高齢者施設待機人数の減少
  - ・ネット活用した高齢者、障害者交流
- ②ひっぱり出し（ひきこもり防止）
  ケアハウス、グループホーム、子供や児童のボランティア参加推進
- ③単独ではなく（行政単位）の連携による効率化
  高齢者に関する負担軽減の為、健康増進
  独居者のひっぱり出し、交流の再調整（気軽なつき合い）
  高齢者の地域活動促進（元気な方）利益と生きがい
- 地域コミュニティ
  心身のHealth Care
  施設のあり方一緒につけて　自発的○
- 4）小～中　ボランティア活動の推進　教育の場所を設ける
- 6）ヘルスケア
- 少子高齢化対策→両方の施策
- わかりやすい広報　わかりやすいHP
- 高齢者に対するボランティアを定年前後の人々に求める。
- 高齢者との交流　子供施設と高齢者施設の融合
- ⑩子どもとの交流を学校を活用してすすめる。
- 学校施設を介護施設への転用
- 高齢者が互いに訪問しあい交流するグループを作る
- 小学校の空き教室利用したリハビリ老人施設
- ⑥介護・育児　SOSサービス
- 相談する窓口を実は知らない（ex.民生委員も知らない…）



健康・福祉　4グループ

<⑤健康づくりと介護予防>
- 公園に運動ができる器具を設置する
- サークル活動の充実　健康づくり
- DANCE　カラオケ
- 年が上がるほど近くに施設が必要となる
- 高齢者が生き生きと自立して暮らす。健康づくり（地域での）
- 50代前後が気軽に活動する場（サークルなども）がない
- 健康づくりは、やや高齢者に目が向いているが、若年世代も重要では。→スポーツ振興との連携
- 時間のない人の健康作り（仕事等）（若い人）
- リハビリテーション施設が必要（病院には頼れない）

<バリアフリー>
- 障害者に対してのバリアフリーの視点は？（抜けている？or 都市基盤）
- 居住施設（マンション）のバリアフリー化への支援が必要
- マンション　バリアフリー　スロープ

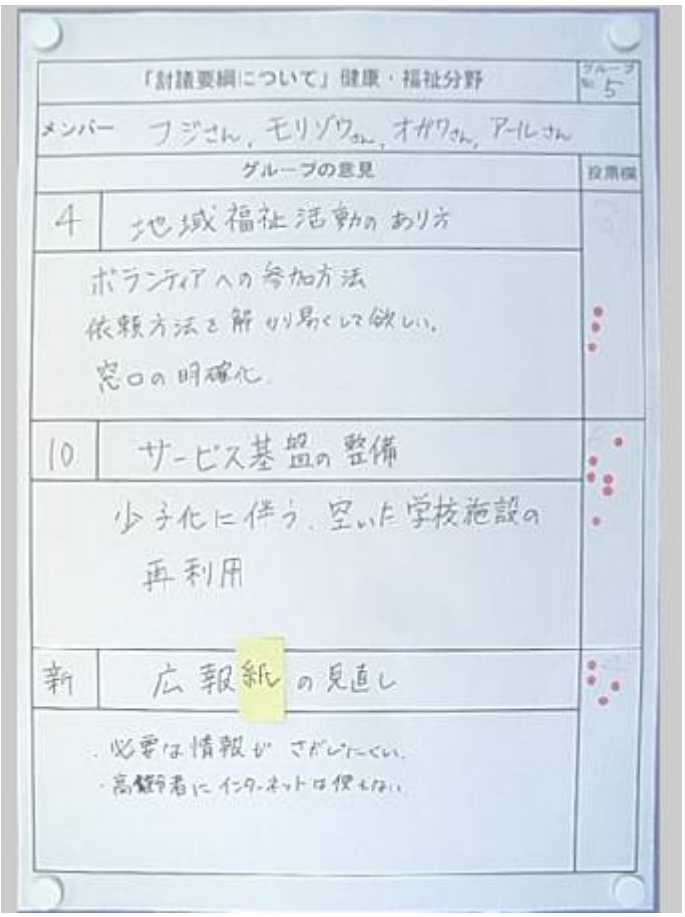
<コミセン>
- コミセンの有効活用　利権？
- 地域のイベントを増やして地域内交流をふやす　西久保
- 健康づくり＝各コミセンで毎週末　年齢問わず健康体操教室

<防災>
- 災害時要援護者へのサポートの充実

<④地域福祉活動のあり方>
- 高齢者が社会に参加しやすい仕組をつくる（ex.子育て、教育など得意分野で）
- ボランティアへの参加意欲が高い　実費程度で活用できる
- 高齢者、障害者へのサポートなどの福祉活動に、市民ができるだけ参加していく（できる人ができるだけ）
- 福祉への参加を市が、市民へ呼びかける。きっかけとなるイベントや場をつくっていく。
- 三世代が同時に遊べる場所づくり。世代間の交流をはかる（コミセン、公園など）→コミュニティが生まれる
- 高齢者には友達が必要。友達作りのできる場所　趣味、サークル
- 三世代交流を学校・コミセンで実現する
- 相互にたすけあえるポイント制（地域通貨の活用）

<情報公開>
- 市の事業（子育支援）の宣伝・PR→特に若い世代に伝わっていない
- 実は福祉サービスそのものがわかりにくい（必要にせまられていないから？）
- 介護についても情報が入らず実態で知らない
- 福祉サービスへのアクセシビリティが重要
- 市の福祉は担い手団体の連携が必要では
- わかりやすい言葉で計画を作成する（専門用語をなるべく使わない）
- わかりやすい情報の提供→様々な情報を一元的にすべてがわかるような窓口サービスの提供

<その他>
- かけこみ寺を作る（助けを求められる場所）
- 町内会、回覧板がまわらない。（拒否する人がいる）
- 単身世帯が増えている→介護する施設をつくる。
- 健康づくりを考える。予防医学が大事。
- 市民農園など健康を増進する施策をする。
- 市民のコミュニケーションが薄い。付き合いを活性化すべき。
- 心の健康が大事→コミュニティが大事。市がもっと政策を打ち出すべき
- 武蔵野市は他市に比べて高齢化が激しい。
- 利便性が高く、土地が高い。20～30代が住めない。市が対策をするべき。
- 施設をつくるのでなく、在宅でケアできるようにする
- 地域老人、単身の高齢者→地域で支える
- 大人も遊べる公園
- 参加意欲が高い方が多いので、高齢者も含めて地域を支える活動に参加する。きっかけや支援が地域全体を支えるための世代間交流
- 健康づくりは高齢者の様々な生きがいを作るための訓練になる。身近な場所で　また高齢者だけではなく勤労世代への対応も必要



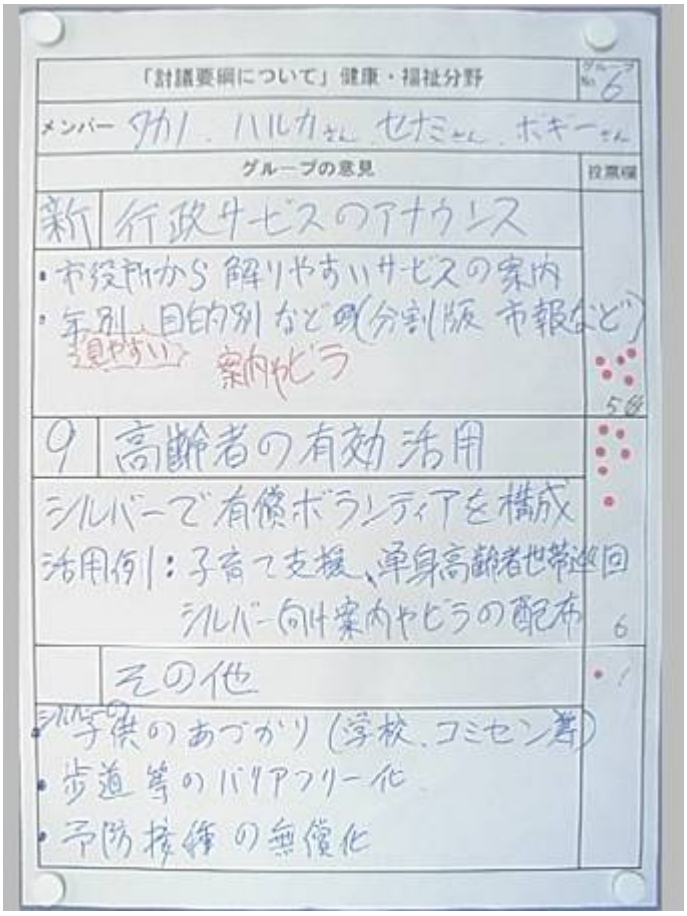
「討議要綱について」健康・福祉分野　グループ No. 5

メンバー　フジさん、モリゾウさん、オガワさん、アールさん

グループの意見		投票欄
4	地域福祉活動のあり方	
	ボランティアへの参加方法 依頼方法を解り易くして欲しい。 窓口の明確化。	
10	サービス基盤の整備	
	少子化に伴う、空いた学校施設の再利用	
新	広報紙の見直し	
	・必要な情報がさがしにくい。 ・高齢者にインターネットは使えない。	

健康・福祉　5グループ

- ボランティアへ参加方法が分からない（申請・内容等）
- 市役所にボランティア課を。（申請先の明確化）
- 子供の時からボランティア活動させる
- ボランティアのポイント制の復活
- 高齢者ケアのための中高年の活用
- 介護の担い手として退職後の中高年活
- ホームレスの支援
- ボランティアへの参加方法、依頼方法を解り易くして欲しい。窓口の明確化
- こころの健康のために、メンタルケアを充実させる
- こころの病気がかえって患者や他人を苦しめる人を作っています。もっとこころの病について理解する機会が必要
- 介護過程へのシルバー体制の充実。
- 高齢者支援でバリアフリーの推進。（制約無しで）
- 避難所を無くすために地域から孤立し寂しいような気がする。
- 高齢者の独り暮し世帯に対するかかわり方。いざという時のリポート方法。
- 豆義務（シルバー対策）
- 情報がとりにくい。市報だけでは不足。
- 高齢者施設の運営費用の土地提供方法の導入
- 地域の公園に身体を動かす為の器具を設置してほしい。
- 頼られることで自分に自信を持つことが出来る。
- 高齢者施設に入所するには3年以上住んでいることが条件で入れない
- 今、人数を世帯が多いので少子化をとめるために保育施設を増やす。地域でも子供を育てることも
- 保育所の充実　子ども手当より保育所設置
- 少子化に伴う、空いた学校施設の再利用
- 自分のできる範囲で社会とつながりを持つ。
- 認知症高齢者への見守り方法・体制
- 地域住民とのかかわりが少ない。自分でシャッターアウトしている。
- 高齢者と子供達との情報交換。
- 高齢者になる前から地域住民の助け合いが必要になれば
- シルバー専門のD市報（○○広ェト）　市報、情報がとりにくい
- 休日・夜間の医療機関の拡大
- 高齢者施設が少ないので学校跡地を使える施設を利用すれば…
- 子供が減っているので学校統合にあいた学校を利用しては
- 小学校の施設の空いた部屋で高齢者のデイケアこそったら
- 一人暮らしのペット　飼い主が病気になったり亡くなった時困る



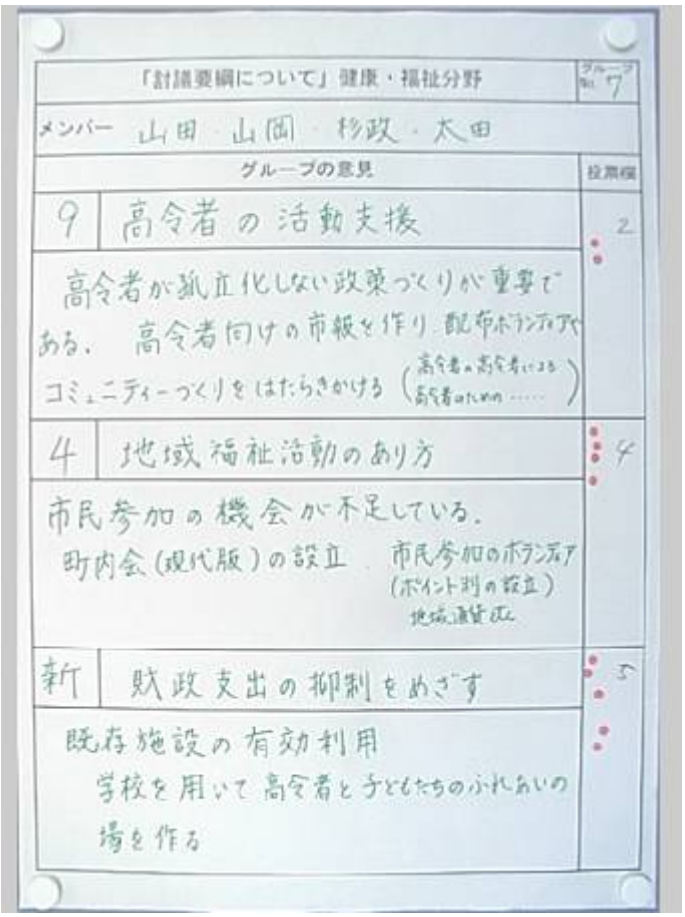
「討議要綱について」健康・福祉分野　グループ No. 6

メンバー　ダイ、ハルカさん、セナさん、ポキーさん

グループの意見		投票欄
新	行政サービスのアナウンス	
	・市役所からの解りやすいサービスの案内 ・年別、目的別などの(分割版 市報など) 見やすい 案内やビラ	5
9	高齢者の有効活用	
	シルバーで有償ボランティアを構成 活用例：子育て支援、単身高齢者世帯巡回 シルバー向け案内やビラの配布	6
	その他	1
	・子供のあつかい（学校、コミセン等） ・歩道等のバリアフリー化 ・予防接種の無償化	

健康・福祉　6グループ

- 若年層の地域参加
- 高齢者と小中学生との交流
- 7）認知症高齢者見守の推進　当該者人数、人容を発布すべき
- 人間ドック、健康診断等の支援（対象）
- 予防接種　無償化する？（年齢別に）
- 市役所等　掲示の例（バリアフリー）
- 8）、4）シルバー人材、市の委託として数人して数人して市民に。お金については1,000円／1日以下でも良いと思うし、やる気を出させるという相乗効果も！
- コミュニティセンター　使いやすく
- 高齢者の雇用（一時的な）
- スポーツ　健康に役立つ　体育協会入会制限撤廃
- 学校を利用（空いた教室）
- シルバー人材　役立てる場所
- シルバー　出張所？　シルバーで構成するボランティア
- 市報を見やすく！！年齢、目的別に分けたチラシ等
- 市役所からのアナウンス
- 市報
- 高齢者向けサービスメニューみたいなもの
- 3）地域リハビリテーションの長寿義務の推進
- 9）高齢者、障害者の就労支援　高齢者の年齢別の支援　障害者の雇用の支援
- 有償ボランティア（少額で良い）
- 地域交流の充実（地区・教育）
- 一人世帯の増加？
- 障害者　雇用
- 情報をよく見えるようにする工夫　外での活動力をうながすように
- 複合問い合わせ窓口的な部署を
- 4）地域活動活動　若年高齢者が増えているので、50才以上の人には、自覚帰宅を目して、地域の共存していく
- サービス内容を目がけ易く、平面にしてはっきり分りやすく。
- 明朗する。



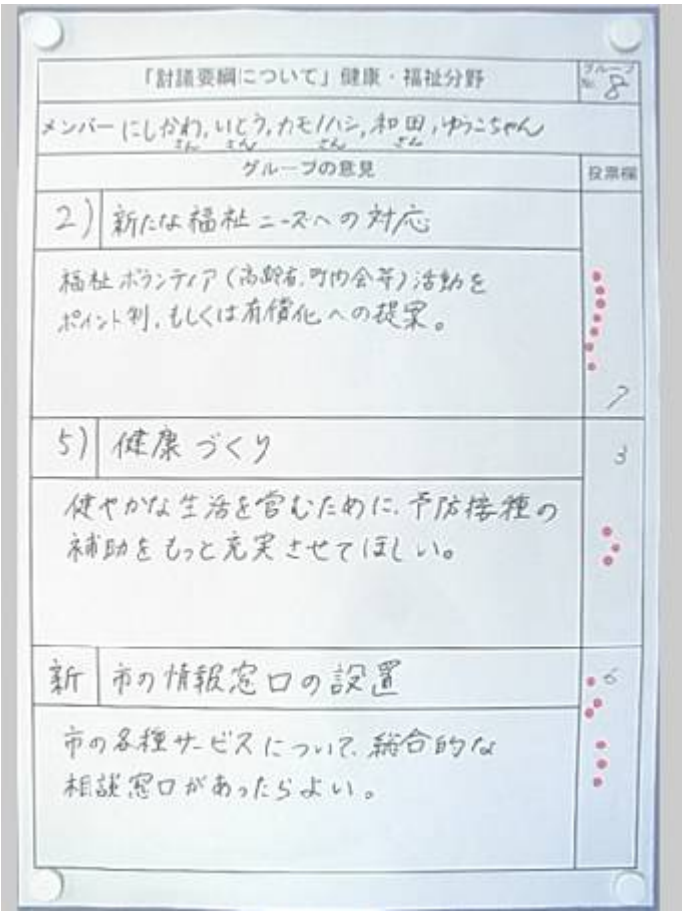
「討議要綱について」健康・福祉分野　グループ No. 7

メンバー　山田・山岡・杉政・太田

グループの意見	投票欄
9　高令者の活動支援	2
高令者が孤立化しない政策づくりが重要である。　高令者向けの市報を作り配布ボランティアやコミュニティーづくりをはたらきかける（高令者の高令者による高令者のための……）	
4　地域福祉活動のあり方	4
市民参加の機会が不足している。町内会（現代版）の設立　市民参加のボランティア（ポイント制の設立）地域通貨の設立	
新　財政支出の抑制をめざす	5
既存施設の有効利用　学校を用いて高令者と子どもたちのふれあいの場を作る	

健康・福祉　７グループ

- 特別養護老人ホームの家族などの負担が軽減するため、介護する家族のニーズに応じた支援の充実
- 高齢者と子供のふれあい
- 市民参加の地域活動の戦略化　一日限の以上教育
- 高齢者、障害者が地域で生き生きと自立して暮らしていくため、地域活動社会貢献を奨励
- 高齢者、障害者が住みなれた地域での生活を継続するための福祉サービス及び体制の整備
- ポイント制
- インターネットの利用
- 町内会が必要だと思う
- 町の中を細分化して町内会設立！！
- 学校の利用　介護施設へ
- 孤独死を防ぐために心向をするべきか？
- 中高年で職がない者に対する職業紹介の拡充。
- 多名人版囲碁を作る　外に出るきっかけ、年金ボランティア
- 高齢者や中高年への コミュニティーづくりを活かきかける
- 支援・介護が必要となっても、地域で安心していきいきと暮らせるよう支援体制を考える
- 要介護者の就労機会の拡充。
- 高齢者の就労機会の拡充。
- 保育と就労機会の柔軟な制度の創設
- ボケ介護　認知症への対応
- 介護分野の労働環境の改善・改善
- 健康　全体
- 高齢者と心の健康診断の推進を行なう
- 健康づくりと地域の連携をつくる　ウォーキング etc.外へ
- （例）登校時に万歩計を配布
- 健康（子ども）
- 赤ちゃんの泣き声・子育が昔と違ってきた、良くなった。
- 子育ての環境や高で若年者は育ったほうが良い。
- 退職して、近所とつながって何かに貢献したいです。
- 教育ボランティー　現在まる人以上の子供を育てている人
- 待機児童がないようにしてほしい。
- 低人的料保育士が足になって、迅速への告知などがやりにくくなっている。
- 少子化が町内会をますますできにくくしているのでは、小のふれあい所をするよう効果にすべき
- 妊婦検診も良くなってきた
- 高齢の高齢者女性を協力しているが、近所に行ったりすると、喜んでくれてこちらもうれしい。
- いずれ核離置の対応をうまくも応してほしい！
- 「健康」子供の時から良い習慣づくり
- 地域コミュニティー（人とのつながり）
- 即
- 西住寺の市内外の人ばかりで、地元のコミュニケーションが薄くない。



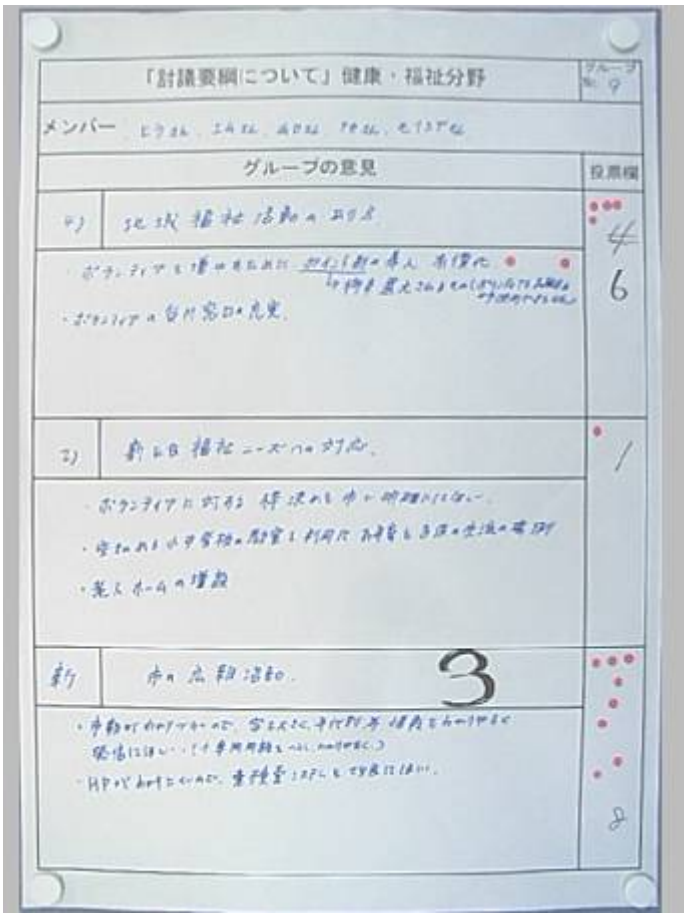
「討議要綱について」健康・福祉分野　グループ No. 8

メンバー　にしかわさん・いとうさん・カモハシさん・和田さん・ゆうこちゃん

グループの意見	投票欄
2)　新たな福祉ニーズへの対応	
福祉ボランティア（高齢者、町内会等）活動をポイント制、もしくは有償化への提案。	7
5)　健康づくり	3
健やかな生活を営むために、予防接種の補助をもっと充実させてほしい。	
新　市の情報窓口の設置	6
市の各種サービスについて、総合的な相談窓口があったらよい。	

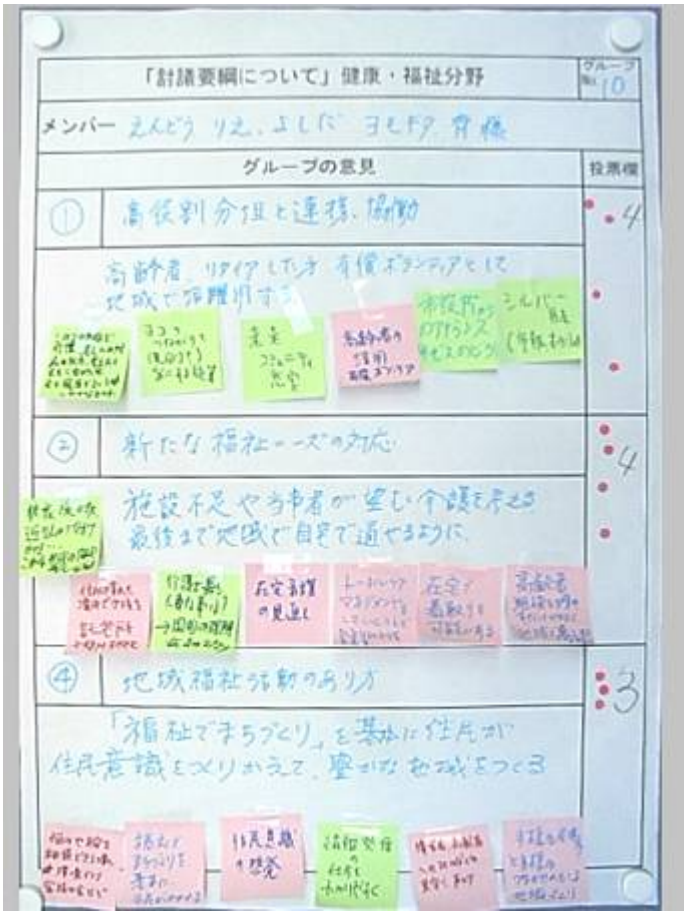
健康・福祉　８グループ

- 家庭
- 高齢者世帯への見守り
- 年齢を問わないメンタルヘルスの支援体制
  - ・健康づくりと介護予防
- 市民の健康経済の為　成人病との予防対策等
- 将来もここに住み続けたので、高齢になってからどんなサービスが受けられるか、情報が欲しい。
- 市民が参加できるボランティアにどんなものがあるか、情報が少ない。
- 家族構成の小規模化　需要が近いと思い　私の回りでは 3～5 人と住んでいる家族が多い
- 近所かいに高齢者（1 人）うちの子ども達のコミュニケーションを喜んでくれるが、心配（体調が）
- 3 人の子どもを生んだが、毎回医療の補助が大きくなってきて助かる
- 障害や高齢者だけでなく、健康福祉センター 11 のバールーム、よく行くが、皆のクラスメートが元気に社会参加。
- 疾病予防、健康増進策　健康福祉センター の企画充実色い。
  - ・ダンスなど
  - ・コミュニティ・ダンス
- 家庭？！ホームレスの方への対応
- 市民内のバリアフリーへの市の対応？　予防についてのバリアフリー
- 健康な生活をする為の方法。スポーツ、健康体操等。
- 健康診断の内容（市補助）
- 健康相談のための大人用の遊具がいくつかある公園などにあるとよい



健康・福祉　9グループ

- こころの健康づくり　相談支援体制はどこでもどのように行われているのかわからない。
- 健康診断、成人予防の検診、通知告知をもって
- 病院の地域から健康の相談センターなどもっと開催。関心人向け（二）（口）も
- 小さな赤ちゃんのお母さん。有償の部分も期待してほしい。
- 健康の相談
  1. 病気にならないための体操などく目がなど）（踊っている）→体験を増やして欲しい
  2. 近所が公園に集中。遠隔地も設置して欲しい。
- 若い人の健康づくり　仕事が終ってきてからの健康や、育児などのリーズの情報が欲しい。（若い者からのサービスはたくさんある）
- 介護するといって年齢段のコミュニケーションが大事（自分にどんな人が住んでいるのかを知るところからスタート）
- 介護の相談が制度としてわかりにくい
- ボランティアの方に不安を感じる方もいる。もし、きていただくときは、市の方でわくをつくって欲しい。（どこまでやっていいのか）
- 高齢者のみまもり体制（隣の人が声をかけあって、くらすのが大事）
- 地域福祉活動の担い手不足、固定化と書かれていますが、どのように参加、関与してよいかわからない。
- 現役のときの能力の連続を、一元化して欲しい（高齢者など）
- 地域福祉活動　武蔵野市内にある大学、短大、専門学校生の実習の場として、受入れさせてはどうか。（い・ロ・高手あの）
- ボランティアにプチプレゼントがあれば良い。"モア"がもらえると良い。
- 地域福祉活動にもボランティアの工夫を→ボランティアをした実績により少額でも特典など設定しやすく
- ボランティアにいくらかの報酬がいてプチ報酬に成らないか
- ボランティア任意にプチ報酬があった方が良いのでは？宝石カードとか
- 一人ぐらしの方の「安出し」など、ボランティアとしてもける。（一人暮らしの方を中心としたら高齢と工夫して生活感覚などしたらどうか）
- 情報がわかりやすく発信して欲しい。
- 手いれの手助が欲しい。
- ②声掛などで、人々が集まる場を増やす。（地域の関係方法がわからない。）手いれに分けて手助い、分野別にわけて欲しい。情報をわかりやすくして欲しい
- それぞれのニーズが違うと思うので、各自方向性に合ったニーズ対策を、誰もにとのロスる配りが欲しい。ex.HP作成など
- ことばを変わりやすくしてほしい。（特に福祉用語、介護用語など）
- ご近所との交流→したいけど方法がわからない
- 将来の高齢化社会に向け、経験者人ホームのような機能を設置していただく事が出来るようになると良いと思います。
- 独居高齢者の方々がお暮らしの暮らしていけるよう、地域の方々や地域の方々が積極的に声掛けをしていく事が大切であり、必要だと思います。
- 地域のお年寄りのニーズを調査、把握する人を置く。
- 介護側の若人の方の手助け。（買物など）
- 小中校生とお年寄りとの交流。
- 現場４７日５日に、地域連絡が行なわれている（資源回収、掃除など）
- 家の家の中でも・人暮らしから見ている。孤立しがちなると社会をうまくつなげないか



健康・福祉　１０グループ

5）健康づくりと介護予防

- 高齢化で収入減なので支出を減少させる為に元気な人を出さないよう工夫して欲しい
- 高齢者の方が寄り介護にならない　介護予防の推進

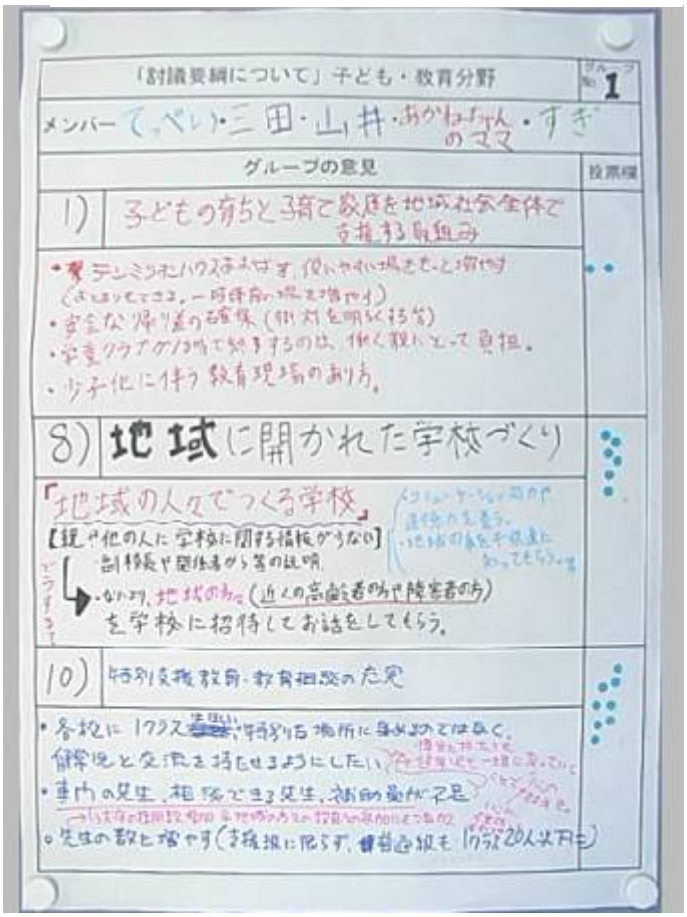
10）サービス基盤の整備

- 保育所や介護施設などの数が地域によって差がある。物物を作ったら必ずそういったものを入れるようにして欲しい。
- 医者、看護師、ヘルパーの育成
- 拠点として、コミセンが設置を担って欲しい。

<その他>

- 人間ドック、健康相談の支援　医師等の増加
- シルバーセンター活用　コミセン　市役センター
- ボランティア　メーク　衛生正
- 地域活動の対策
- 有償ボランティア　リタイア高齢者
- 行政の拠点　市のボランティア　有償として
- 予防接種の徹底
- ①高齢者、リタイアした方を有償ボランティアで活躍してもらう。
- この 20 年間で介護、老人への対策の仕方、考え方も大きく変わった。全て税金でというのはいかがなものか
- コミのつながりの会（見守り？）高にする組織
- 若者コミュニティ作成
- 高齢者の深井・有償ボランティア
- 市役所からのアドバンス（リードスのドラ）
- シルバー班（市長、ボランティア）
- 核家族が多く、ご近りんのつながりがない。これは世代・時代の背景／理解度
- 住み慣れた地域で老後を、高齢者、お年寄りの手助き
- 介護で最も大事な事は？→現実の理解・現実の理解
- 生き甲斐の見直し
- トータルケアマネジメント・表していくことでひとりひとりを表現する
- 生き甲斐作を可能にする
- 高齢者施設を増やすだけでなく地域で暮らすを可能に
- 悩みや不安を相談で共有、隣接寄り家族の発見
- 地域でまちづくりを基本に市民がかかわる
- 住民活動の開発
- 情報発信の工夫をわかりやすく
- 若者者、高齢者への地域での見守り、声かけ
- 多様な居場所と多様なつながりのとてるが地づくり

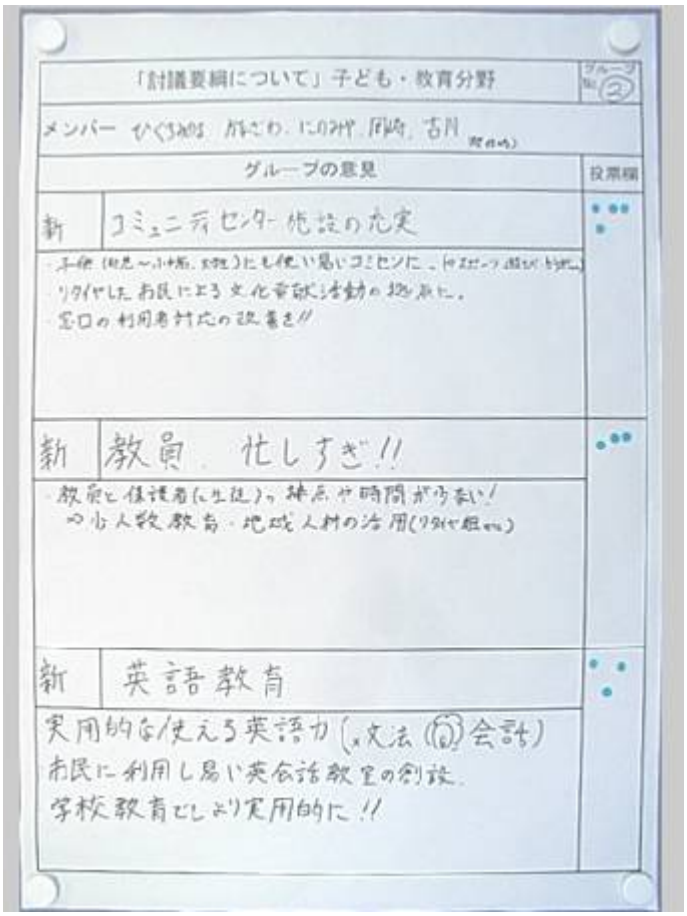
②「子ども・教育」分野　＜発表用シート＞



＜作業用シート＞

子ども・教育　１グループ

- 子どもの人数が少ないんだから１クラスの人数は 20 人くらいで手の届くような教育を。
- 単独で済む先生、補助員が不足している
- 先生
  クラスの分に応
  いじめ
- 放置を防ぐ。子も普通の子も一緒に教育で良いか？補助の先生は…
- 不登校を、外から見ない人たちへの支援
- 少子化に伴う教育現場のあり方（幼稚園）
- 子供と障害者とのふれあいをする
- 8）学童クラブが 18 時に終了するのは遅く親にとって負担。せめて 19 時にならないでしょうか？
- デンタルオンハウスあれば一子供向けもっと使いやすい方が良い　お泊まりもできる
- 10）特別支援教育のあり方を、見直してほしい。
  ・学校に１クラス
  ・普通級との交流
  ・専門の先生の十分
  ・補助が先ずは地域の高齢者の方や大学生などに依頼
- １ヶ月８万、補助３万
- 子どもを一時的にあずかってくれる場所がもっともっと欲しい
- 等かれた情報が少ない。
  ・小学校の公開
  ・給食の集まる場の広報
- 保育園の受け入れの実数
- 地域に開かれた学校とは。内容（施設の分野で考えてみてはどうか？
- 夜の集まる、小学校にたく子供などの帰りが遅くなるため、上の子の安全面など。
- 学年が高学年まで。
- 地域の人々でつくる学校
- PTA不足
- こどもと地域のお年寄りとの交流（昔遊び、家事、お手伝、お話し会、ぬれ…）
- コミュニティ　ほっている人は多いが、ほっていない人は味わない
- 他の市場の人々が多く来る場になったため、町の中心の変化。
- 新並区の子育て補助券がうらやましい。
- 8）「放課後対策、安全面についてどれだけ確保できるのか。
- 4）保育がビジネス（商売）にいってしまう。新システムへの移行は慎重にしてほしい。
- コミセンなどの施設利用が生涯学習が使いづらい時間帯に成っている。
- 子供が小学校に行っていないと学校関係の情報がまったくない。
- 地域全体、市民全体で子育て・教育・障害者への配慮をするよう、どうするか考えてほ？
- 公の場の使用方法がめんどくさい
- 小学校の児童数の減少に伴い、学校に保育機能や高齢者機能を併設してはどうか？
- 校区問題
- 学校の点検を市民に公開する（市報などで）
- 他の活動、授業以外での発表出来る場所があればいいか。
- 学校の視野が不足



子ども・教育　２グループ

＜老人＞
- 学校の空いた教室＝高人ホーム？集りの場
- 老人　市民のサポートして もらえる
- 退職後、先生に
- 高齢者の家庭と子育て中、若い世代との家庭とのネットワーク化

＜その他＞
- 学区（土・日）やっていない。
- ＜重要！！＞地域との触れ合い、利用との触れ合いの場を積極的に増やして欲しい。
- ＜入れるべき！！＞最先端の IT を教育に積極的に取り入れて欲しい。
- 具体的がなく分かりにくい
- セカンドスクールもっと長すぎる
- 既存の人材活用（高齢者、学生）
- いじめ、充実している！
- 一時保育の充実
- 学校の家賃がかかりすぎ
- 情報過多　数字化　具現化

＜生涯教育＞
- 市民大学講座の充実
  専門性の高い生涯学習の推進

＜コミセン＞
- （コミセン）0123 地域化　地域活性、3 表示は、それ以上じゃ足りない。
- 夜間　外で遊ばない　安全か？不安
- 子供がどうしたら楽しいか、もっと情報必要。
- やってること、説明して欲しい。見えづらい。PR しかた。
- リタイヤ、専門性の高い人の文化貢献の場
- コミセン　利用
- コミセン施設　充実していない
- 市民アクセス（利用しにくい）
- 情報が乏しい
- 中高生について　子どもでも大人でもない中高生の特殊性に着目した、特別な配慮の必要性。居場所、宿泊施設、ネットや携帯トンプルetc.
- 子どもの居場所
- コミセンが子どもの溜り場
- 小・中学校　地域
- コミセンでスポーツトレーニング
- コミセンの多角的活用
- つくる必要なし　自然？で良い

＜学校教育＞
- 教員　忙しすぎ！！
- 小学校、中学校における教員と高齢者のつながりを深めることの大切さ　教師は学校行事が多すぎて　じっくり児童・生徒
- １クラス 20 人にして、負担へらす。
- 特別支援学級　教育相談の手伝いができる人を市民からふる。
- 具体的な負担を知りたい
- 子供を育てる上で、相談する場はあるが、そこまで行って相談する事のできない家庭には、訪問する機会を作ってくださるよう望む。
- 教師の地域、施設
- リタイヤした人の協力による自主組織化
- もっと地域の人材を活用すべき

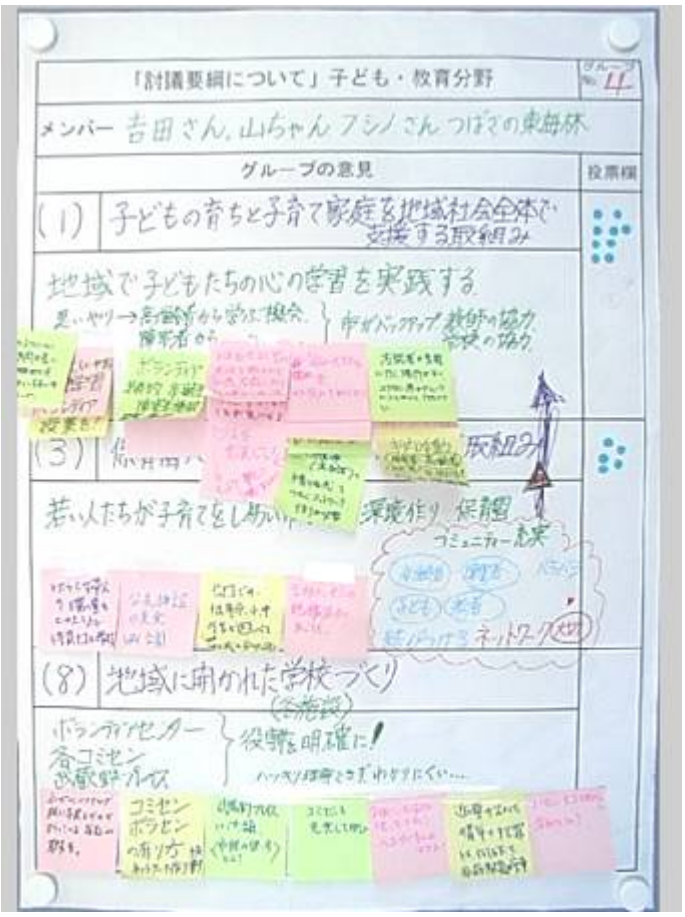
＜いじめ＞
- いじめ問題への予防等対策

＜障害者＞
- 市の支援少ない
  ・いじめ
  ・障害者
- 地域社会で子供を育てる事は大切だが、対応面のある子供達を、どう接様、どのように扱っていくか

＜英語教育＞
- 市民への外国語教育の場
- ＜入れるべき！！＞英語教育（会話）
  ＩＴを入れて欲しい。使える英語力
- 国際化支援（留学等）

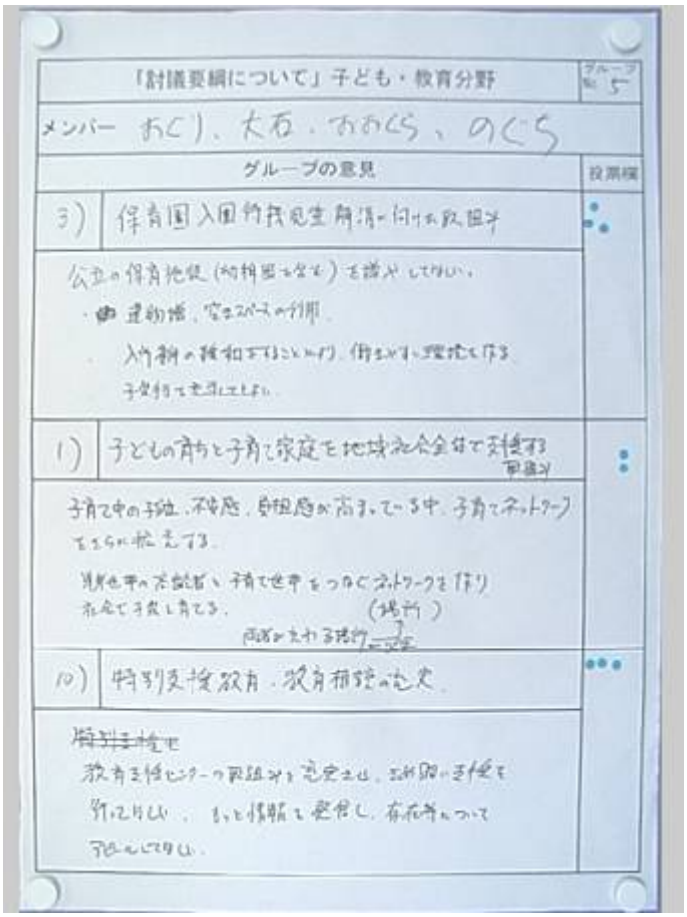
子ども・教育　3グループ

- 子育て世帯の住みよい環境一百年間の急成長ハドメ。
- 平日働きつつ子育て続けられる環境・新く世代に魅力
- 若いカップルが住みやすい町に
- せっぴあるけどPR不足
- バリアフリー　誰本人にとって本当によいのか、かえって考えてしまうようになる。
- 樹林　マンション応えて3000人人口
- 子供の受け入れ態勢、少子化対策のこ…
- 言語教室の年齢
- 自分から求めていかないと何もわからない！
- 障害児教育
- 校舎、スキップ通り「拍手の森」武蔵野市山野
- 施設を造る時　学校一老人ホームにも使える
- PR不足　公共施設の
- 自転車事故　武蔵野市が多い
- 子どもの英語教育一教師の質
- 子どもの交通ルール　子どもの時の躾
- 一子供少ない　外で遊ばない
- 〈公園〉子供が集まる。近隣から「うるさい」一苦情
- 1件ふえると、近隣との関係（騒音等？）子どものうるさきは少しはがまんすべきでは？
- 教師のあり方
- 子どもの遊び
- 市の教育施設や施策の広報の必要性
- 半径世帯というライフスタイルでも地域の子育てに役立てる・貢献できる仕組み
- 武蔵野プレイスの活用の仕方
- 子育て支援で保育所はどの位あって足りているのか？
- 0123は学校、幼稚園、公園、公立幼稚園がない
- 使いと（使う）利用できるか、わざわざに行かない
- 市の施設を使う人は限られている。年齢の65歳以上の方
- コミセンや公民の施設で参加にもなかなかなじめない
- NPO法人で子供、ふれあう場があるのかな？例、絵本や雑誌屋など
- 子育て支援ネットワーク内容の「PR」の必要
- 特殊学校の充実させて欲しい、場所が遠い
- 学校の学校時間帯を図り、保育園入園待機児童の解消を図るべし
- マンションの一室い学校の空きスペースを利用して保育所を作って欲しい
- 公園よりも保育園を造って欲しい！
- 子どもたちは郷土のことをどの程度知っているのか
- 「少子」以外で学校が減がすぎる
- 学校が意外と遠かったのはなぜか
- 学生のマナーの悪さが目に付く
- 学校まで行けても教室に入れない子、親が付いていかないと行けない子ども学校の対応は？
- 教師も子どもも成績第一主義に陥っていることはないか
- 教師は生徒指導に専念していることはないか



子ども・教育　4グループ

- 治安の良い環境作り。
- 市がバックアップ　既に市民レベルで行っている伝統や教育を。
- セカンドスクールの期間が長いプレセカンドでは、いるないのではないか
- 学校（小・中・高）体験学習としてボランティア
- 心の学習、思いやりを育てる授業を！
- ボランティア見本市、高齢者、障害者施設、見学、参加
- 新しい学級の充実を。
- 子供好きの人等が学習を教えたり、「先生」を教えたりする場があっても。
- 体のあいさつをしても今の子どもは返事がないことが気になる
- ソフト充実してネットワーク化
- 「命の大切さ」を幼児から知らせて
- 地域の人材をもっと学校で活用
- 子供の頃からボランティアの気持ちを持たせたい
- 半径世帯（青壮者）と子育て世代をつなぐネットワークづくりが必要
- 青壮者が気軽に行く場所がない、コミセンもグループに入らないと行きづらい
- 子育て・手助けのネットワーク作り
- 市内病院（障害者・高齢者・幼児）を回る！ボランティア応援育てる！
- 遠く離れた人の親戚をとどのえる為、保育園を増設
- 公共施設の充実（例）公園
- 公園での騒音部、小・中学生と接する場を設けて欲しい
- 学校に大人の応援生があって
- 市がバックアップ、既に市民レベルで行っている伝統教育を。
- コミセン、ボランセンの作り方、ネットワーク作り、役割
- 武蔵野プレイスは図書（市民の使い方として）
- コミセンを充実して欲しい
- 子供に本当は使っているが、ハコが多いのでは？
- 近隣の20代の青年の犯罪は何故？家庭教育が大事
- コミセンを学校内に造ってはどう？



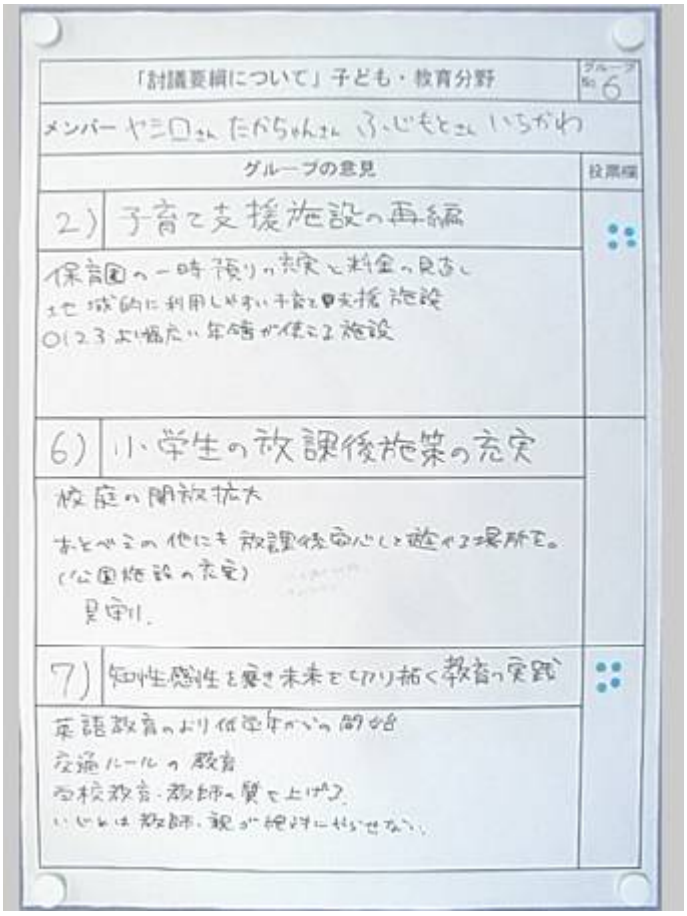
「討議要綱について」子ども・教育分野　グループ No. 5

メンバー　おくり、大石、おおくら、のぐち

グループの意見	投票欄
3) 保育園入園待機児童解消に向けた取組み	●
公立の保育施設（幼稚園を含む）を減やしてほしい。 ・遊休地、空きスペースの利用。 ・幼稚園の統廃合をすすめ、働きやすい環境を作る。 子育ちを考えてほしい。	
1) 子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する	●
子育て中の孤独、不安感、負担感が高まっている中、子育てネットワークをさらに拡充する。 異年齢の交流など、子育て世帯をつなぐネットワークを作り充実を図る。（略） 高齢化される施設の一部を	
10) 特別支援教育・教育相談の充実	●●●
~~特別支援~~ 教育支援センターの取組みを充実させ、相談の手続を簡単にしてほしい。もっと情報を整理し、存在等について知らせてほしい。	

子ども・教育　５グループ

- とくに一般市民、成人教育の、意識の向上（子のための教育施設をつくる。講演、情報）
- コミュニティ等、グループが活動する場はあるが、高齢者が気軽に個人で参加しやすい場がない。
- 市民の情報（必ずしも高齢者には届いていない）を行う。
- 道徳に関する教育が学校中心、口先だけの教育の口で終わってはいないか。
- 特殊学級（障害を持つ子供）に対して市内の中に入っている子供がどのようなことにはっているか。親は何に気づかずに困るのが不要です。わかりやすいようにして欲しい。
- 市の施設を使ったことがない。
- 教育資源の発掘・活用を政策化・支援
  教育アドバイザー、校長の指導
  生涯学習講座の推進
- 以前は校長先生が変わっていたのではないか
- 教育アドバイザーとは何をする人ですか？本当に必要なのですか？
- 教育センター機能とはどんな機能ですか？同じ機能等なのですか。
- 0123、近隣園、公園の活用法
- 公園の口に幼児用のスペースを作って欲しい！
- 公立保育園は多いが、公立幼稚園がないのは何故か。
- 公共子育て支援施設を増やす。（子育て当事者はやらしてう）
- 0123は親にとってとてもありがたい機関であり、今後も大切に残すべき施設である。
- 就園前子育ての子どもが増えたと感じる！
- 若いカップルが住める様に家賃の補助をしたらどうでしょうか。
- 本当は学校など小学校の空きスペースを利用した保育園
- 公立の施設、子育て支援よりも高齢者やすい傾向が強やす
- 若い人は育児ノウハウは子供教育でられない
- 補助をする
- 子育て当事者を充実すべき



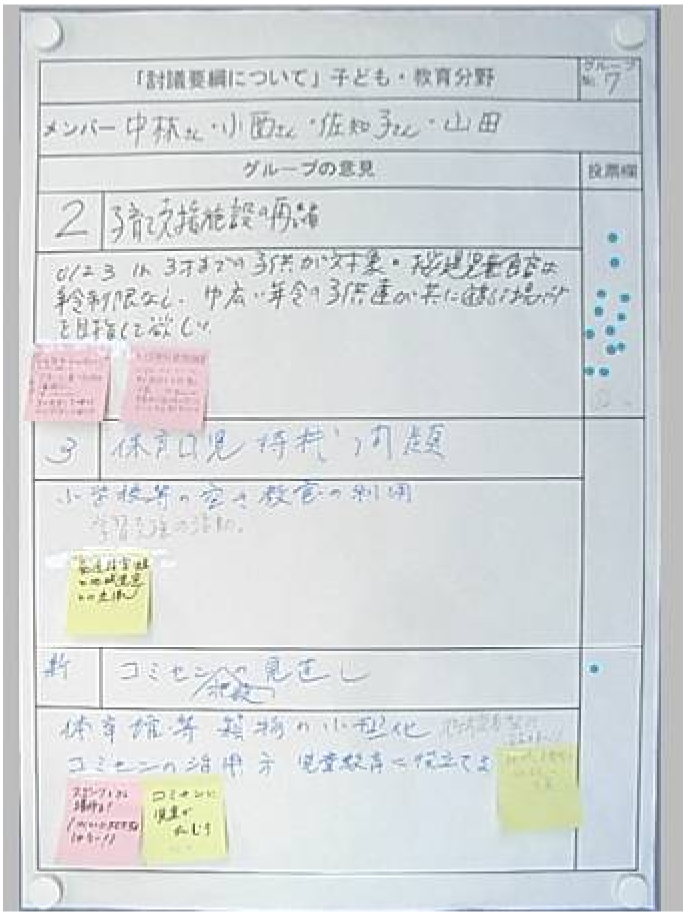
「討議要綱について」子ども・教育分野　グループ No. 6

メンバー　ヤシロさん　たからちゃんさん　ふじもとさん　いちかわ

グループの意見	投票欄
2) 子育て支援施設の再編	●●
保育園の一時預りの充実と料金の見直し 地域的に利用しやすい子育て支援施設 0123よりもっと年齢が低くて施設	
6) 小学生の放課後施策の充実	
校庭の開放拡大 おとべるの他にも放課後安心して遊べる場所を。 （公園施設の充実） 見守り。	
7) 知性感性を豊かな未来をつくり拓く教育の実践	●●
英語教育のより低学年からの開始 交通ルールの教育 学校教育・教師の質を上げる。 いじめは教師、親が絶対にゆるせない。	

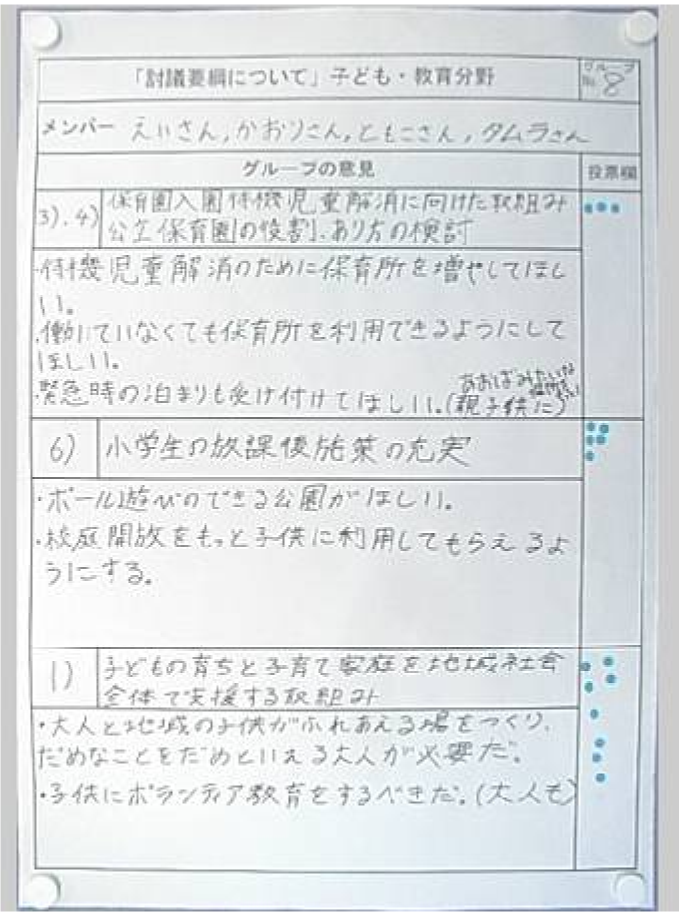
子ども・教育　６グループ

- 家庭教育講座に目を向けた施策
- 保育児童館の今後について（特定子ども園についても、もっと情報をオープンにされたく思い合いの話もあり、利用者の意見を聞いて欲しい）
- かけこみばかり、具体的動きない。近隣施設の利用
- 就労時でも児童館を
- 小学校の学区域の見直し一地域の現状にあわせ検討したらよい
- 児童施設のかたより
- 就児年からの料金が他の地域より高すぎる
- 利用者及補助、学校にも高齢者向け就業ーどちらにもかかる。
- 公園などの子供が遊べる場所を必ずや。
- 保育園などの一時預りをもっと充実させてほしい。年齢をまとめ（0歳1歳と2歳3歳）、分けられると良い。それによって料金を考えるべきか
- 0123施設より市児童館のような幅年齢の親・子で利用できる施設が全て欲しい
- 施設をつくる時一緒にでも使える施設を考える。
- 幼児、児童が安心して遊べる環境の整備
- 0123や児童館の機能が古い。体験できるものをもっとわかりやすくしてほしい。子供と利用できる機能をPRやして欲しい（母世代など）
- 空き教室など使っていない施設を有効利用する
- 教育、子育てのNPOや市の事業の宣伝、子育ての
- 小学校のトイレが汚れていて下さい
- 住みやすいけど生めないは住みにくいなっているのでは？子育、少子化、高齢化対策につきこんで。
- 小子化の時ならあるからこそ教師のゆとりがもられるチャンスではないでしょうか。
- 学校教育の質を上げる　体　脳に
- 学校の先生　よい先生とわるい先生、問題はあるけど、公のよりは良い。
- 核家族化しかう子育て不安の解消
- 児童虐待の防止　児童の学校対策
- いじめを完全になくすためには？
- １クラスの人数はいろいろ高齢者の方々に利用できないか。
- 小・中学校の地域への開放拡大、活用等　安全対策のかねあいもあるか
- 小学生にもそれぞれの地にも放課後過ごしてあさべる場所を
- 公立・私立での教育　いろいろな人との出会い
- 外で遊びすぎてゲームで遊ぶ子しか育えてる？
- 思春期教育は15.6年生からでは遅いのではないでしょうか
- 幼稚園教育の充実整備
- 交通ルールの教育
- 教師の生徒に対する態度（生徒の先生に対する態度）
- 中学生が参加できる教育事業
- 中学校行事にもっとくくりにて活動
- 中学の若い人をどうやってもとめる？



子ども・教育　7グループ

- セカンドスクール　期間が長い（子供が行きたがらない）
- 2）子育て支援施設の再編（桜堤児童館を0123と一体化）というのは、支援される子供が3才までになってしまう。一児童館なら年齢の幅広く対象にできるのに
- 3）少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討　所得の差に関わらず子供に平等な教育を受けるチャンスを与えることが必要
- 交通ルールを守らない方が非常に多い感じがします
- 空き教室を保育園に！
- 学習遅れの子供たちの為のシステムを！（お金のある人は塾へ行くけど）
- 信号無視　子供の交通ルール
- ボランティアの活用を。障害者・子供の為に
- 10）いじめ、不登校児童の中としての支援
- 治安の良い環境づくり
- コミセンの多目的化
- 研修のムダが多いのでは？
- 小さいものでよいので充実させる。
- 学童保育の質の向上　土曜日のオープンを保証して欲しい　武蔵野市になぜできていないのか？
- 地域大学との交流を（子供達の知性向上）
- 学校と地域との交流
- 7）知性・感性を育み未来を切り拓く教育の実践
  国際化に立ち向かうため、日本の文化を学び継承した上で他国にそれを誇れる教育を行う
- 7）国際競争力を確保するための海外留学など、市からそれを支援する仕組みを構築する
- 子供が公園に来ない　公園で遊ばない
- ホームレスの人たちへの支援も！
- 地域大学を中・高生のために活用するシステムを！
- 入園、待機児の解消
- 桜堤児童館→0123施設化　4歳～の支援は？
- 「公立保育園の役割・あり方の検討」（公共教育の市への関与のあり方の検討）桜堤こども園の取組みを検討するとかいてありますが、要は民営化を図りたいのではないかと心配です
- 「小学生の放課後対策」学生ばかりでなく、中学、高校生の対策も必要、コミセンは中高生の溜り場と化してゲーム等に熱中している
- 発達障害児童と地域児童との交流
- スポーツできる場所を！（コミセンにたむろするしかない!!）
- コミセンに児童がたむろ
- 地域型子育ての継続の充実



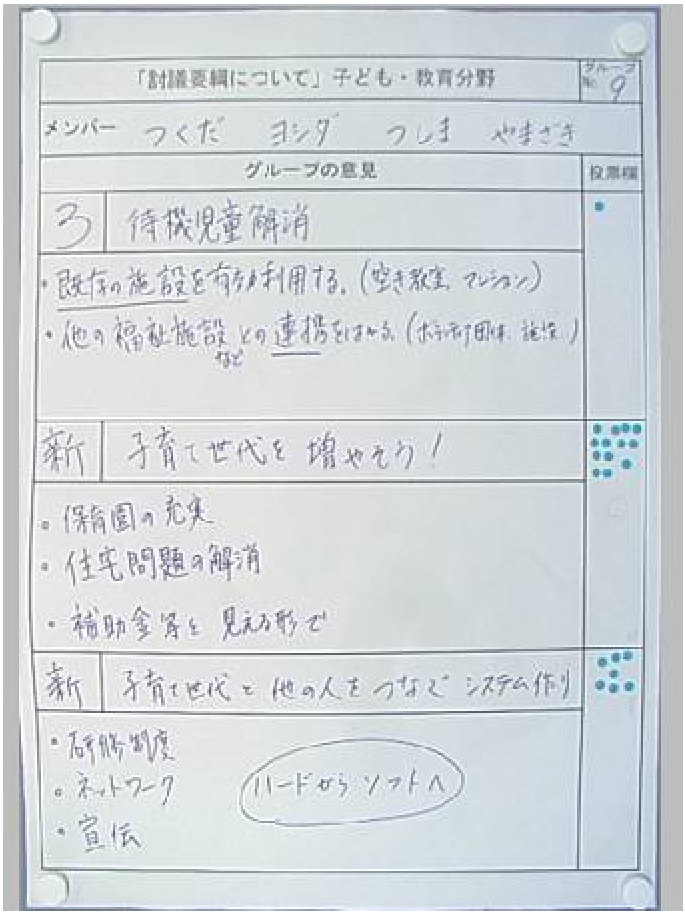
子ども・教育　8グループ

＜保育園（3）（4）＞
- おにきんせいのネットで交流している
- 子供手当を保育にまわしたらどう変わる…？
- 子育ての中での乳幼児期のあり様
- 認可保育室への補助がもっとあるとよいかも
- 保育園をもっとふやしてほしい―働く人も働いていない人も入れるように。
- 2人目の子供を作りたくなる社会に。
- 待機児童の早期解消への取り組み方
- 子ども園とか、おうち保育園（子育てママ）とかをふやしてほしい。
- 小学校下校後も子どもを預かってくれたり安心して預けられる場所（市営でも地域コミュニティでも）が欲しい
- コミセンを使っていろんなイベント（ワークショップ）をもっとたくさん開催しやすいように。
- 大人も生涯教育の場をたくさんもてるように。
- 教育、子育てバウチャーが欲しい！（杉並区の子育て応援券みたいの）
- 3）4）待機児童を減らす為に保育所を増やして欲しい
- 働いていないと預けられない現実はおかしい
- 自宅近くに欲しい　地域の母親達とのコミュニケーションがとれる
- 一時保育と、保育所の差もある
- 一時保育も増えて欲しい　緊急時の一時お泊りも受け入れてもらえる

＜（1）子どもと大人の関わり合い＞
- だめなことをだめといえる大人が必要だ！
- 子どもをしかれない
- リタイアしたシニアの人たちがもっと子育てに参加してくれると両方ありがたい？
- 退職した世代と子供たちの交流が学校中心ぐらいでできると、楽しそうだなと思えますが…
- 地域と学校の連携
- あいさつのできる子供の育成
- 障害児の教育を同じ教室で。
- 子供との接し方
  世代間交流がない
- 点数の高い人優先
  今働いている人が優先
- 子育てを武蔵野市で続けられる施策を！！
- 地域の大人が学校の先生に。（放課後）

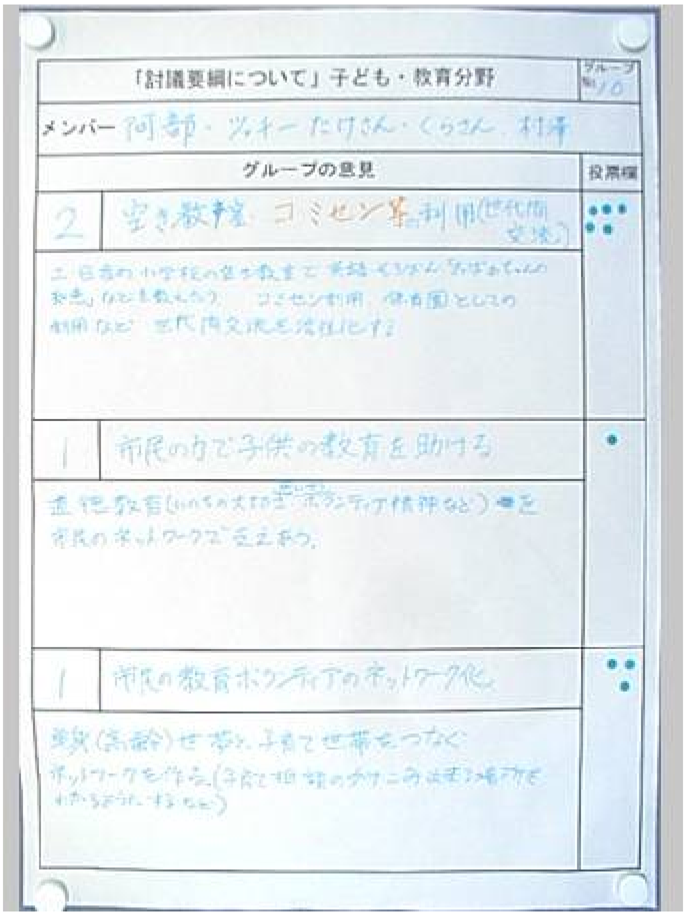
＜子どもの教育・遊び場＞
- 子ども教育の成果がわかり難い
- 子ども連れであそべる場所がもっとあるとよいかも。
- 少年野球チームなどにＰＲする機会を！！
- 子供が1人で留守番してても、安全な武蔵野市であり続けてもらいたい
- 教師側にまかせるものが多すぎると思うので家庭でできることは家庭でしつけるべきと思う
- 子供たちが安心してみんなで過ごす（遊べる）場所作り
- スポーツする所がない　あっても使いづらい　公園―ボールあそび禁止　使用料の問題もある
- 小学生にもっと少しスポーツさせるべきだ。
- ボール遊びのできる公園が少なすぎる。
- 校庭開放をもっと利用してもらった方がよい
- ボール遊びのできる公園が、武蔵野市で、小学生には困難だと思う！！
- 子供にボランティア教育をするべきだ！！
- 大人と地域の子供がふれあえる場を。
- 妊婦さんのマークの知名度が低い！！
- 6）子どもの遊び場所を増やす（スポーツ）
- ボール遊びができるのびのび遊べる公園が少ない
- 校庭開放をもっと利用してもらえるように。
- 教育にまかせるものが多すぎる　家庭でしつけを。

＜いじめ＞
- いじめ　表面化しないいじめがある現状
- いじめの問題
- 環境を変えることでいじめ防止
- いじめ　環境を変えてもいい　逃げ道を残す、作る



子ども・教育　９グループ

- 保育ママを増やす　[illegible]を増やす　保育料を安く
- 保育園、0123、一時保育がつかいにくい。預けられない。ひまわりママ、値段が高い　保育料、値段が高い
- 住みたい→住める
- 新しいものは作らない　あるものを利用する
- 高齢者と子育て世代をつなぐ→システム作り
- 研修の場が必要→子育て教育にかかわるために
- 少子化云々　若いカップルが世帯を持てる環境作り、ex.安い賃貸アパート？
- 単身者を教育、子育てにとりこむには？
- 施設を作る際、あとでいろいろ使えるように
- 人、物、枠組をとりはらう。
- 放課後施策、保育事業、文科省と厚労省の管轄の統一を。
- 保育事業について　保育事業への予算配分はどうなっていくのか？政令指定都市では民間の施設もコストが高い（賃料など）ので保育料を上げるか、質を下げるかしかなくなるのでは？
- （小・中）学校教育について　教員の転勤等にともない、各校が継続的な教育方針がたてられない等の問題があるのでは？
  人事制度の見直しが必要では？
  各校の独自性が出せる制度が必要では？
- 命の大切さを教えていく→道徳教育
- 高齢化、定年退職者の増加→保育園、小学校とのつながり
  ボランティアとしての参加
  老人ホームと保育園の併設
- 「学力向上」「英語」「個性」等の市の独自性をつくる。
- 相談できる人がいない　施設、人がほしい
- 学校の少子化による空き教室の利用→生涯学習の推進とのつながり
  新しい施設の建設ではなく、現在つかわれているもの有効利用
- 地域住民と学校に通う（小・中学生）が参加できる行事をつくる。
- 教育実践　いわゆるモンスターペアレントの問題はあるのでしょうか。教師がのびのびと教育できる環境ですか？
- ボランティアと子育てをしてほしい人のネットワークを作ってほしい。そういうシステムを作ってほしい。
- 使ってないもの・人を有効利用
- 市ができることに限りがある？
- 小・幼　一貫？
- お年寄りが講じる研修として地域参加
- 民間管理委託を有効に使えないのか？
- 企業の福利厚生としての保育事業は？
- 保育　小さな単位でも　保育ママなど
- 公園　あるが、使っている人が少ない→保育園等に（余剰）回す
- 保育園・幼稚園の充実
- （人）をとりこむシステム作り　単身高齢者、若者
- ハードからソフトへ　ハコモノから人、サービスへ
- 今あるハードの有効活用
- 幼稚園の預り保育の拡充を行う。
- 研修
  ネットワーク
  宣伝
- 待機児童解消　もっと具体的で早急な取組みを
- 若い人達の人口を増加させる→保育園の充実、幼稚園→小学校、学童とのつながり
- コミセンの活用　若い人を
- 市長の英断（文・厚）
- 公園　金の使い方
- ネットワーク、システムつくり　ハードじゃなくソフト



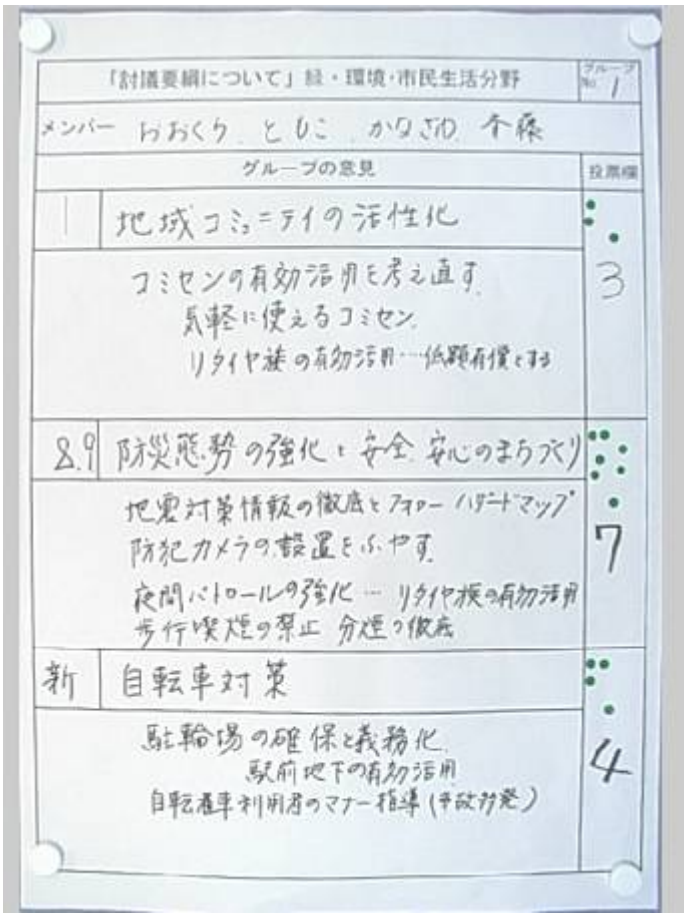
子ども・教育　１０グループ

<①施設（学校・コミセン）の使い方>
- 小学校の空き教室をつかい保育園を併設
- 施設が遠い　使い勝手悪い　小学校を再利用
- 学校の中にコミセンを含めてしまっては？
- 高齢者が気軽に行けるところがない
- コミセンのあり方の充実
- 高齢者プレイスの問題。市税の使い方
- コミセンの利用法　音楽・英語・算数
- 放課後のコミセンのたまり場化（悪い行動）
- 待機児童数をなくさないで
- 学童保育終了後の小学生や放課後の中学生のなかに、保護者の目が届かない家庭をいかに支えるか、コミュニティーの支援が必要。
- 学校（小学校でも）大人が勉強しても良いのでは？

<②教育>
- 英語教育のコミュニティーを作る
- 大人も生涯教育場をもてるように
- 市民大学での場が少ないのでは？（多いらしい）
- いのちの大切さ　学校教育・道徳教育では優先課題とする
- 大人が子どもをしかれない（親も同様）
- ボランティア精神を小さくから育てよう
- 心の学習。思いやりを育てる授業を。
- 教育の場だけでなく、市、地域を深めてほしい。（子に関係して）たとえばPCとかの充実よりも、実地体験の機会を増やすとか。
- 先生の質の低下とモンスターペアレントの問題
- 教師は忙しく、個別指導になかなか手が届かない。地域の人々に特別支援をサポートしてもらう
- 1クラスの児童数が多いので学習に遅れる子どもがいる。彼らの放課後をフォローできるようなとりくみが必要である。
- モンスターペアレントのような人を育てた反省
- 少子化対策　子育て支援を地域社協の重要課題とする。おじいちゃん、おばあちゃんとふれ合う
- 不登校の子どもをなくすために！！
- 基本は"あいさつ"大切　家庭教育
- 子どもたちの安全を地域ぐるみで守ろう。通常、下校時はもちろん日常的に、あいさつのできる関係をつくろう。
- 社会体験　セカンドスクール長すぎ

<③地域で子供を育てる>
- 子育て相談ネットワーク　個人窓口
- ソフトのネットワーク作り（個別に市民がやってるのを）
- 単身世帯と子育て世帯をつなぐネットワーク作り
- ◎なるべく近くの方で見守りできるよう　ネットワークの方たちに乳幼児の子がいる
- 公立幼稚園の存続　地域の方の願い、園長先生の希望も忘れずに
- ◎子育ての親がこまった時、駆込みできる家をふやす
- こまった時の連絡（相談）し頼る所を明確に　例、お医者さん
- 地域ごとにそろばん教え、地域対抗そろばん大会
- 幼稚園くらいになると、地域のイベントが減ったように思う。赤ちゃんの頃のように、市のサービスを知らせる配布があると良い。
- 子ども好きな人からの協力を！ネットワーク
- 障害者の子育てもっとやわらかく考えてほしい
- 放課後のクラブに高齢者の参加により知識を高めていく
- 障害児童との交流をもっと増やせないか
- 住民の力で子育てを出来るように！

③「緑・環境・市民生活」分野　＜発表用シート＞

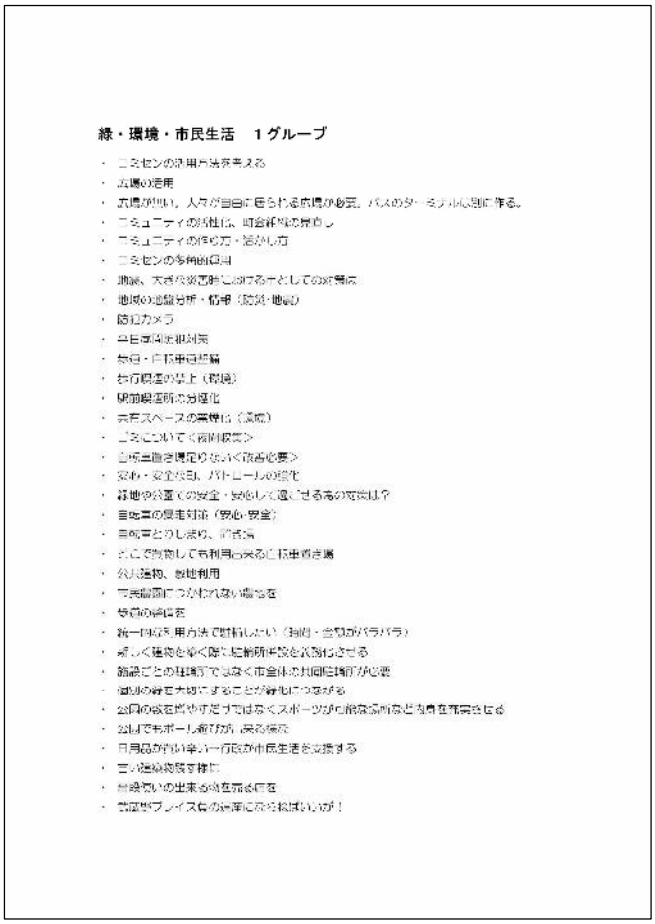


「討議要綱について」緑・環境・市民生活分野　グループNo. 1

メンバー　おおくら　ともこ　かなざわ　今泉

グループの意見		投票欄
1	地域コミュニティの活性化 コミセンの有効活用を考え直す 気軽に使えるコミセン リタイヤ族の有効活用…低額有償とする	●●● 3
8.9	防災態勢の強化と安全・安心のまちづくり 地震対策情報の徹底とフォローハザードマップ 防犯カメラの設置をふやす 夜間パトロールの強化…リタイヤ族の有効活用 歩行喫煙の禁止　分煙の徹底	●●● 7
新	自転車対策 駐輪場の確保と義務化 駅前地下の有効活用 自転車利用者のマナー指導(啓蒙活動)	●●● 4

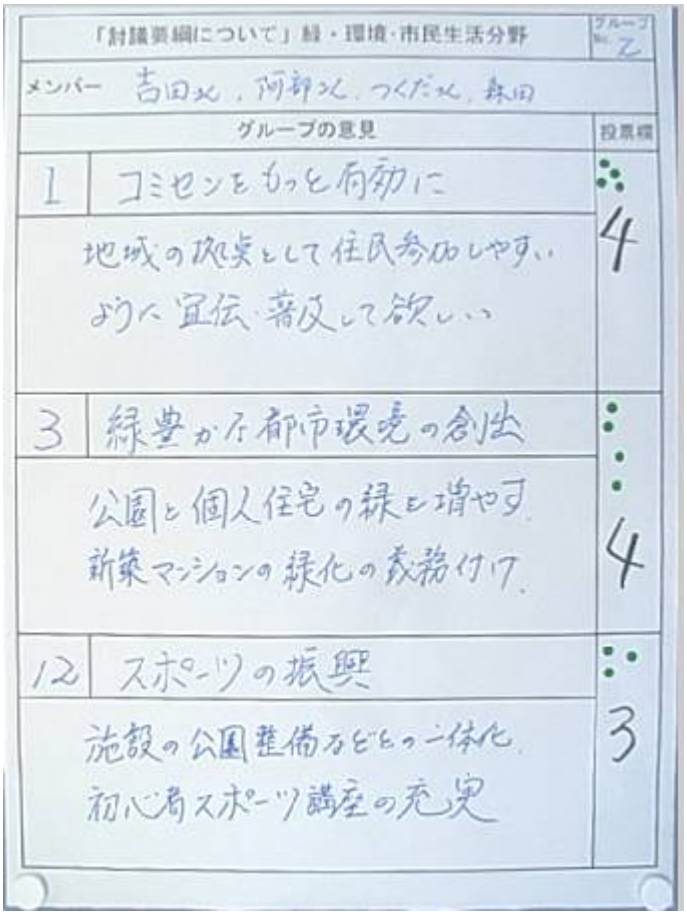
＜作業用シート＞



緑・環境・市民生活　1グループ

- コミセンの利用方法を考える
- 広場の活用
- 広場が狭い、人々が自由に語られる広場が必要。バスのターミナル跡に作る。
- コミュニティの活性は、町会単位の見直し
- コミュニティの作り方・活かし方
- コミセンの多角的利用
- 地域、大きな災害時における中継としての対策
- 地域の地盤分析・情報（防災・地震）
- 防犯カメラ
- 自転車問題対策
- 駅前・自転車置場
- 歩行喫煙の禁止（環境）
- 駅前喫煙所の分煙化
- 共有スペースの美観化（緑化）
- ごみについて＜資源収集＞
- 自転車置き場足りないので改善必要＞
- 安心・安全住民、パトロールの強化
- 緑地や公園での安全・安心して遊べる為の対策は？
- 自転車の暴走対策（安心・安全）
- 自転車とのしまり、駐車場
- ごみで放置して利用される自転車置き場
- 公共施設、敷地利用
- 共有部分につかれない場所を
- 駅前の美観化
- 新一回収利用方法で徹底したい（資源・粗大がバラバラ）
- 新しく建物を造る際に駐輪所設置を義務ずける
- 施設ごとの駐輪所ではなく市全体の共同駐輪所が必要
- 個人の緑を大切にすることが緑化につながる
- 公園の緑を増やすだけではなくスポーツ施設・駐輪場所など有効活用を考える
- 公園でキャボール遊びが、出る様に
- 日用品が買い揃う一店舗が市民生活を支援する
- 高い建築物を禁止
- 自然豊かの出来る場を提供を
- 駐輪場プライス台の料金にかかる様にしたいが！

＜発表用シート＞



「討議要綱について」緑・環境・市民生活分野　グループNo. 2

メンバー　吉田光、阿部光、つくだ光、森田

グループの意見		投票欄
1	コミセンをもっと有効に 地域の拠点として住民参加しやすいように宣伝・普及して欲しい	●●● 4
3	緑豊かな都市環境の創出 公園と個人住宅の緑を増やす 新築マンションの緑化の義務付け	●●● 4
12	スポーツの振興 施設の公園整備などと一体化 初心者スポーツ講座の充実	●●● 3

＜作業用シート＞

緑・環境・市民生活　2グループ

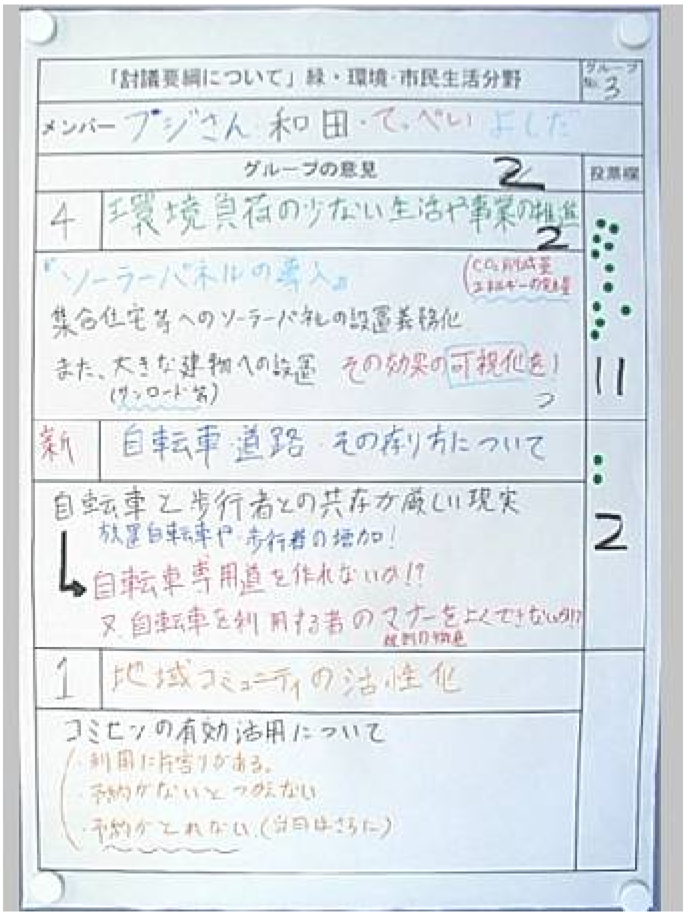
＜コミセンの普及＞
・コミュニティセンターを地域の中核と考え宣伝、住民の参加、予算を増やす
・ファンパシーをさこなわないように設置したコミュニティ作りのためのネットワークを作る
・コミュニティセンターの活用と地元密着
・「地域コミュニティーの活性化」コミュニティ　センター　を拠点として考えるのは如何なものか？それ以外のものを…
・外国人が増えていることへの理解

＜緑化＞
・個人宅の大木を植う工夫
・個人住宅で実践
・新しいマンションの屋上ソーラーパネル化・緑化
・公園の緑を増やす運動
・緑が多い…美観地の緑の保全削出は良いことではないか

＜住みよい街道路に＞
・「東急デパート」の利用、デパートはゆとりのあるスペースとして音楽、絵画に使いこなれていないように思っている
・市の北部にバスを
・吉祥寺同様でわかりやすい駅案内の多い標示つくる
・駅号マップについて住民としては駅号地化反対
・二線化（北口）の拡張化
・「なごの音楽」ベビー　カー　車椅子が安心して乗れるように
・自転車通路の拡幅・専用レーンの設置
・吉祥寺のまちのなかに点在するような場所、椅子ベンチなどを設置して欲しい
・市全体の歩行禁煙化　通
・吉祥寺の共同駐輪場化
・駅舎・市営住宅の充実
・ペットボトルに、セラルの義務
・家庭での生ゴミの減量→コンポスト化→利用に（当家庭でコンポストが向いて居い場合もあるので）

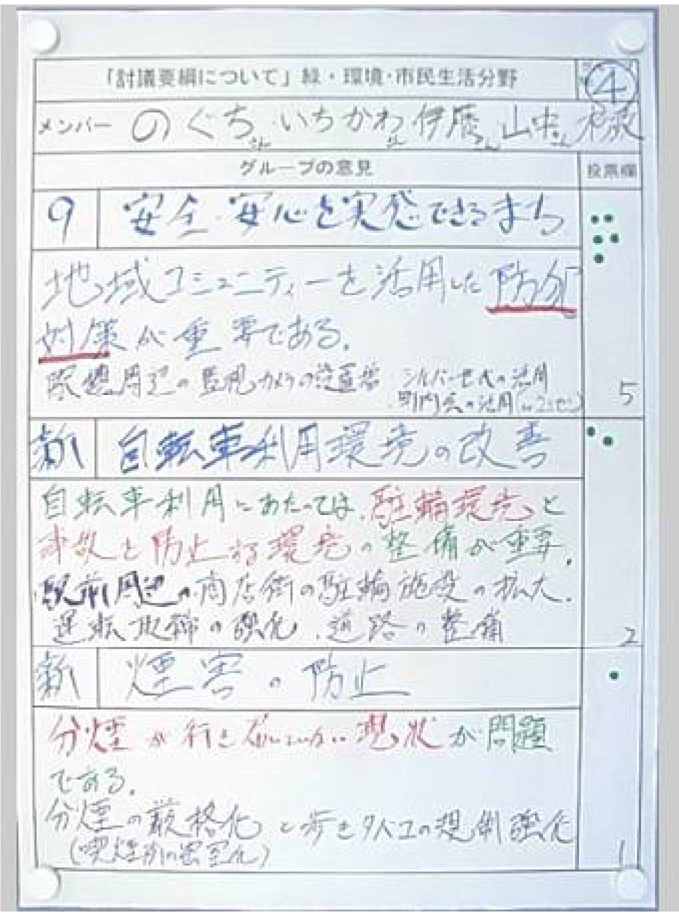
＜スポーツ振興＞
・市民が楽しめるスポーツ振興
・初心者スポーツの講座を開やし、施設を有効に利用する
・「スポーツの振興」公園の整備などと一体化されれば良い

＜安全パトロール＞
・車乗り外が多いのでパトロール
・監視カメラの設置



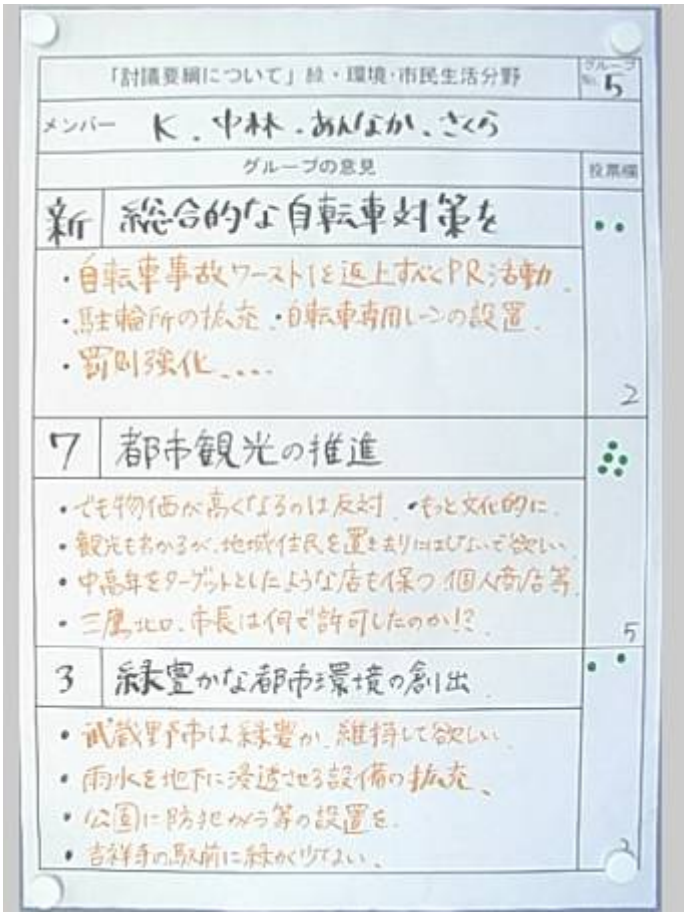
緑・環境・市民生活　３グループ

<コミセン系>
・「緑・市民生活の充実を」市のいう生涯環境とは？その目標は？
・となり同士のつながりがない。ノックしても出てこない。あいさつもしない。
・自転車専用レーンを検討して欲しい、公園の緑化増やしてほしい、コミセンの広報と利用、買い物のトート、スワれるイスなどがあるといいんだが、余裕がない。
・コミセンの利用人工を増す企画や工夫した方が良い
・事実、吉町コミセンを選挙と卓球以外で使った事がない
・コミセンが思いつきで利用できない（予約しないとダメ）
・コミセンの利用に片寄っている（本宿）
・コミセンの予約がとりにくい（中央コミセン）
<自転車系>
・自転車（に代表）乗る人のマナーの向上
・安全に付める可、自転車の交通規則の周知徹底
・歩行者優先の街づくりをして欲しい、歩道が極端に狭いところもあります（東町女子大通りなど）
・自転車専用道を作ろうよ！
・吉祥寺商店街の外周を歩行、自転車で回れる経路を回避できる外周道路があると良いのですが
・吉祥寺駅周辺の自転車の路上駐輪の禁止
・吉祥寺通りと井の頭通りの交差点から始まる車の渋滞
<交流・コミュニティ>
・移住や外とのかかわりを
・吉祥寺東町のＪＡの直売所など、品質も良く利用しています。都内ゆい
・北町の農作物の直売は都内の友人もワザワザ買いに来ます。おいしいと評判です
・駅周辺でのペットの扱い
・ペット増加により、犬をつれて歩く人が多くなった。ペットに対する何がしらの施設はつくれないか
・スポーツ施設（プールは冬は閉まってるし）
<緑・環境>
・千川上水の整備
・緑化の推進、民有地の緑の創出の仕組作り、補助、苗木の配布等
・マンション等の大規模住宅の建設時での緑地割合の法的規制
・高い木を○○本以上、低木を○本等
・市民農園の拡大（小規模土地の活用）
・大きな木、個人でやるには
・個人の家の大きな木の維持方法を考える
・小金井公園や井の頭公園もよく行きます。隣接市と協調するともっと緑も身近になるのでは
・玉川上水沿いの整備、歩行、ジョギングしやすく、一部、東京都の部分が多いとは思いますが
・ゴミポイ捨て禁止やってってー！
・集合住宅等へのソーラーパネルの設置義務化（共用部の電気に利用）
・ソーラーパネル（八王子）
・回覧板を作って！
・捨てられないゴミ（土など）をどうしたらいいの？？
・市内商店との協働による包装材の原料規制
<安全・安心>
・ホワイトイーグル等の役割の多様化
・消防団等の参加の枠の再検討
・1番住みたい町や新たなる店等で外からくる人々が増、良い事ではあるがキバツな人も増
・今、確認しなければ手遅れになってしまう課題、問題をもっと市民に公開、広報する必要があるのでは？具体的に、数字も出して



緑・環境・市民生活　４グループ

<自転車>
・商店街に気軽に駐輪できるようにしてほしい
・自転車専用道
・自転車利用しやすいよう駐輪場づくりを、駐輪場は少し駅から離れている
・事故率日本一、事故が多い
・駐輪場の駐輪時にはマナー教育受講を必須にする
・駐輪までの手間ひまを少しできないか
・朝のラッシュ時間の自転車のマナー
・井の頭公園を猛スピードで抜ける
・自転車高齢者から見て恐い
・マナーだけではなく取締ってほしい（条例）
・市民文化会館のあたりがこわい、自転車
・マナーを徹底指導するべき
<太陽光>
・太陽光エネルギーなどの自然エネルギーを使う。ひとつのエネルギーを効率よく使うためにエネルギーの再利用を心がける。
<コミセン>
・コミセンで世代を越えた交流はできないか、お茶の間的交流
・コミセンは使い勝手が悪い、ある者ががしきっている
・地域コミュニティとしての国際交流、どんなことがやられているのか教えて
・知らなかった（武蔵野市の体育館と運動公園）
・喫煙所プレイスの役割は何？
<安全>
・夜９時にランニング中気に刺された人がいた
・安全に子供が遊べる公園
・ボール投げ禁止が多い
・生活安全→カメラの設置（条例による強化）・どんどんつけるべきだ、公園も？公道はどうする？吉祥寺、三鷹等の駅の設置数の比較表を出してほしい
<タバコ>
・タバコ・ゴミのポイ捨ては徹底的にやめさせる（ヤセイなし）
・三鷹駅前のきつ煙所は必要か？
・共有スペースを完全禁煙にする
・禁煙を徹底
・歩行禁煙の禁止
<防災>
・単身者が多い、平日昼間に家を空ける人が多い→防犯対策
・監視
・回覧板の利用で地域の密接な関係作りを
・派出所の強化の為組織が必要
・市民の安全な生活を出来るためシルバーの人たちを活用してみてはどうでしょうか
・シルバー人材センターに登録しても仕事がない
・単身者が多くなる
・町内会費はとられている￥2,000 ほりのおかき
○高齢は恐い
<地震>
・地震、地盤が強いか弱いか情報が知りたい
<ゴミ>
・バイオマスの補助金、企業、飲食店へ導入、義務化
・資源物収集の時間帯を変更する（昼→夜）
<その他>
・三鷹東地区で福祉一番といっているが比較対象はそれだけ？
施設・設備他・広く利用しやすく

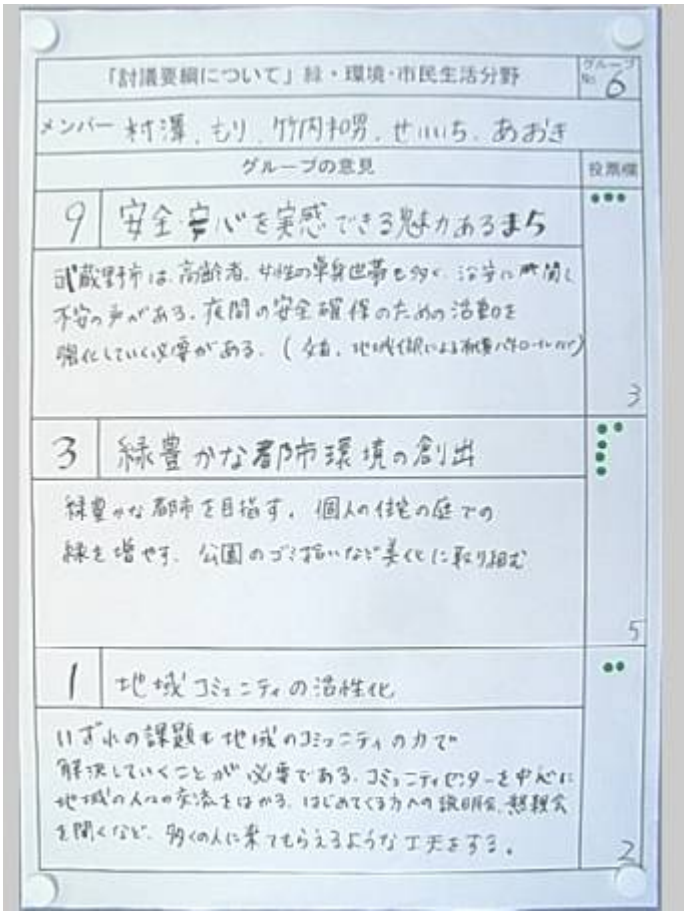


「討議要綱について」緑・環境・市民生活分野　グループ No. 5

メンバー　K、中林、あんなか、さくら

グループの意見	投票欄
新　総合的な自転車対策を ・自転車事故ワーストを返上すべくPR活動 ・駐輪所の拡充・自転車専用レーンの設置 ・罰則強化….	●● 2
7　都市観光の推進 ・でも物価が高くなるのは反対　・もっと文化的に ・観光も大切だが、地域住民を置き去りにはしないで欲しい ・中高年をターゲットとしたような店も保つ個人商店等 ・三鷹北口、市長は何で許可したのか!?	●●● 5
3　緑豊かな都市環境の創出 ・武蔵野市は緑豊かを維持して欲しい ・雨水を地下に浸透させる設備の拡充 ・公園に防犯カメラ等の設置を ・吉祥寺の駅前に緑が少ない	●● 2

⑥なし



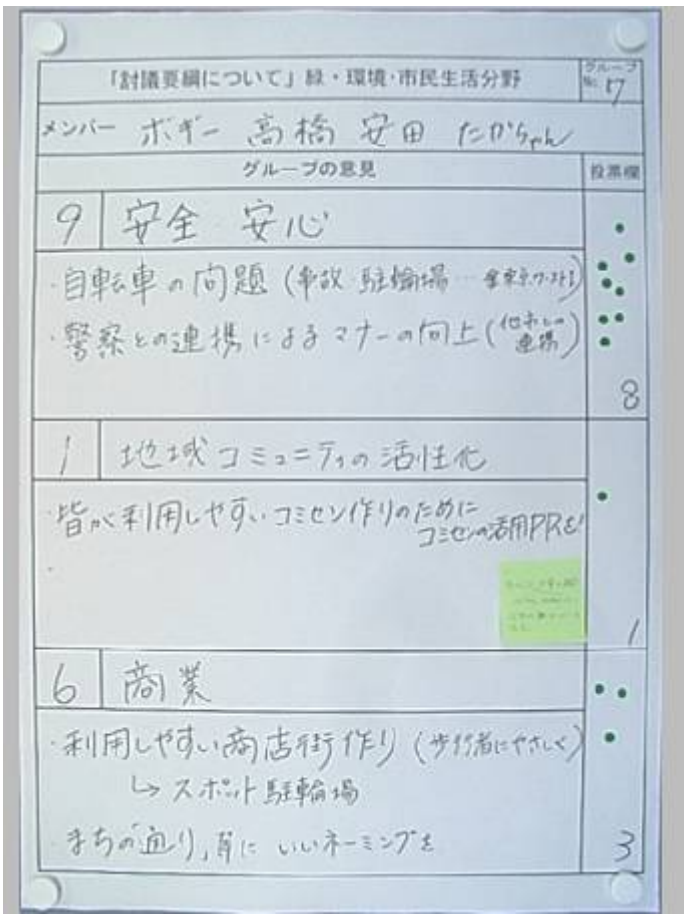
「討議要綱について」緑・環境・市民生活分野　グループ No. 6

メンバー　村澤、もり、竹内和男、せいいち、あおき

グループの意見	投票欄
9　安全・安心を実感できる魅力あるまち 武蔵野市は、高齢者、女性の単身世帯も多く、治安の悪化、不安の声がある。夜間の安全確保のための活動を強化していく必要がある。(女性、地域住民による防犯パトロールなど)	●●● 3
3　緑豊かな都市環境の創出 緑豊かな都市を目指す。個人の住宅での緑を増やす。公園のゴミ拾いなど美化に取り組む	●●●●● 5
1　地域コミュニティの活性化 いずれの課題も地域のコミュニティの力で解決していくことが必要である。コミュニティセンターを中心に地域の人々の交流をはかる。はじめてくる方への説明会、懇談会を開くなど、多くの人に来てもらえるような工夫をする。	●● 2

緑・環境・市民生活　6グループ

・自転車などにつけるステッカーを(子ども・高齢者)
・自転車専用レーンの検討
・高齢者世帯が増え(一人ぐらし)不安の声、パトロールを多く
・女性の一人ぐらしの方も怖い思いをしている
・安全の確のための対策
・住んでいる所の人とコミュニケーションがとれるように
・地域コミュニティの活性化、高齢者一人ぐらしの人が多くの人と話し合える環境と場所作り
・住みにくいよりもあなのに若い方は出入りが激しいのでコミュニティを作るのがむずかしい
・夜間の安全確保のための活動(高齢者・女性の単身世帯)
・市が地域でのパトロールを呼びかける
・緊急デパートの設置を望む
・コミュニティセンターの掲示板を利用
・コミセン利用、ネット予約が出来るよう
・コミセンを1人でも行けるように
・防災訓練、体験学などの一環として地域で行えるよう
・緑道沿の植しかい有!
・地域で防災訓練を実施する(市と地域住民で)
・環境、上水のモデル都市、新しい燃料の推進
・高齢者の交流の場に参加もっと出ていくように!
・個人の家で大きな木がある、市の剪定一相続税対策
・玉川上水、小川の道を、歩きやすくきれいに
・住宅の緑化の増額助成
・リサイクルセンターでのリサイクルを活用して、廃木などを減らす
・生ゴミの肥料化を保進する
・緑豊かな都市環境を維持
・公園の活用
・二世の核分化一緑の少ない住宅という考え方をする義務を規制できないか
・駅や駅周辺中心により一層活性化をすすめるべき
・公園の活用
・公園の中に(ゴミ拾いなどに)地域でとりくむようにする
・下水道のそうじ!以前のように
・公園が近くにあるべく同じ様に作ってほしい
・公共施設「もみじ山公園」ゴミ、すいから、変へかす臭などが道路に出てきてしまいためのお掃除でしょうか
・公園内に「公衆トイレ」の設置を
・城の対策を放棄してほしい
・「環境」とは何か?はっきりしない
・農業体験や市民農園のかぜを引かり、市民の農業への関心を高める
・緑地に作成を作っている時はいいが、植物がない時は殺風景 ∴ 近隣住民は大変迷惑
・仮地でなくても常に植物が見る公園の方がいいのでは
・路線商店街はそこならではの特色ある店にしなくては活性化しない
・武蔵野市は緑豊かで住民にとってプラスはあるか?
・市営住宅・都営住宅を増やす
・市のど部はムーバスが必要
・地域による格差がある ex 自転車の数が多い
・自転車対策、まだが多い
・外国人の方の雇用が必要



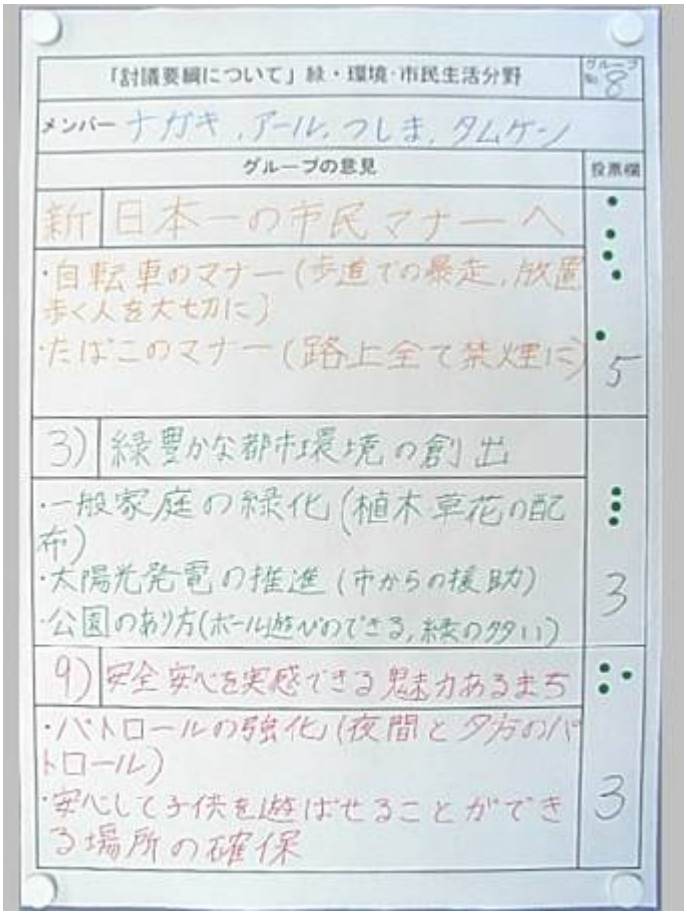
「討議要綱について」緑・環境・市民生活分野　グループ No. 7

メンバー　ボギー　高橋　安田　たがちゃん

グループの意見	投票欄
9　安全　安心	・
・自転車の問題（事故　駐輪場　歩車分離）	・・・
・警察との連携によるマナーの向上（他ホトとの連携）	・・・
	8
1　地域コミュニティの活性化	・
・皆が利用しやすいコミセン作りのためにコミセンの活用PRを	
	1
6　商業	・・
・利用しやすい商店街作り（サイクル者にやさしく）	・
↳スポット駐輪場	
・まちの「通り」，角にいいネーミングを	3

緑・環境・市民生活　７グループ

・５年前の補助では事業に下水口に消毒液を散布していたが今は無いとの事、なぜ？
・下水の回収をカラスがいない時間帯にできないものか？
・コミセンの活用ＰＲ
・コミセン人のつどい
・若と男女利用しやすいコミセン作りを！
・緑の植出にあたって広報等の理解を（事前に）
・メリット、デメリットを市民に説明
・子どもに「ものづくりの「楽」を
・利用しやすい商店街作り歩行者にやさしく自転車・車は規制
・家庭の生ごみを減量する為にバイオマスの購入補助をしてはどうか？→全集レストラン
・商店街をどう活性化するか
・固定化されてメンバーの入れ替え
・まちの「通り」愛にいいネーミングを
・高成・野球場
・ブロック化した商店にスポット駐車場化
・まちの文化遺産を活性化の源に
・文教都市に
・西部図書館の今後については地域住民の声を聞いてほしい
・救急地区の充実について高齢者の安心できる対策を！（小金井公園）
・駐輪自転車の区画割り講習会では×
・自転車問題については同じ市と話合いをもって
・自転車のマナーの向上を
・商業との協議
・夜のパトロール強化
・路上禁煙条例市民に
・講習会をやっているだけでは駄目、強制的に取り締まらないと駄目
・防犯対策費が全国１位
・その方でグループを、動員したい、市報を使って５名のメンバーを作る



「討議要綱について」緑・環境・市民生活分野　グループ No. 8

メンバー　ナガキ，アール，つしま，タムケン

グループの意見	投票欄
新　日本一の市民マナーへ	・
・自転車のマナー（歩道での暴走，放置　歩く人を大切に）	・・・
・たばこのマナー（路上全て禁煙に）	・
	5
3)　緑豊かな都市環境の創出	・・・
・一般家庭の緑化（植木　草花の配布）	
・太陽光発電の推進（市からの援助）	3
・公園のあり方（ボール遊びのできる，緑の多い）	
9)　安全安心を実感できる魅力あるまち	・・
・パトロールの強化（夜間と夕方のパトロール）	
・安心して子供を遊ばせることができる場所の確保	3

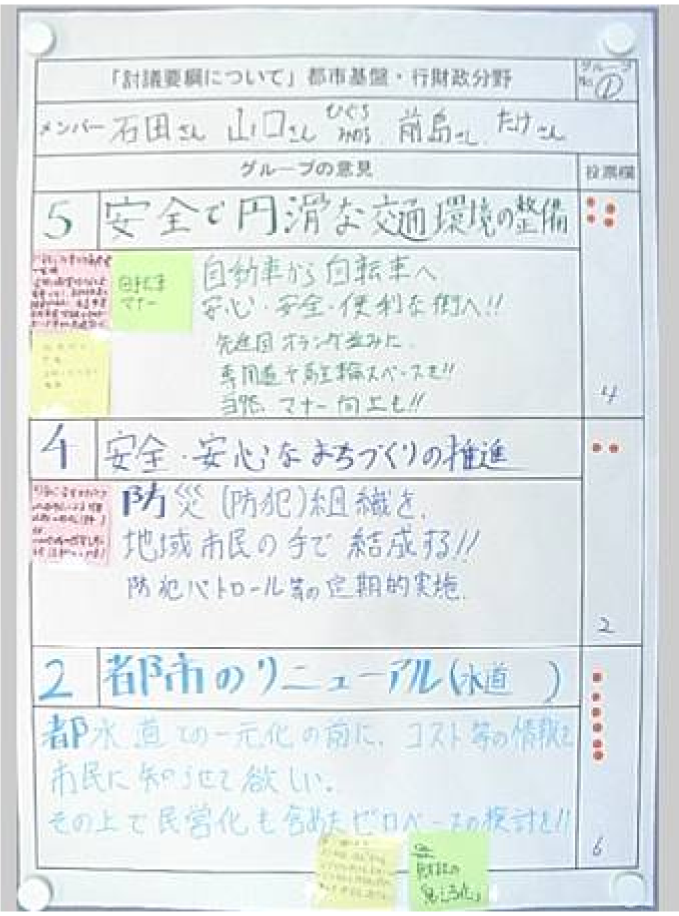
緑・環境・市民生活　８グループ

・市民としてのマナー
・自転車のマナー
・自転車と人の安全を図る
・自転車の放置
・路上全て禁煙にして欲しい
・禁煙ステッカーのような物のが必要だ
・夜のパトロールを強化して欲しい
・安心・安全が治安のみでなく美化治安で日本一を目指すべき
・もう少しパトロールを強化する必要があると思う
・ルフライトイーグルの機能
・ポイ捨て、夕方ティッシュ配り（若い女性への）禁止して貰いたい
・安心して子供を遊ばせることができる公園が必要だ。
・一般家庭への植木配布（緑化の推進）
・木の手入れをする知識をつから出してほしい。
・コミュニティを作り深く繋った青少年へのつながりをどう図れるか
・敬老会館の建築など福祉施設をより推進するべきだ
・孤立化しないように集える場所を作る
・子供にスポーツへの関心を持ちやすくするためにスポーツチームにその機会が必要
・古い店がたんだんなくなってきている。
・心柱の地中化
・太陽光発電の推進（市の援助）
・「医療支援」市内在住外国人の実態を知りたい、その上での話
・ごみ減量一人一日600ｇ以下よりもっと具体的、効果的なやり方は？ｉｏｔすべて有料化
・エコセメントをどのように利用するべきかを考える必要がある。
・ボール遊びのできる公園が必要だ。
・緑の多い公園作り

緑・環境・市民生活　9グループ

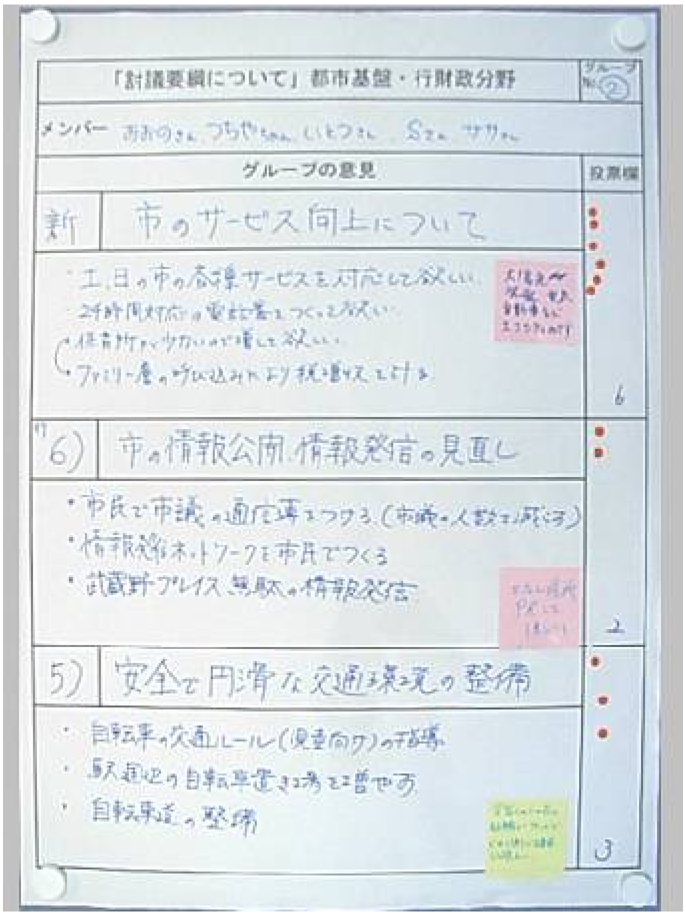
＜ビジネス＞
・市内でのビジネス創出推進（手数にかかわらず）
・市内企業で働く人達のワークライフバランスの改善
＜公園緑化＞
・武蔵野野菜のブランド化、地産地消
・民有地の緑化、ほしい
・個人宅庭での緑化に対しての助成等（もともとある物をなくさず活かす）
・例えば、自由にキャッチボールのできる公園など
・市民農園の貸し出しは？
・スポーツできる場所を増やす
・ペットのマナーが悪い
・公園はかり作って緑化というのではなく（きおわりに公園状況では？）
・大型のある公園遊びをしてほしい
・自然品の消えない町になってしまった!!（三鷹市）
＜エコ・エネルギー＞
・市内で自然分解して電気を蓄積できるようにする。ソーラーパネル購入補助にか
・行政にかかるバイオマスのリユースの利用推進
・ペーパーを減らすために！！の利用!!
・節約の少ない方法!!
・すてられないけない！ごみはどうしたらいいの？
＜街作り＞
・年寄宅にソーラーパネルをプラム化
・チーン店が生活より市個人オーナーへの店舗をしやすくするような政策らかの仕組
・国分寺・魅力的な街作りを（商店街等）において（）がんばって店に対しての何らかの助成を
・カンシカメラの数がかなりよっている
・駅前広場の位置を考えて！
・歩きタバコの全面禁止!!
・町並、建物の維持（再生、文化財として）
・三鷹駅前のパチンコ屋が問題になったが、よの住宅街のタワー前に石炭パチンコ屋の方がよほど問題!!
・それに出来るのは行政がある!!率先リードして欲しい
・駅前、見ちつじょではいりない
・商店での開発物をもっと工夫すべき！（三鷹、国分寺 etc）
・住みたい街＝住んで良かったと思えるために、何をすべきなのか？
・人が集まる街作りに必要なものを考えるべき
・個性のある街作りを（全国同一の街となりつつある）そういうことが人を集める
・吉祥寺駅前の広場を地下等に緑青豊を作りたい、仕事に行く女性が増える
・中高年向けの店は思い
・吉祥寺りかから来るお客の前になってしまって住人の為でない
・アトレ、コピスなど若い人達のみが対象？
・バリアフリー化に必要としている人の目線を・もっと町の入れて！（駅でと気付くエレベーターばかりでなく）
・景観の保護（ベビーカー、車イスにやさしい街づくり）
＜交通＞
・自転車専用、通路を増やしてほしい
・広がる長い自転車専用道路
・（自転車）路線ごとでの管理ではなく全体としての管理
・ふぞうりん駐車をやめる
・自転車禁止ルール
・ムーバスを教師やす、路線をおそく、ルートをやめる
・ムーバスの運賃値段（8～20円）、路線等車
・市内の歩道は狭く出来るだけ市の目に向けんして下さい。水はけの悪が多いよ。
＜コミュニティ＞
・IT、高齢者向け地域の増加（クッキング市アート）
・高齢者、老老介護、孤独死、ひきこもり、トリッキンジョの場合、アイリス、蓋の設置
・ニーズセンだけでなく、個別線を使ってはどうか。
・コミセン利用者をはばく
・人工河川より上の見える外を
・見問いない家のみまわり強化

④「都市基盤・行財政」分野　＜発表用シート＞　＜作業用シート＞



都市基盤・行財政　1グループ

- 都市マス
  景観計画・条例
  当初計画通りに出来ていない
- 安全・安心なまちづくり
  問題点は指摘されているが、実行出来ていない
- 高齢者の介護有効活用、ファミリー世帯への居住支援
  具体性がない
- 6）安心して住み続けられる住宅のつくり
  比較的地価の高い中で一戸建ては無理。集合住宅中心の政策が必要。地球温暖化防止の観点から省エネ住宅要
- 防犯・防災についてみんなに知ってもらう
- 空地、空家が増えているので、有効な対策はないか
- 防犯、防災リスク（空家・空地）
- 一国駅周辺の交通体系
  毎回の話　何日までに実行できるのか
- 4　都市基盤　5）交通
  外環問題、どうするの？何が変わるの？
- 吉祥寺南口　ロータリー計画
- 住まい以外にいることが出来る場所
  理解できない
- コミセン？テンミリオンハウス？
- 自動車から自転車へ。安心、安全、便利な利用を！！
- シルバーの人をもっと活用できないか
- 行財政　3）持続可能な市財政の確立
  公務員人件費削減２割カット
  市議員・市長給与３割カット
  一般会計予算（特にソフト）へ
- 市議を減らす！！
- 市職員の仕事の見直し
  そうじなどは自分で。忙しい部署とヒマな所がある！
- 税負担が大きい！！
- 行財政　6）市の情報公開・情報発信の見直し
  紙ベースの市報や各広報紙に加え、インターネット検索やツイッター等に対応して、利便性を向上する！
- 5行財政　1）市民自治
  住民投票（拘束付き）の早期実現（現実の市民不在を変える）
- 行財政　5）セキュリティ対策及びリスクマネジメント徹底
  1年間に2度も個人情報を紛失する市役所にNo！！
- 5行財政　2）公共施設
  市の補助金団体の指定管理者ではなく、民間のコストとサービスを追及する。PPP（官民協働）を推進する。
- 土・日の行政窓口を開けて欲しい！働いている人への配慮が少なすぎ
- 保育所の充実を！
- 地域的不足
  吉祥寺駅南　整備
  道路整備
  水道一元化、民営化
  環●●●、洗浄
  空き家　活用
- 「安全で円滑な交通環境の整備」道路は基盤的な社会基盤である。自転車交通を推進するために車道、歩道、自転車道の分離を進めたい、オランダ並みの先進国に
- 駐輪場の整備、道路の走行帯の整備
- 自転車マナー
- 「安全・安心なまちづくり」は地域市民による防災組織の結成（全市）ex一小地域の防災を考える会（吉祥寺本町2,3,4丁目）
- 都市基盤　水道一元化「反対！」「ムダを十分検討を」民営ではなく一定の条件で効率性と安全性を確保す　民営化を検討すべき
- 財政の「見える化」



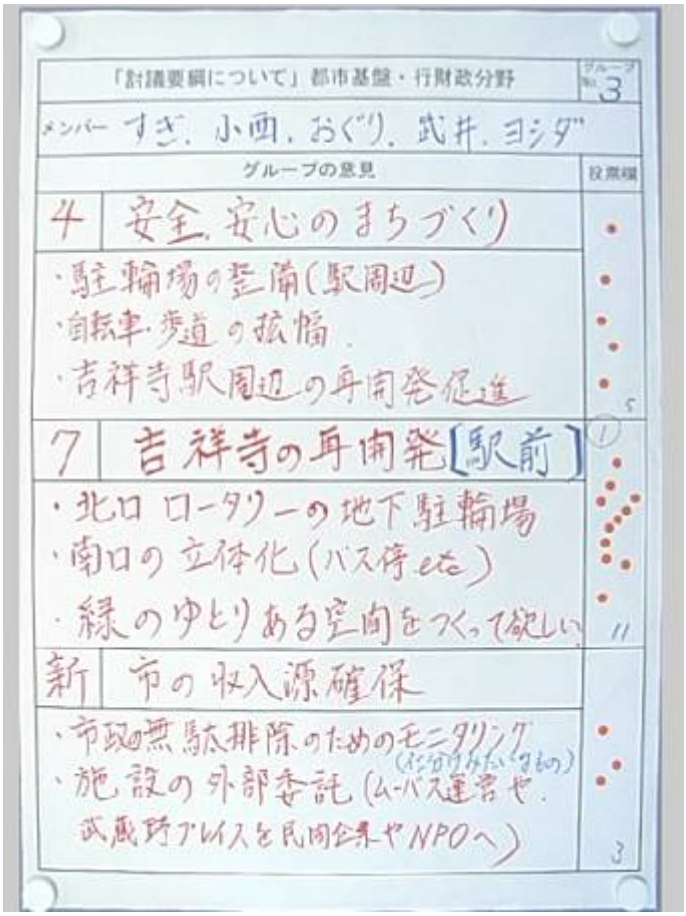
都市基盤・行財政　2グループ

＜②行政PR＞
- 市民で市議の「つうしんぼ」をつける運動を！
- 7）三駅周辺まちづくりの推進
  市が保有する未利用地について、どの様に活用したいか市民からの提案を広くプランの公募をするようにしてほしい。
- 市民が市や行政に関心がない　PRを推進
- 市の情報等が市報以外にも分りやすく発信して欲しい。
- 情報発信ネットワークを市民で作る
- 組織向上、セキュリティ、情報発信…あたりまえのことなので課題としてあげるのも如何
- 行政に関心がいかない
- 水道水を武蔵野の地下水100％にしてはもらえないだろうか？
- 他の市区町村の住民からの意見も取入れては。
- 吉祥寺駅周辺にランドマークを作るべき。
- 市職の人数を減らす。
- 収入増のための直接的な対策はないのか。
- 武蔵野プレイス売るべき。維持費払えない
- 武蔵野プレイス　収入増やす活動する
- 安全、安心は優先すべき課題だと思う。

＜①自転車・交通＞
- 駅周辺の自転車置場をもっと増やす
- 自転車交通ルールの学校での教育・指導
- 自転車と歩行者がすれ違えない歩道が多い。
- 吉祥寺駅南口のバス通りなど危険な交通環境の整備
- 5）安全で円滑な交通環境の整備
  自転車道の整備をしてほしい

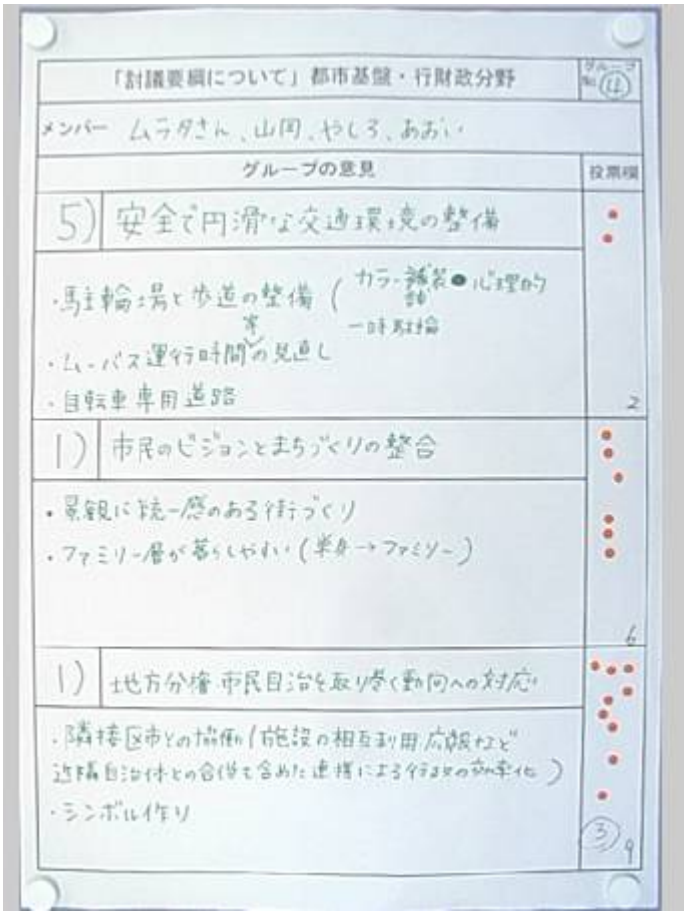
＜③市のサービス＞
- 市のむだ使いをもっとなくし、行・財政改革推進
- 図書館　土日祝などもっと長く開館してほしい。
- 土日サービスを市役所もするべき。
- 行政サービス・設備は民営化できないのか
- 行政サービスの中でも、サービス時間の延長など市民に合わせサービスを行って欲しい。
- 保育所が少ない
- 住みたい町No１なので若い世代の夫婦が住めるよう、保育園を増加して、税収をあげ、若年人口を増やしたが良い。
- 単身世帯が増えているのでファミリー層も住みやすい住環境を作って欲しい。
- ファミリー層が住みやすい街にしてほしい。

＜その他＞
- 太陽光発電、電気自動車などエコシティめざす
- ひなん場所PRしてほしい
- 学習じゅくの前の駐輪が多いのでじゅく前で確保して欲しい



都市基盤・行財政　3グループ

- 駅前再開発にあたっては、緑の多い、待合は雨防やくつろげる空間がほしい
- 吉祥寺北口の魅力とは何ぞや？今や「ハリシノ」の感じはOとなっている！
- 三鷹・武蔵境の駅周辺の活性化推進
- 自転車の駐輪場が少なく、レンタサイクルを導入して欲しい
- 地域の特性は、具体的に市民が市民と市民が共有してゆけるよう、明確にして欲しい。
- 下水道の終末処理施設をどこにつくるか、市民の意見を求めていただいて欲しい！！
- チャレンジする都市魅力は、「ハリシノ市」にはもったいない、今や失ってしまったのか、就職！！
- 公共施設とは？
  市の●●の実態的位置付は？
  具体的に市民に説明する必要がある
- 自転車の専用レーンがあると良い。
- 歩道の拡幅整備を推進して欲しい。
- 歩道部の区分を明確にして平坦を図る（自転車道と歩行者道の区別）
- バリアフリーのまちづくり、ぜひ、特に歩道整備に力を注いで欲しいコンセプト
- 吉祥寺、三鷹、武蔵境の交通インフラ整備
- 人と人とのつながりをつくるために子供、高齢者がお互に楽しめる場所やイベントをする。
- 二子塔の利用を安くして欲しい。（住宅が高い）
- 緑公園、緑地を増やすとあるが十分な気がする。（運動できる場所作りへ）
- （他の地域から）住みたくなる街とはどんな街づくりをすべきか　住宅、居住別、地域公共元素
- 歩いて住み続けられる住まいづくり　高齢者が安心して2世代あずけられる施設があればと思い様子。
- ノーマスポーツチームの誘致（ラリークチームのホームにする）
- 地域に対しての安全マップの作成
- グランドや公共施設の管理運営を民間企業に委託すべきである。
- 2公共施設の小学化へ　大きな建物は控やすい小さい地域密度を
- 自転車、人、車、の安全な住居ができる道をつくる
- ムーバスはひどい赤字、何とかすべき！
- 武蔵野プレイス利用減少要！？赤字になる可能性大である。
- 吉祥寺南口の再開発
- 緑と住宅の増加を推進　緑の確保を
- 駐輪場がある？民間委託
- 水道の一元化　民営化できるものは委託
- ロータリーの地下駐輪場（北口）
- 収入確保　民営化
- 収入確保
  民間・NPOへの委託（ネットワーク・コーディネーター）
  ムーバス
  施設の外部委託
- 無駄の排除、モニタリング
- 自転車、車、人
  安全・安心
  駐輪場
  歩道
  吉祥寺
  ムーバス
- 吉祥寺
  ロータリー
  南口推進
  公園



都市基盤・行財政　4グループ

<都市基盤　1）>
- 住みたい街No.1に多きわしい環境づくり。
- 統一性のとれた景観の確保、整備
- ファミリー層が住める街作り
- 建ぺい率の緩和　一戸建は建蔽率　60%商業地の検討あり

<都市基盤　4）>
- 浸水対策
- 災害時に雨用水の活動
- 大地震等災害対策　高齢化対策

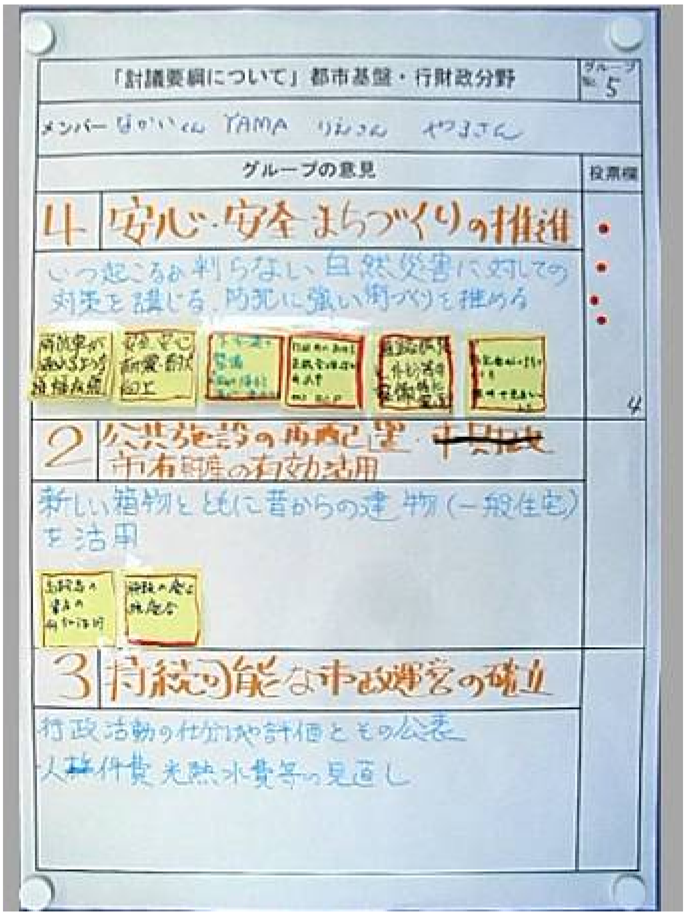
<都市基盤　5）>
- 至ところに駐輪場に自転車を上められない
- 歩行者と自転車が安全に走行できる道路整備
- 歩道の整備　吉祥寺駅周辺
- 自転車の利用について　放置自転車対策など
- 歩道の整備
- 狭い道路で歩行のライン…
- 自転車専用道路
- 一時駐車場の充実
- 生活道路への侵入対策　逆に居住者の通行に不便！
- バリアフリー対策
- ムーバス運行時間の延長

<行・財政　1）>
- 隣接区市との協働、施設相互利用、広報（周辺地域の将来）
- 特色のある産業育成都市、市人の誘致、財政安定化をはる
- 近隣自治体との合併も含めた連携による行政の効率化。

<行・財政　2）>
- 学校施設の一般開放。ジム、プール等の利用

<行・財政　6）>
- 分り易い公園の導入。
- 10ヶ年計画　マスタープラン
- 町づくりを広くPR広告すべき
- 市民投票知らせる

<その他>
- 自転車　一時駐車場充実　PRや啓蒙への指導
- 民営化　より良いサービス
- 土・日曜日　市民のニーズに合わせたサービス
- 分別ゴミ袋　水道代
- ファミリー層　増やせる対策
- 工業地帯　誘致に努力
- 市議員議員　減らす



都市基盤・行財政　５グループ

<４－４）防犯>
- パトロールの強化（有償ボランティア）

<４－４）防災>
- 自然災害に対しての考え方
- 吸水式の道路を増加させる（高速の様に）
- 住居の耐震耐火に対する補助強化

<４－５）交通>
- 自転車道の整備
- 駐輪場の拡張、整備
- 放置自転車対策（中野区のとりくみ）
- 即撤去は有効　但し代替手段の整備も要
- 駅前の地下を活用した駐輪場整備（以前からあった）
- 通勤通学者以外の自転車利用に未対応
- 自転車道の整備
  →生活道路
  →幹線のわきに視覚的にする
- 色でスピードを抑制する　視覚的に凸凹を見せる
- 車椅子でも生活し易い道路（市民の高齢化に併せて）
- 財産・有効活用　北町には広大な敷地に単身で居住している
- 交差点脇のポールにジャマ・物理的ではなく。

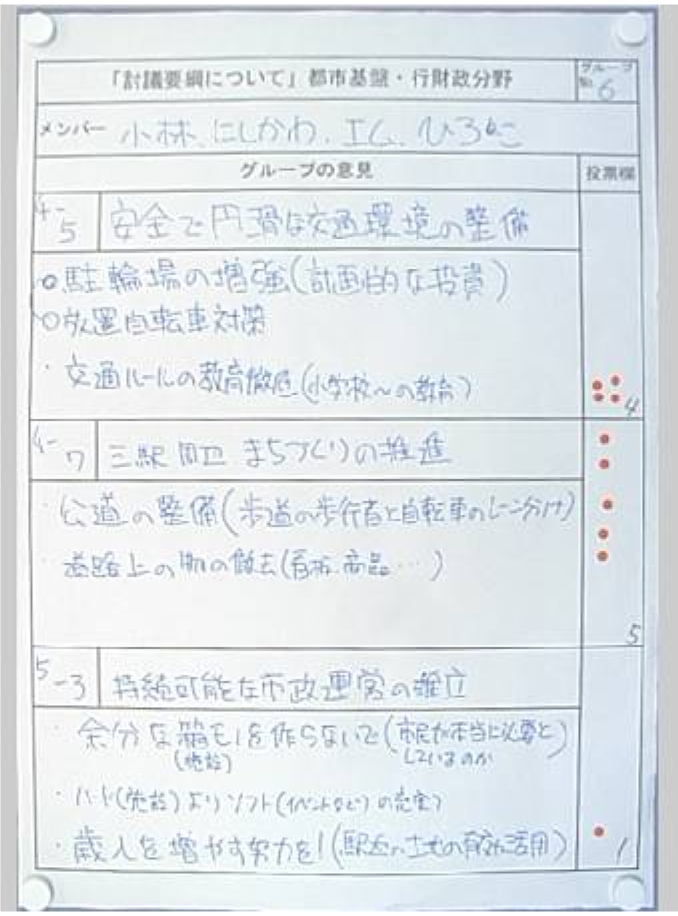
<その他>
- 昔からの商店街を残す為の補助金等
- 市民活動への補助金の増加
- 公共と民間との役割分担や団体・民間の役割分担も必要
- 新しい建物と共に昔からの建物（一般住宅）を活用する
- 市民が具体的にまちづくりを進める組織とそれへの支援
- こどもの遊べる場所が欲しい
- ４）５）交通環境にハードだけではなくソフトも　バスにつかいにくい・くらしの便利帳
- 地方分権を進めてもらいたい
- 適切な行政サービス
- 吉祥寺地域の整備

<５－２）公共施設・市有財産>
- 資産、有効活用　北町には広大な敷地に単身を居住
- 人口減少による公共施設の空きスペースの活用
- 子育てのし易い
  公園の面積を増やす
- 子育て施設等に
- 施設活用　ex.市民用プールをつくり各学校が利用する
- 近隣市区と連携してのサービス提供（施設利用）
- 市民が受益者であるべきではないか
  ex.駐輪、自転車

<５－３）市政運営>
- 行財政の仕分け
  ランニングコストの見直し
- 行政活動の評価と公表

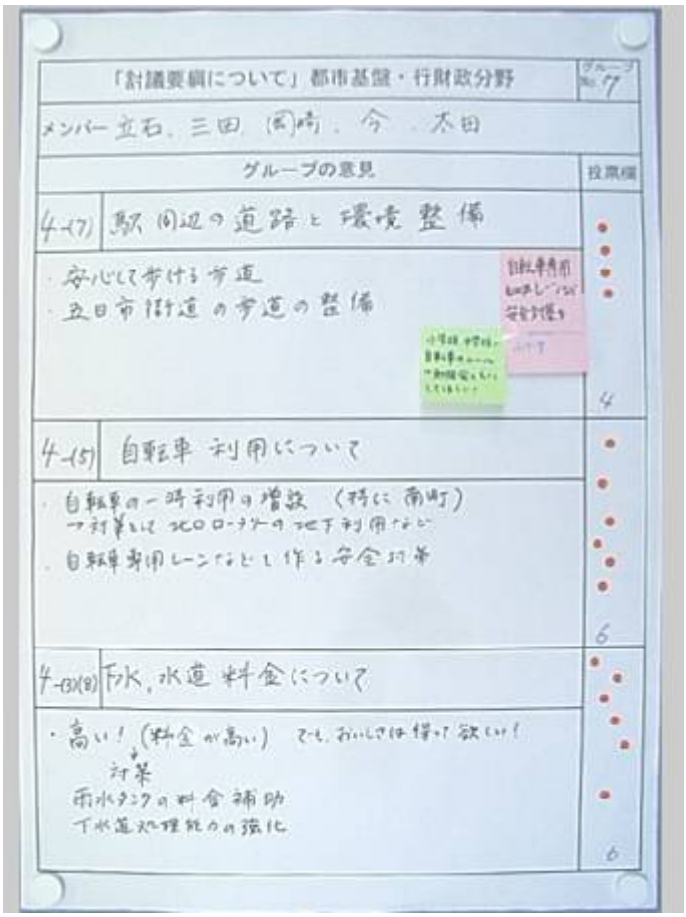
<５－６）情報発信>
- 市報をわかりやすく
  ・作り方
  ・配布のタイミング

<その他>
- 水道の民営化ができないか　※外国にはありそう
- 行政活動の仕分けや評価とその公表
- 人件費、光熱水費等のランニングコストの見直し
- 業務継続計画
- いつおこるかわからない自然災害に対しての対策を講じる
- 地域の防犯につよいまちづくりをすすめる
- （図）交差点の四隅を示した絵
- （図）道路を蛇行させ車速を落とさせる
- 消防車が通れるような道路拡張
- 安全・安心・耐震・耐火向上
- 下水道の整備、大雨が降ると道が浸水する
- 行政内における危機管理体制が必要 ex. BCP
- 道路拡張と外とう等の整備（特に東西方）
- 防犯面からのまちづくりも証明や見通しのよさ
- 高齢者の資産の有効活用
- 施設の廃止、統廃合



都市基盤・行財政　６グループ

- 駐輪場が赤字覚悟になるが、やはりあった方がいいのではないか。
- 自転車置き場　市営等のシェアリング等工夫を！
- ４－５）放置自転車対策の推進
  駅周辺の放置自転車が多すぎる。すみやかに撤去するようルールを定めて欲しい。あわせて、駐輪場の増強も進めて欲しい。
- 交通手段としての自転車は日常生活上、大半の方々が欠かせない乗り物であると思う為、駐輪場を増設してほしいです。
- 歩行者と自転車の道路が一体となっているところが多いけど、線引きするなどして事故を防ぐ工夫があると良いと思います。
- ４－５　自転車のルール、法律の指導
  小学校から交通ルールを徹底的にしつこいくらい指導すべき
- 自転車専用レーン
- 吉祥寺は駐輪場増えている。放置自転車対策、歩道自転車置場代替
- 交通ルールの徹底をしてほしい
- 放置自転車対策の徹底化！（回収の厳しい実施）
- 三鷹の駐輪場（市営）が完全廃止になっている。不便、民間は高い
- 自転車利用者のマナー向上　小学校で教育
- 一般市民は武蔵野プレイスより駐輪場（駅前）を望んでいるのでは。
- 三鷹駅北口近辺が吉祥寺駅周辺に比べると買い物があまり魅力がない。
- 若いファミリー世帯を増やしたいなら居住支援や土地の制度を見直せないのか。
- 駅周辺防災を考えた都市つくり（バランス）
- 三駅の差を考えたまちづくり（補完的あるいは相乗的効果も）
- ４－７　駅周辺のクリーン化活動
  店舗のかんばんなど、歩道に設置されているところが多く、見苦しく、危険。適正な指導を望む。
- 公道上に看板が出ていることを取り締まる活動を行政としてやって下さい
- 特に三鷹駅北口前の環境整備をしてほしい。
- 道路のクリーン化を徹底してほしい。
- 地震などの災害時の緊急避難場所のお知らせを定期的にお願いしたいです。
- 歩道整備の推進。ミラー、信号等の設置位置の再確認
- 災害時の避難場所のわかり易い表示の仕方をしてほしい
- ライフラインの充実（災害時）
- ５－６　情報公開
  他の市区に比べて情報公開が進んでいるとは思えない。情報公開を速やかに行って欲しい。
  施設維持費の内訳
  保育園入所基準のHomePageによる公開…
- ５－３　支出削減を目指す
  箱ものは本当に必要か、民間ではダメなのか検討してからにすべき。民間でカバーできないもののみ、行政としてサポートすべき。年間５億の維持費がかかる武蔵野プレイスは本当に必要だったのか？
- 市民が市議の通信簿をつけたらどうか。市民が市の行政に関心が無いので、PRを推進してはどうか。
- 行政として税収以外の収入を考え、雇用／高齢者活用も踏まえた工夫をするべきでは？
- 建設だけでなく維持にも高い費用のかかるハコモノは市民の総意によって決定して欲しい
- 物言わぬ大多数、本当の市民の気持ちを行政に届かせる工夫をして欲しい。
- 例えば武蔵野プレイスで収入を得るような有効活用をしてほしい。



「討議要綱について」都市基盤・行財政分野　グループ No. 7

メンバー　立石、三田、岡崎、今、太田

グループの意見	投票欄
4-(7) 駅周辺の道路と環境整備	4
・安心して歩ける歩道 ・立日市街道の歩道の整備	
4-(5) 自転車利用について	6
・自転車の一時利用の増設（特に南町） →対策として100ローターの地下利用など ・自転車専用レーンなどを作る安全対策	
4-(3)(8) 下水、水道料金について	6
・高い！（料金が高い）でも、おいしさは保って欲しい！ →対策 雨水タンクの料金補助 下水道処理能力の強化	

都市基盤・行財政　7グループ

<4－7）三駅まちづくり>
- 道路をふきやすく　安全な町づくりのくふう
- 駅周辺の観光客も子ども安全で楽しかったりしてほしい
- 計画道路の推進及び、公報
  外環国道
  道路　国の見直し
- 吉祥寺北口通りが狭くなったが、スピードを出す車は減らない！
- 吉祥寺駅周辺の土地の活用について
- ムーバス　運営持続（警察補助の利用）
- 渋滞・交通対策
- 北口ロータリーの地下　自転車置き場
- 広域ネットワークの道路
- 町並みの整　化（美しさ）
- 道路と各体との補助範囲利用
- ランニングコスト見直し
- 立日市歩道の歩道の整備
- 三鷹、吉祥寺、駅周辺の道路が狭い道
- 南口の施設が少ない
- 南ロータリー　バス

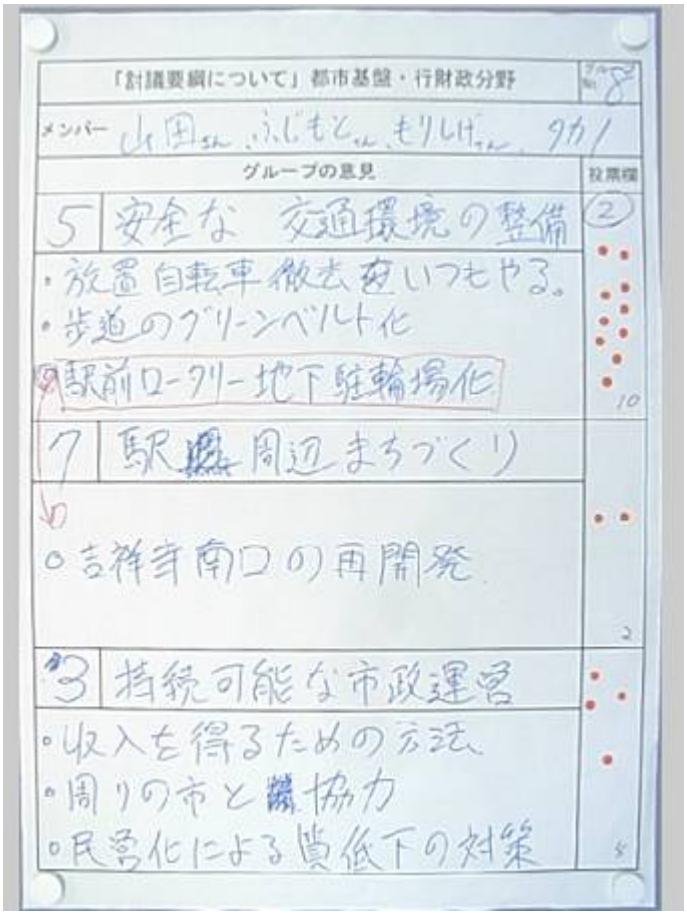
<4－5）交通環境>
- 町並みの整備
  へいが低くない
  駐輪場
  三角道路
- 南口周辺の駐輪場の問題
- 駅周辺に無料の駐車場をつくる
- 自転車の有効利用について
- 駐輪場の問題に当たらず、駐輪場が大変
- 自動車→自転車へ見直しを！
- 安心して歩ける歩道
- 立日市街道の歩道の整備
- 自転車の一時利用（特に市役所、図書館、ロータリーの地下利用）
- 自転車専用レーンをつくるなど安全対策
- 小学校・中学校で自転車のルールの勉強会をもっとしてほしい！
- 自転車専用レーン及び安全対策
- 自転車　利用ふやす

<環境公園>
- 市民側に見やすい緑豊を！！
- 高齢者用の駅整備　手が大きい
- デジタル化　デジタルディバイド問題
- アトレやビルなどリニューアルした。アパートができたので、人口増えこどもがバイ橋でが増えた。こども園の設置

<5－2）公共施設>
- 公園問題　緑がが少ない（南町）
- 市民に関しての関心の集合　近所との関係
- 二・日にも市に自転車で来る駐口を作ってほしい
- 騒音、騒音問題についての市の対策

<4－3）、8）下水道>
- 下水道の料金が高い
- 雨水タンクの補助
- 下水道処理能力強化
- 下水道処理能力の強化
- 下水道の料金が高い→雨水タンクの補助　下水道処理能力の強化

<その他>
- 町並みの整
  ムーバスの運賃補助
- 防犯、防災　消防自動車が入れる道



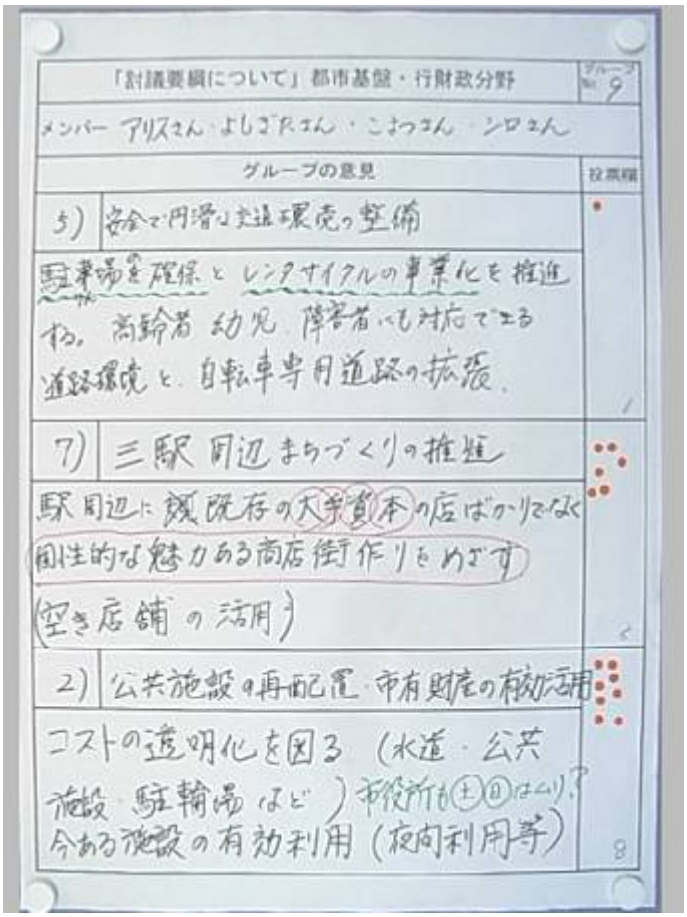
「討議要綱について」都市基盤・行財政分野　グループ No. 8

メンバー　山田さん、ふじもとさん、もりしげさん、9名

グループの意見	投票欄
5 安全な交通環境の整備	2
・放置自転車撤去をいつもやる。 ・歩道のグリーンベルト化 ・駅前ロータリー地下駐輪場化	10
7 駅周辺まちづくり	2
○吉祥寺南口の再開発	
3 持続可能な市政運営	8
○収入を得るための方法 ○周りの市と協力 ○民営化による質低下の対策	

都市基盤・行財政　8グループ

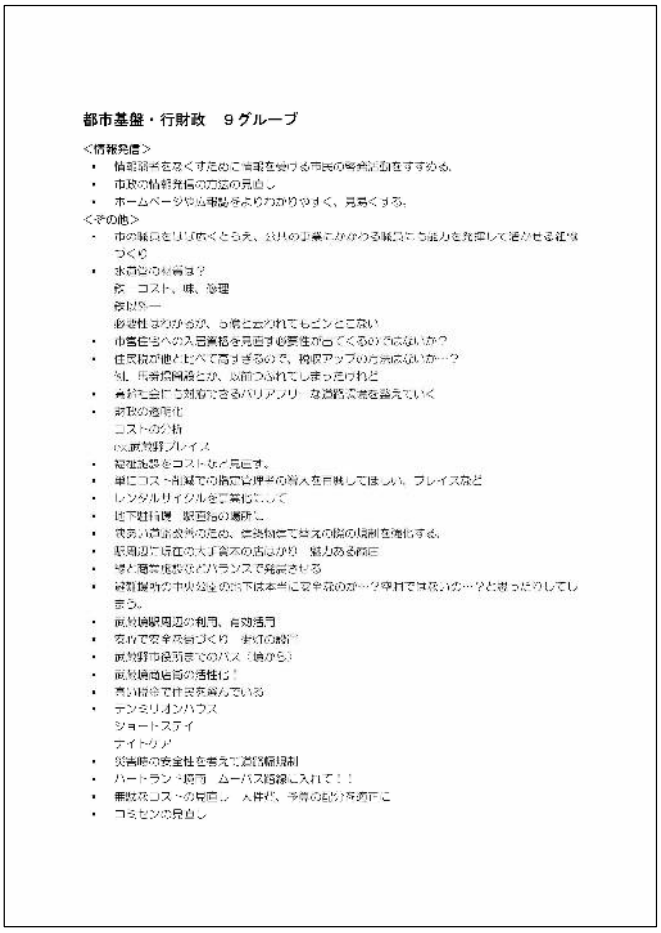
- 6）市の情報公開・情報発信の見直し
  ―もっと見易く、分り易く発信して欲しい。
- 6）安心して住み続けられる住まいづくり
  武蔵野市の特性として高齢者の単身世帯が多い。―これを考慮する必要があるのでは？
- 6）武蔵野市の高齢者の多さを考えると、市に多くの"公園住宅"があって、安心して住み続けられない声が多く上がっている。UR機構の力創に加えて、武蔵野市独自の支援策を考えて欲しい。
- 道路区分け　車、自転車、人
- 一人暮らしの方の家の活用？
- 駅近くに、放置自転車の多いように
- 災害時ライフライン　水道、下水、電気
- 駅周辺に放置自転車が多数あるので、災害時危険なので駐輪場を増やして欲しい
- 同じロータリー化　地下駐輪場化
- レンタサイクル　放置自転車利用減らすため
- 吉祥寺南口を歩きやすく、安全に楽しいイメージで、整備して欲しい
- 歩道タイル多すぎ。お金をかける。
- 市がやること及びかは、民間がやること及びかよくわからない（吉祥寺の交通機能の強化を含む）
- 市は収入を得るための方法を考えてほしい（ex施設の一部を民間に貸すとか
- 税収が厳しいという事なので、近隣の市と一緒に行来る、使える機能は共有してほしい。
- 安全化
- （図）グリーンベルト　主の緑道対策（市道のポイント）
- 消防車の通りやすい道路
- 災害時の車を考え"駅"にいる、城見緑の道上



「討議要綱について」都市基盤・行財政分野　グループ No. 9

メンバー　アリスさん・よしざわさん・こまつさん・シロさん

グループの意見	投票欄
5) 安全で円滑な交通環境の整備	1
駐車場を確保と レンタサイクルの事業化を推進する。高齢者 幼児 障害者にも対応できる道路環境と、自転車専用道路の拡張。	
7) 三駅周辺まちづくりの推進	8
駅周辺に既存の大手資本の店ばかりでなく個性的な魅力ある商店街作りをめざす（空き店舗の活用）	2
2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	8
コストの透明化を図る（水道・公共施設・駐輪場など）市役所も土日はムリ？ 今ある施設の有効利用（夜間利用等）	8



都市基盤・行財政　９グループ

＜情報発信＞

- 情報弱者をなくすために情報を受ける市民の等発信を進めるる。
- 市政の情報発信の方法の見直し
- ホームページや広報紙をよりわかりやすく、見易くする。

＜その他＞

- 市の職員をリストアップ　とりえ、公共の仕事にかかわる職員に力能力を発揮して活かせる組織づくり
- 水道料の値上げ？
  例　コスト、味、衛理
  例はS一
  必要性はわかるが、5年と言われてもピンとこない
- 市営住宅への入居資格を見直す必要性がでてくるのではないか？
- 住民税が他と比べて高すぎるので、税収アップの方策はないか…？
  例　兵庫県阿波とか、以前つぶれてしまったけれど
- 高齢社会に対応できるバリアフリー　街道路整備を進めていく
- 税収の適正化
  コストの分析
  ex.高槻ブレイス
- 施設施設をコストなど見直す。
- 単にコスト削減での指定管理者の導入を目指してほしい。ブレイスなど
- レンタルサイクルを事業化して
- 地下駐車場　駅西側の調査し
- 現在の商店街所の活性、空き物件で替えの時の規制を強化する。
- 駅周辺に近隣の大手資本の店ばかり　魅力ある都市
- 特と商業施設などのバランスで発展させる
- 被害軽減の中央公園の地下は本当に安全なの…？駅前では使いの…？と思ったのしてしまう。
- 高槻駅周辺の利用、有効活用
- 安全で安全な街づくり　市民の誇り
- 高槻野市役所までのバス（鳥から）
- 高槻商店街の活性化！
- 青い鳥公で住民参画している
- テンモリオンバス
  ショートステイ
  デイトケア
- 災害時の安全性を考えて道路規制
- ハートラン＋民間　ムーバス路線に入れて！！
- 無駄なコストの見直し　入札や、予算の配分等適正に
- コミセンの見直し

ワークショップ実施状況報告

１　事業概要

（１）　日　時　　平成 23 年３月５日（土）13：00～16：30
　　平成 23 年３月６日（日）13：00～16：30

（２）　会　場　　武蔵野市役所　811 会議室

（３）　対象者　　・平成 23 年１月１日現在、武蔵野市の住民基本台帳に登録のある年齢 18 歳以上の市民から無作為に選出した市民 1,000 名
　　・ワークショップⅠ参加者 81 名

（４）　参加承諾総数　128 名（新規抽出者 88 名、ワークショップⅠ参加者 40 名）

（５）　参加者数等

		総数		新規参加者	前回参加者
延べ人数	３月５日(土)	87 名 (参加予定者数 106 名)		62 名	25 名
	３月６日(日)	79 名 (参加予定者数 105 名)		52 名	27 名
	合計	166 名		114 名	52 名
実人数			二日とも参加した人数	3/5 のみ参加	3/6 のみ参加
	新規参加者	68 名	46 名	16 名	6 名
	前回参加者	30 名	22 名	3 名	5 名
	合計	98 名	68 名	19 名	11 名

（６）　テーマ　　「討議要綱について」

（７）　実施分野　　３月５日：「健康・福祉」「子ども・教育」分野
　　３月６日：「緑・環境・市民生活」「都市基盤・行財政」分野
　　＊ 今回のワークショップでは、討議要綱の分野別課題に基づき、「健康・福祉」「子ども・教育」「緑・環境・市民生活」「都市基盤・行財政」の４分野に分けて実施した。

（８）　討議の方法　　4～5 人のグループに分かれて自由討議。
　　途中 1 度メンバーチェンジを行った後、元のグループに戻り、グループごとに意見を 3 つまとめて発表。
　　最後に全員で投票をし、順位付けを実施。

（９）　謝　礼　　一日につき 4,000 円

(10)　アンケート回収数　　参加者アンケート　　84 件
　　参加不承諾者アンケート　273 件

(11)　託児数　　３月５日 10 人、３月６日８人

(12)　見学者数　３月５日３人、３月６日５人

２　事務日程

＊　１月　１日（土）　無作為抽出基準日
無作為抽出により参加案内発送対象者リストを住民基本台帳から打ち出し
市報１月１日号に関連記事掲載（「第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップⅡにご参加ください」）

＊　１月 14 日（金）　参加案内発送（封書 1081 通）
・新規に抽出した方 1000 名
・ワークショップⅠ参加者 81 名

＊　１月 15 日（土）　市報１月 15 日号に関連記事掲載（「無作為抽出市民ワークショップⅡにご参加ください」）

＊　１月 31 日（月）　未返信者へ再度通知（ハガキ 807 通）

＊　２月　７日（月）　参加承諾返信期限

＊　２月 10 日（木）　参加承諾者へ参加依頼通知

＊　２月 28 日（月）　参加不承諾者アンケート提出期限

＊　３月　５日（土）　ワークショップ１日目：討議要綱について「健康・福祉」「子ども・教育」分野

＊　３月　６日（日）　ワークショップ２日目：討議要綱について「緑・環境・市民生活」「都市基盤・行財政」分野

３　当日の進行

時　　間		概　要　等	
12:30～13:00	30 分	受付	くじ引きにより、分野とテーブルを決定
13:00～13:05	5 分		主催者挨拶（３月５日：市長）
13:05～13:15	10 分	説明	①　基本構想・長期計画の説明 ②　ワークショップの位置づけ・進め方 ③　スタッフ紹介 ④　名札作成「今日呼ばれたい名前」（ニックネームでも本名でも可）
13:15～13:30	15 分	情報提供	討議要綱について
13:30～13:40	10 分	準備	意見出し（一人最低３つずつ付せんに記入。討議要綱の分野別課題について、感じたこと・考えたこと、など。）
13:40～14:10	30 分	第 1 ラウンド	①　自己紹介（名札に書いた名前の理由を説明） ②　討議（付せん説明、自由討議） ③　意見を付せんに記入。
14:10～14:15	5 分	メンバーチェンジ	テーブルホスト一人を残して、他メンバー全員入れ替え。空いてる席に自由に移動。
14:15～14:45	30 分	第 2 ラウンド	①　テーブルホストから順に自己紹介 ②　第１ラウンドでの内容紹介 ③　自由討議 ④　意見を付せんに記入
14:45～15:00	15 分	休憩・メンバーチェンジ	最初のテーブルに戻る。
15:00～15:30	30 分	第 3 ラウンド	①　第 2 ラウンドでの話し合い内容紹介 ②　まとめ作成（各グループ３つまで）
15:30～15:35	5 分	移動	分野ごとに集合
15:35～16:05	30 分	発表	分野に分かれて意見発表（1 グループ 3 分）
16:05～16:15	10 分	投票・休憩	シールを一人３枚ずつ貼って投票
16:15～16:30	15 分		投票結果（ベスト３）の共有

４　使用したシート等

＜話し合いのルール（Ａ２判）＞

＊　話し合いのルールは、前回と同じ７か条を掲げた。

＊　このルールは、当日配布したプログラムに掲載したほか、Ａ２判のペーパーで作成し、会場内のホワイトボード６ヵ所に掲示した。また内容は、司会からの説明の際にも、読み上げることで、参加者と共有した。

話し合いのルール

1	始めのうちは、ひたすらアイデアを出しましょう。
2	恥ずかしがらずにどんどん意見を出しましょう。こんなことを言ったら笑われるのではないかなどと、考える必要はありません。
3	相手の出したアイデアは否定しないで、お互いに褒め合いましょう。
4	参加した皆さん全員が発言できるようにお互いに配慮しましょう。
5	人の意見を聞いて、自分の意見が変わっても構いません。
6	会議の目的は結論を出すことです。何かを決めて終えるようにして、後戻りはしないようにしましょう。
7	話は短く簡潔にしましょう。

＜発表用シート（Ａ１判）＞

＊　グループで出せる意見は、３つまでとした。

＊　今回は、基本的に討議要綱から項目を選んで記入するため、その選んだ項目と選んだ理由を書く欄を設けた。また討議要綱に書かれていない分野については新しい項目として記入していただいた。

「討議要綱について」健康・福祉分野		グループNo.
メンバー		
グループの意見		投票欄

５　ワークショップの状況

分野・テーブル決め

各分野で人数が均等になるように、また 1 グループ４～５名になるようにするため、受付でくじを引いていただき、分野とテーブルを決定した。討議する分野が当日くじで決まるため、くじで決まった分野ではなく、自分の関心が高いもう一つの分野へ参加したいとの意見も聞かれたが、抽選の結果どおりにテーブルにつくようお願いした。

席の数・くじの数は、事前の連絡無しで、当日、何らかの理由により欠席する方もいるため、参加承諾者数よりも少なめにした。

主催者挨拶

＜市長挨拶＞

はじめに、主催者として市長から挨拶を行った。基本構想・長期計画は市で最も重要な計画であり、今日のテーマは計画策定にあたり議論すべき課題等をまとめた討議要綱であること、このワークショップはその計画策定過程の市民参加の一環であること、無作為抽出市民によるワークショップは 11 月に続いて 2 回目で、その 1 回目の参加者にも参加をしていただく拡大型であること、などが述べられた。

グループ討議

1 日目は 2 分野で 20 グループ（各分野 10 グループずつ）、2 日目は 18 グループ（各分野 9 グループずつ）に分かれて討議を行った。分野が抽選で決まり「討議要綱」を読んだことのない参加者もいるため、準備の時間として討議要綱を読む時間を設けた。進行役、テーブルホストは、前回同様、司会が指名して、話し合いを進めた。

話し合い終了の合図は、参加者に強制力を感じさせないために、時間になったら司会が手を挙げ、それに気づいた参加者から話し合いをやめて手を挙げる方法を取った。

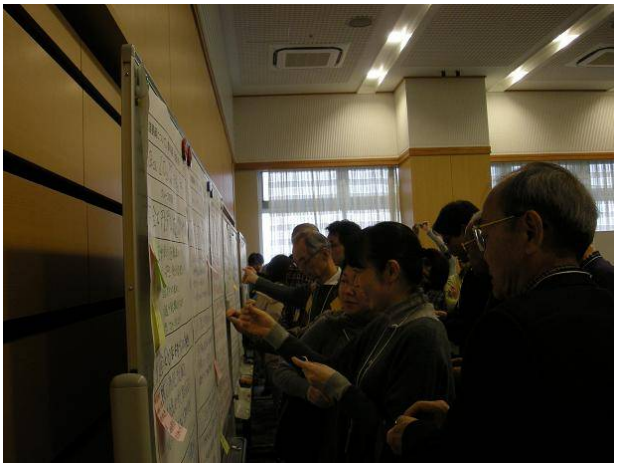
発　　表

各グループでの討議の結果を、それぞれ３つの意見にまとめて発表した。討議要綱に書いていない新規項目でありながら、複数のグループから同じ内容でまとめられるものも見受けられた。

なお、発表者は司会が指名し、発表時間は３分でお願いしたが、それよりも早く終わるグループもある一方で、アンケートでは短すぎるとの意見も見られた。

また、同日に実施された両分野の発表を聞きたいとの意見に応え、ワークショップ終了後、発表に使ったシートを廊下に貼り出した。

投票と総評



投票は、一人３枚ずつのシールを貼ることにより行った。３枚のシールを、それぞれ３つの意見に貼ることも、一つの意見に３枚のシール全てを貼ることもできるようにするなど、投票先は自由とした。

投票は円滑に行われ、その場ですぐに集計し、上位３位になった意見が発表された。

参加者から、討議要綱にない新たな項目を出したが、他のグループでも似た意見が出されているので、同じ項目として集計して欲しいとの意見が出され、またそれに反対する意見も出されるなど、熱心な姿も見受けられた。

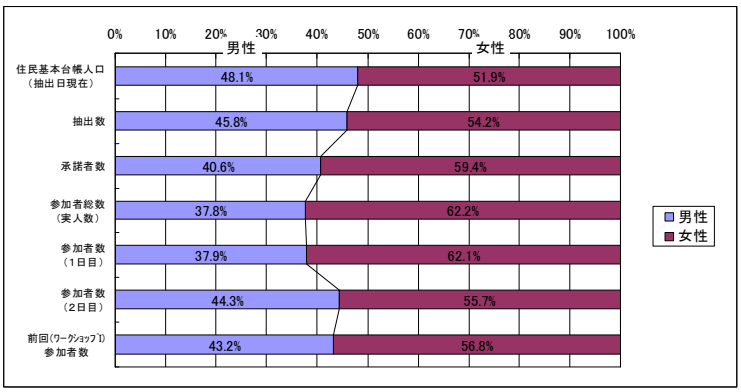
投票後には市の司会者から、それぞれの意見に関する市の状況等について説明を行った。

今回のワークショップも、和やかな雰囲気のなかで行われ、おもしろかった、楽しかったとの感想が数多く見られた。同時に、策定委員会が提示した課題について市民同士が意見を交わすという討議要綱の大きな目的が達成された。

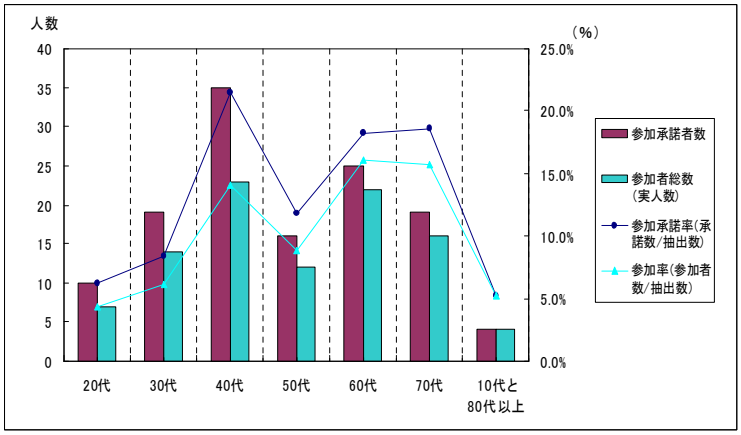
6　参加者の状況等

参加率

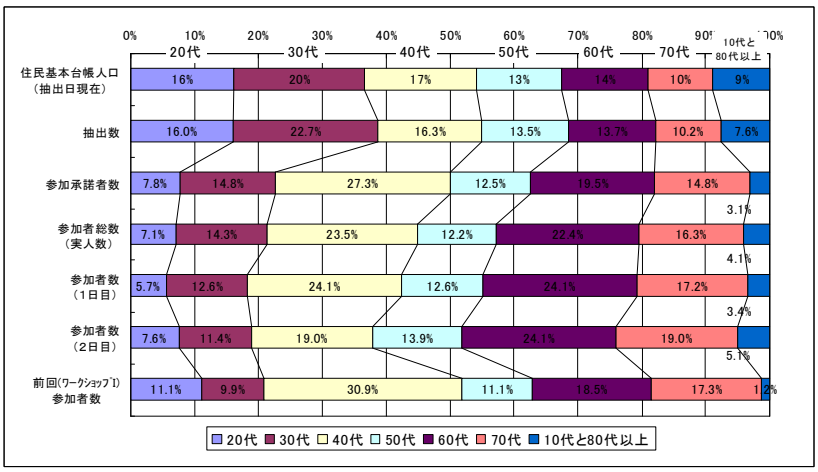
今回のワークショップでは、住民基本台帳から無作為に抽出した 1,000 名に案内を発送したところ、88 名（8.8%）の方から参加の承諾を得ることができた（実際の参加者数は 68 名）。また今回は、前回参加者 81 名にも参加を依頼したため、その承諾者 40 名を加え、合計 128 名から参加承諾が得られた。



参加者の男女比は、抽出数では男性 45.8 %、女性 54.2%であるのに対して、参加者数では男性 37.8%（37 名）、女性 62.2%（61 名）と前回同様女性の参加率の方が高めで、その差は前回よりも広がった。



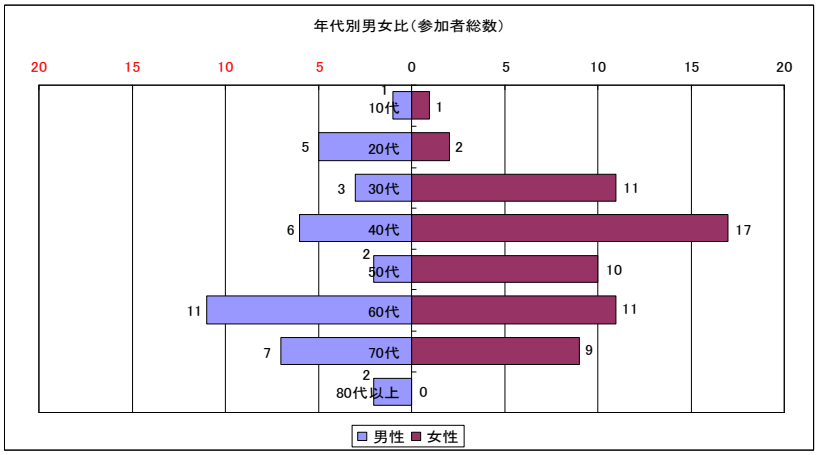
年齢構成については 10 代から 80 代までの方から参加があり、幅広い年代の方々に参加していただくことができた。中でも 40 代、60 代の参加率が高い。

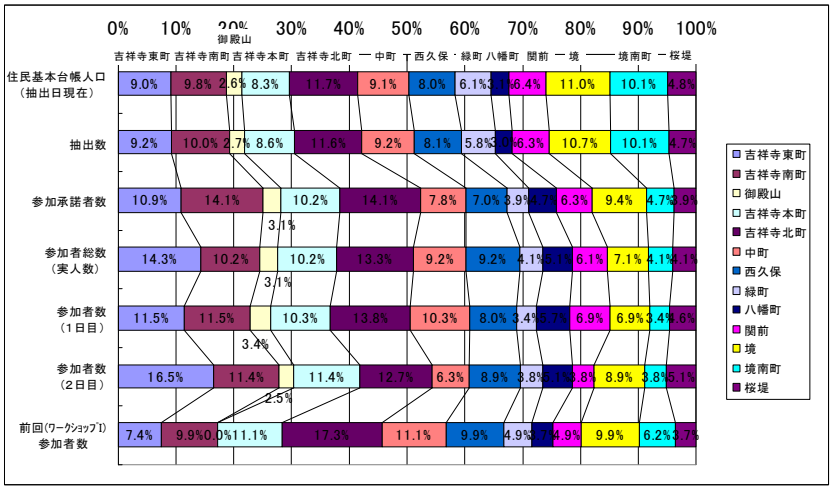


年代ごとの参加率は、抽出数に対して、40 代、60 代、70 代の参加率が高く、20 代、30 代の参加率が低い傾向が見られ、この世代の参加率を上げる取り組みを検討する必要があるかもしれない。参加率の低い年代を、あらかじめ多く抽出するなどにより、年齢構成のバランスを保つ、などは引き続き検討を要する。

参加者数で見ると 40 代の女性が突出して多く、続いて 30 代の女性、60 代の男女が多いのがわかる。

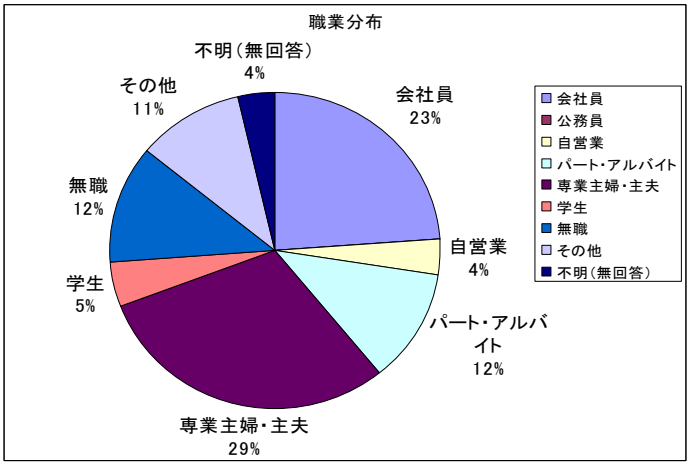
町目別の参加者数については、今回は御殿山からも参加があり、また東町からの参加者が増えた。前回同様、西部地区からの参加者数が若干低い傾向が見られる。

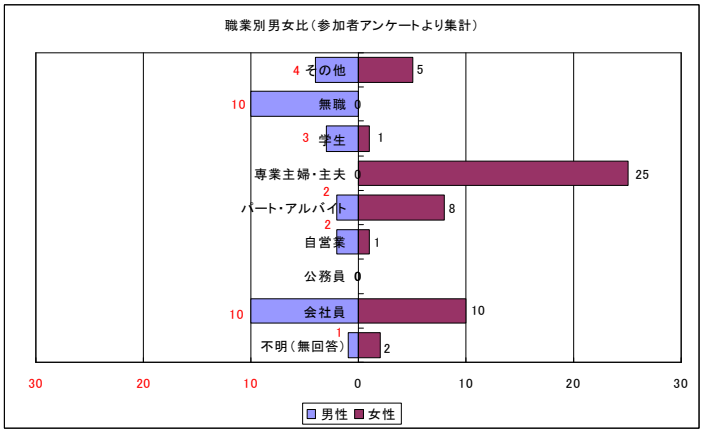


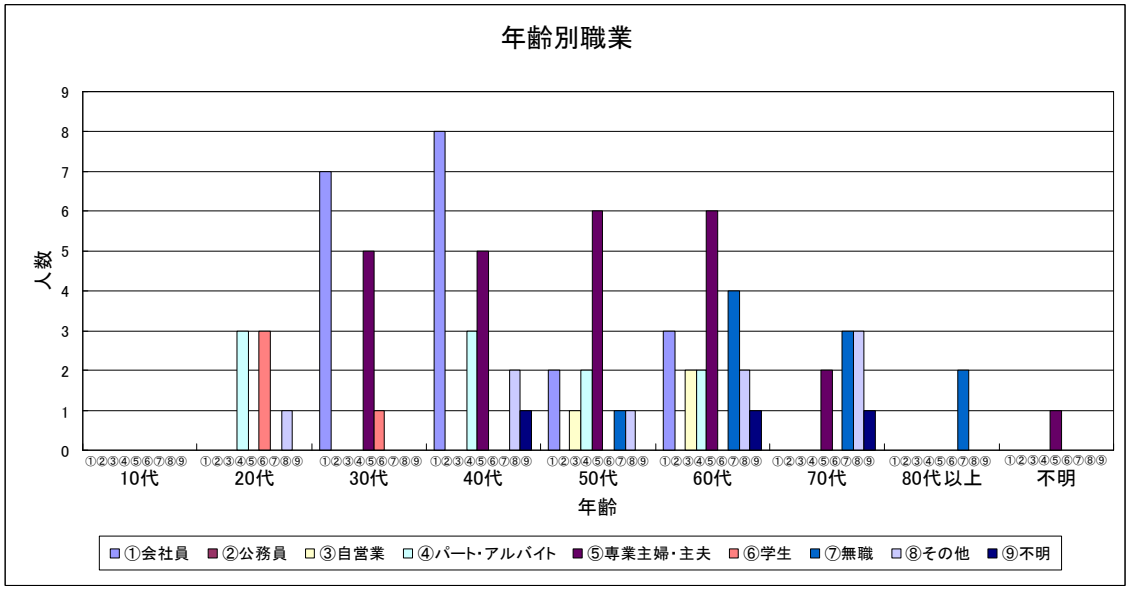


参加者の職業

参加者の職業については、会社員 23%、専業主婦・主夫が 29%でこの二つで半数を超える。専業主婦は 30 代から 60 代と多く、合計で 25 名と突出して多い。30 代、40 代の会社員も多く合計で 20 名となっており、地域社会との関係が薄くなりがちなサラリーマンにも参加をしていただくことができたのではないか。一方で、自営業の方が少なく、休むことが収入と直結していることなどから参加を控えている可能性もある。







参加のきっかけ

参加を決めた理由を見ると、「日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。」が 55%と最も高かった。これは前回参加者が加わったことで、前回参加時の感想が今回の参加に対する期待に影響したのかもしれないが、それ以上に市民同士はお互いに交流したいが、その場がなく、このワークショップを機と捉えて参加していることを表していると考えられる。

続いて「市政への興味」48%、「無作為抽出市民の会議への興味」44%、「市民活動への興味」42%、「基本構想・長期計画の策定に興味」40%となっており、元々市政には関心があるが、市民参加のチャンスがなかったところへ、今回のワークショップの参加依頼が届き、参加の後押しになったと思われる。これは、「これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加したことがありますか？」との問いに対して、73%(61 名)が「参加したことがない」としており、初めて市民参加をした方が大半であったことからも読み取れる。

あわせて、「無作為抽出による市民が集う会議への興味」も同様に高いことは、一般の市民会議では、関心の高い一部の市民のみが集まるのではないかと躊躇していたもの

が、無作為抽出市民の場合はみんなが同じ知識・立場で参加でき、それが安心感につながって参加へ踏み切らせたということかもしれない。

また参加不承諾者のアンケートでも、参加依頼書を見た時の印象は、「おもしろそう」が 42%など、無作為抽出市民ワークショップは概ね好意的に受け止められていることも読み取れる。

参加後の感想

参加者のアンケートでは「いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった」が 48 名（57%）で最も高く、行政の政策決定には多面的・総合的な判断が必要であることが理解されたのではないか。

続いて「市政について関心が高まった」が 47 名（56%）、「今後の武蔵野市について考える機会となった」が 45 名（54%）など、ワークショップが市政への関心喚起に有効であるといえる。

参加できない理由

参加不承諾者へのアンケート結果から、参加できない理由については、「仕事がある」が 29%と最も高く、続いて「家事･育児･介護等」18%、「健康･身体的理由により参加が困難」15%で、参加したくてもできない状況がうかがえる。一方で「買い物･レジャー・旅行」による理由 13%、「次回、このようなイベントの参加依頼書が来たらどうするか」との問いに対して「参加する･参加したい」は 6%、「他に予定がなければ参加する･参加したい」が 38%となっていることからも、ワークショップ参加への優先順位は高くはないといえる。

しかし、参加者に対するアンケートでは、次回参加案内が届いたら「参加したい」は 83%と非常に高く、参加をした方は引き続き参加意欲が高いことが窺えるので、このことが参加者を通じて伝わり広まっていくことを期待したい。

また「内容が難しそう」も 10%あるなど、真剣に考えていただいたことが、かえって参加を控えさせてしまった様子が見受けられるのは残念である。

開催時間等

参加不承諾者アンケートによると、2 日間というスケジュールについては「ちょうどよい」が 40%、「長い」が 36%と拮抗し、自由記載欄には、半日を二日間よりも 1 日にまとめてやる､2 週に分けた方がいいなどの意見も見られ､日程の設定は課題が残った。

半日という時間については、49%が「ちょうど良い」と回答しており、先ほど述べたスケジュールとあわせて総合的に検討する必要がある。

参加者の感想等

参加者のアンケート結果では、83%が「面白かった・楽しかった」と回答しており、参加者の満足度は大変良好であった。

また「基本構想・長期計画の計画案が公表されたら読んでみたい」が 61%と、今回の計画策定に興味をいだいてもらうことができた。また「タウンミーティングや市民会議に参加したい」も 39%など、市政に関心を持っていただくきっかけとしては、大変有効な取り組みであるといえる。

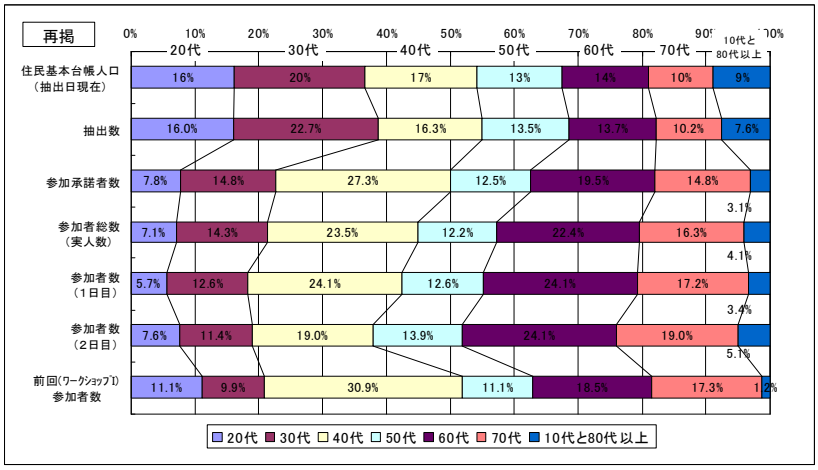
７　今回の無作為抽出市民ワークショップの成果・評価

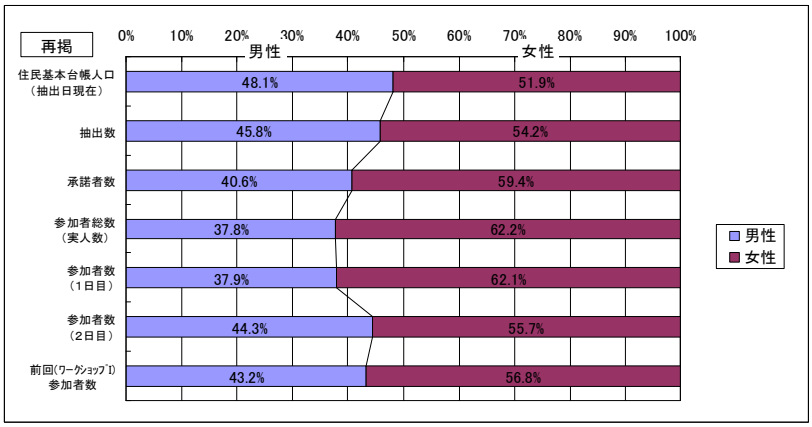
無作為抽出方式

無作為抽出市民によるワークショップは、これまでの公募の市民会議のように言いたいことがあって自ら手を挙げた市民が集まるのではなく、これまでそういった場に参加した経験がなく、ワークショップの案内をきっかけに初めて参加した方に多数参加いただいた会議であった。これは参加者アンケートの「これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加したことがありますか？」との問いに対して、73％(61 名)が「参加したことがない」と回答していることからも読み取れる。無作為に抽出された市民が集まることにより、利害関係者だけではなく、テーマに関して直接の当事者ではない一般の市民の意見も聞くという目的が達せられ、あわせて意見が異なる市民同士が直接意見を交わすよい機会ともなった。このことは、参加者のアンケートで「いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった」という感想を持った方が 48 名（57％）で最も多いことからもうかがえる。このように、これまでなかなか参加の機会がなかった市民の方にも参加いただき、市民同士での議論を行う方式として効果が高いものであった。

また、今後の社会参加へのきっかけづくりという、もう一つの目的も達成された。このことは参加者アンケートにおいて、「市政について関心が高まった」「今後の武蔵野市について考える機会となった」と回答した人は 50％を超え、「計画案が公表されたら読んでみたい」と回答した人は 60％を超えることからわかる。

さらに無作為抽出方式による市民参加は、参加者の男女比率や年齢の割合が全市民の構成と等しく、全市民の縮図となるのではないかという期待もあった。しかし、実際には、抽出した市民の年齢・性別構成は住民基本台帳と同じであったものの、参加者の年齢・性別構成には偏りがあった。参加者の年齢・性別構成を詳しく見てみると、右のグラフでわかるとおり、女性の参加者が多く、また参加率は 20 代、30 代が低く、40 代、60 代、70 代が高い傾向がみられる。参加者からは、参加者の年齢構成・男女比率





の偏りへの懸念や、参加者の年齢等に左右されたワークショップの意見が政策化されることへの危惧の意見が寄せられている。参加不承諾者アンケートによれば、参加しない理由は「仕事」が 80 名（29%）で最も多く、現役世代の参加が難しいことがうかがえるので、こういった方にも参加いただけるような方法を検討していきたい。

今回の無作為抽出市民ワークショップは２回目の開催であったが、今回新たに抽出された 1,000 名の市民に加えて、前回ワークショップに参加した方にも参加の案内をしたことに特徴がある。これはせっかく参加していただいた方に、継続して市政に関心をもっていただき、また議論をより深めていただくことが目的であった。その結果、約半数の方にご承諾をいただくことができ、参加者が継続して市政に関心を持ち続け、参加意欲を維持し続けていることが証明された。一方で、前回参加者を加えていくことで、通常の公募の市民会議と同様関心が高く意見のある人が残っていき、初めて参加する方が萎縮して発言しづらくなるとの意見もあったことから、無作為抽出市民（いわゆるサイレント・マジョリティー）から意見をいただくという意義や、無作為に抽出した市民で行うという本来の意義にも配慮する必要がある。

<u>ワークショップ</u>

４～５人のグループに分かれて自由にディスカッションし、最後にグループで意見をまとめ、発表するという手法については、参加した全ての人が自由に意見を出し合うことができ、また全員に発言の機会・時間があり、様々な意見を聞くことができると言う点において、大変有効であった。またメンバーチェンジを行うことで、新たな気づきや発見も生まれ、意見が偏ることを防ぐことが出来たと考えられる。

一方で、その場で感じたこと・考えたことを自由に話し合うというプログラムは、背景や現状についての掘り下げが十分でない状況で話し合うため、表層的な意見が出やすく、また話し合いが拡散する傾向があった。したがって、自由な発想が求められるテーマ（「将来像」など）には有効であるが、今回のように「討議要綱」という具体的なテーマについて意見を述べるというような場面では、話し合いの広がりやその後の収束が難しい面もあった。どういった場面で活用するのがよいかを十分に検討したうえで、参加者に事前の準備をお願いしたり、当日の情報提供の方法を工夫するなど、より効果的な運営を検討していきたい。

資　　料

１　参加者属性

（１）　性別参加者数

性　別	住民基本台帳人口（抽出日現在）	抽出数	承諾者数	参加者総数（実人数）	参加者数（1日目）	参加者数（2日目）	前回(ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟI)参加者数
男性	65,215	458	52	37	33	35	35
女性	70,381	542	76	61	54	44	46
計	135,596	1,000	128	98	87	79	81

（２）年代別参加者数

年代	住民基本台帳人口（抽出日現在）	抽出数	参加承諾者数	参加承諾率（承諾数/抽出数）	参加者総数（実人数）	参加率（参加者数/抽出数）	参加者数（1日目）	参加者数（2日目）
20 代	19,157	160	10	6.3%	7	4.4%	5	6
30 代	24,116	227	19	8.4%	14	6.2%	11	9
40 代	20,652	163	35	21.5%	23	14.1%	21	15
50 代	15,659	135	16	11.9%	12	8.9%	11	11
60 代	16,035	137	25	18.2%	22	16.1%	21	19
70 代	11,841	102	19	18.6%	16	15.7%	15	15
10 代と80 代以上	10,611	76	4	5.3%	4	5.3%	3	4
合計	118,071	1,000	128		98		87	79

（３）町目別参加者数

町名	住民基本台帳人口（抽出日現在）	抽出数	参加承諾者数	参加者総数（実人数）	参加者数（1日目）	参加者数（2日目）	前回(ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟI)参加者数
吉祥寺東町	12,236	92	14	14	10	13	6
吉祥寺南町	13,274	100	18	10	10	9	8
御殿山	3,471	27	4	3	3	2	0
吉祥寺本町	11,255	86	13	10	9	9	9
吉祥寺北町	15,863	116	18	13	12	10	14
中町	12,312	92	10	9	9	5	9
西久保	10,792	81	9	9	7	7	8
緑町	8,310	58	5	4	3	3	4
八幡町	4,261	30	6	5	5	4	3
関前	8,683	63	8	6	6	3	4
境	14,868	107	12	7	6	7	8
境南町	13,697	101	6	4	3	3	5
桜堤	6,574	47	5	4	4	4	3
合計	135,596	1,000	128	98	87	79	81

２　参加者アンケート集計結果（有効回答数：８４件）

１　ご自身について回答をお願いします。

（1）性　別

項　目	人　数	比率（%）
①　男　性	32	38%
②　女　性	52	62%
不明（無回答）	0	0%
合　計	84	

（2）年　齢

項　目	人　数	比率（%）
①　10代	0	0%
②　20代	7	8%
③　30代	13	15%
④　40代	19	23%
⑤　50代	13	15%
⑥　60代	20	24%
⑦　70代	9	11%
⑧　80代以上	2	2%
不明（無回答）	1	1%
合　計	84	

（3）ご住所

項　目	人　数	比率（%）
①　吉祥寺東町	10	12%
②　吉祥寺南町	7	8%
③　御殿山	3	4%
④　吉祥寺本町	10	12%
⑤　吉祥寺北町	10	12%
⑥　中　町	9	11%
⑦　西久保	8	10%
⑧　緑町	4	5%
⑨　八幡町	4	5%
⑩　関前	5	6%
⑪　境	7	8%
⑫　境南町	4	5%
⑬　桜堤	3	4%
不明（無回答）	0	0%
合　計	84	

（4）ご職業

項　目	人　数	比率（%）
①　会社員	20	24%
②　公務員	0	0%
③　自営業	3	4%
④　パート・アルバイト	10	12%
⑤　専業主婦・主夫	25	30%
⑥　学生	4	5%
⑦　無職	10	12%
⑧　その他　・研究者・団体・年金生活	9	11%
不明（無回答）	3	4%
合　計	84	

（5）武蔵野市での居住年数

項　目	人　数	比率（%）
①　１年未満	1	1%
②　１年以上５年未満	13	15%
③　５年以上１０年未満	9	11%
④　１０年以上	56	67%
不明（無回答）	5	6%
合　計	84	

２　今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？（いくつでも）

項　目	人　数	比率（%）
①　無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。	37	44%
②　市政に興味があったから。	40	48%
③　基本構想・長期計画やその策定過程に興味があったから。	34	40%
④　市民として何か活動してみたいと思っていたから。	35	42%
⑤　報酬がよかった（魅力的だった）から。	13	15%
⑥　日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。	46	55%
⑦　ワークショップⅠに参加して楽しかった、良い経験ができた、役に立ったから。	26	31%
⑧　たまたま日程が合ったから。	12	14%
⑨　その他 ・こどもが出来たことで市政に興味をもちました ・参考になりました	2	2%

３　参加された感想をお聞かせください。

項　目	人　数	比率（%）
①　おもしろかった。楽しかった。	70	83%
②　おもしろくなかった。つまらなかった。	0	0%
③　どちらでもない。	9	11%
④　その他 ・参考になったのではないかと思います ・市民の声が聞けた ・見知らぬ人と多少なりとも交流できて、楽しかった。 ・発表の３分間はあまりに短く、最低でも５分は欲しいと思う。云いたい事が充分云えない。 ・ちょっと疲れた！慣れないことをしたので	4	5%
無回答	1	1%
合　計	84	

４　これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？（いくつでも）

項　目	人　数	比率（%）
①　計画策定等の委員として参加	3	4%
②　計画策定等の委員会の傍聴	0	0%
③　個人としての意見提出（パブリックコメント等）	6	7%
④　団体（NPO・コミュニティ協議会など）として意見提出	4	5%
⑤　タウンミーティングに出席	10	12%
⑥　市民（住民）説明会に出席	3	4%
⑦　参加したことがない	61	73%
⑧　その他 ・「街づくり講演会」（緑町団地、けやきコミセン共催）	1	1%

５　ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、武蔵野市の基本構想・長期計画(第四期)についてどの程度ご存知でしたか。

項　目	人　数	比率（%）
①　全く知らなかった。	27	32%
②　名前だけは聞いたことがある。見たことがある。	27	32%
③　読んだことがある。	28	33%
④　その他・先日の市報号外で・何かあるたびに読んでいる	2	2%
無回答	0	0%
合　計	84	

６　ワークショップに参加される前に討議要綱（市報特集号を含む）を読まれましたか？

項　目	人　数	比率（%）
①　読んだ（全部）	23	27%
読んだ（一部）	35	42%
②　読んでいない	24	29%
③　その他 ・少し読んで、後でまたと思っているうちに忘れてしまった。	1	1%

７　討議要綱について、興味がわいた分野、気になった項目はどれですか（いくつでも）

項　目	人　数	比率（%）
①　はじめに	0	0%
②　計画策定の基本的な考え方	17	20%
③　第四期基本構想（平成 17～26 年度）の実績と評価	11	13%
④　第四期長期計画・調整計画（平成 20 年度～）の実績と評価	4	5%
⑤　人口推計・財政見通し	33	39%
⑥　今後 10 年間の市政運営における４つの基本課題	24	29%
⑦　分野別の課題		
－１　健康・福祉	41	49%
－２　子ども・教育	46	55%
－３　緑・環境・市民生活	34	40%
－４　都市基盤	31	37%
－５　行・財政	22	26%
⑧　参考	1	1%

８　今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？（いくつでも）

項　目	人　数	比率（%）
①　市政について関心が高まった。	47	56%
②　第五期基本構想・長期計画について関心が高まった。	25	30%
③　話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった。	33	39%
④　今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった。	30	36%
⑤　今後の武蔵野市について考える機会となった。	45	54%
⑥　いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった。	48	57%
⑦　何も感じなかった。	1	1%
⑧　その他	5	6%

・前回のときよりも、障害を持った子、障害者の生活について交流を持つべきを考えている人が多くて、うれしかった。テーマは前回が福祉グループで今回が子どもグループだったのですが ・今後は討議内容を知らせたら良い ・けっこう皆さん、同じところに問題をかんじているんだなあと思いました。 ・同じ市内でも、場所によって事情が全く異なることがわかり、勉強になりました。 ・与えられた項目以外について、市民が感じている点について話し合えることが出来て、非常に良かった。＜問題意識の共有化＞		

9　次回ワークショップのご案内が届いたら参加したいと思いますか。

項　目	人　数	比率（%）
①　参加したい。	70	83%
②　参加したくない。	2	2%
③　どちらでもない。	9	11%
④　その他 ・予定があえば。 ・企業人として過してきたので、市の問題については、家内のほうがよく知っているので、夫婦で参加したいです。	2	2%
無回答	1	1%
合　計	84	

10　今後やってみたいと思う活動はありますか？（いくつでも）

項　目	人　数	比率（%）
①　第五期基本構想・長期計画の計画案が公表されたら読んでみたい。	51	61%
②　第五期基本構想・長期計画の計画案が公表されたら意見を提出したい。	13	15%
③　第五期基本構想・長期計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい。	12	14%
④　タウンミーティングや市民会議に参加したい。	33	39%
⑤　計画策定の公募市民委員になってみたい。	17	20%
⑥　特にやりたい活動はない。	9	11%
⑥　その他 ・皆様方の意見を聞いただけでも良かったと思います	2	2%

11　今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください。

- 市側の内容説明がやや雑でわかりづらかった。
- 市民が感じていることは皆同じ。高い税金を払っている。
  お金をムダなく有効に活用してほしい。

有能な人材を活かし、困っているニーズに役立つようにしてもらいたい。

- 横のつながり（地域の中で）が確かに薄れていると感じますので、皆さんが自由に意見をのべる場があることは良い事だと思います。
  また、退職後初めていくコミュニティセンター等で、どのように接して良いのかわからず、逆ってとまどいを感じた、とか仲間に入れないと言っておられる方が数名おりましたので、何か（今回のように）題材があれば、参加し易いのだと思います。
  討議要綱の P19 の委員会の方も、ワークショップ当日に参加または、見学されたら良いのではないでしょうか！？という意見の方もいらっしゃいました。
- 様々な意見をもつ市民と知り合うことができた。
  同じ地区の人と知り合え、今後の関係につながるきっかけとなったことが今回の一番の収穫です。
  ワークショップのルールに相手のアイディアをほめるとのこと、議論にならなかったのが残念
- 要綱をもっと読んできた方がよいので、その旨言ってほしかった。
- 行政と市民（NPO、地域公的市民団体、生涯学習団体など）との協働、市民のボランティア活動の重要性が、今後の市民の福祉の鍵を握っている。そのことを声を大にして強調したい。
  いかに、市民の意欲、熱い志を引き出し、幸福な街づくりに結びつけるか。策定委員会を始め、市長、職員に知恵を絞っていただきたい。
- 難しい話し合いかと思いましたが身近なこと、大事なことだと再確認しました。市報をもっとよく読み関心を持つようにしたいと思いました。
- 各ラウンド時間をもう少し長めに。
  名札を書いた直後に、自己紹介が良いかと。
  年代比がかたよっている。シニア層の方が積極的にこういうものに参加されるのはわかるが、もっと若い人に参加してもらえるようにしないとやっぱりシニア向けの政策になるのがすごくこわい。
  あと、予算配分に対して意見したい。例えば、プレイスを作るお金で保育園をふやしてほしかった。
  まちづくりのビジョンをもっと明確に。簡単に市民に示して。
- このような機会は非常に良いと思います。今後も継続して頂きたい。
- これからも市政に関心を持って行きたいと思います。
- 私自身２度目の参加ですが、回を重ねるごとに、意見を出し慣れた人ばかりが残って行ってしまう気がします。毎回、まったく新規に募集し、新しい意見を出してもらった方が良いように思いました。
  「今日の流れ」を事前にハガキにでも刷り込んでいただけると、一日目ももっと活発に意見が云えたかと思います。
- 老後のことばかり話されて、子ども（中・高）や、40～50 代のことは、ポッカリと穴があいている気がした。もっと取り上げて欲しい。
- 子育てを終えているので、子育て世代の意見を聞けたところがよかった。
  福祉と教育は表裏一体の面があると討議要綱にも指摘されている。同日にバラバラに討議した。私は教育だったので、福祉の討議も聞きたかった。（くわしく）
- 今回も、付せんに書かれた意見を読んでいただけるとうれしいです。
  （同日に行われているもうひとつの議題についても意見交換したかったです。）

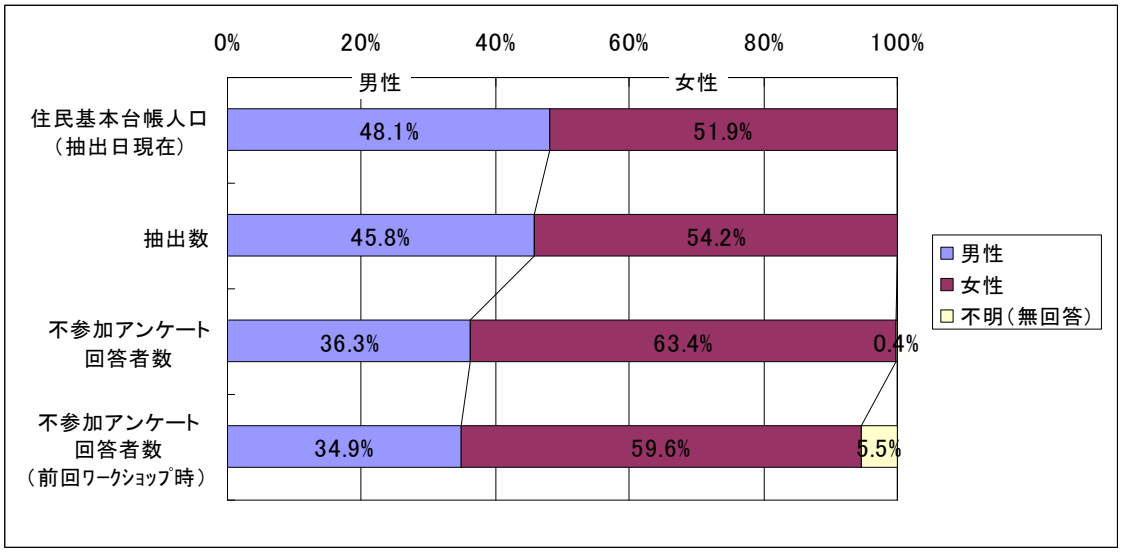
- １分野の意見しか言えなかったのが残念。両分野の話し合いに参加したかった。
  時間が遅れぎみ。13：00～16：00 までとアナウンスしたんだから時間内に終わるようにすべき。
  時間不足なら、次回のアナウンス時間を見なおすべき。
  最後のスタッフの話が長い！！
- このようなやり方で本当に意味があるものとなるのでしょうか。上すべりなものとなっているのでは？
  単なるアリバイ作りにならないように期待しています。
- 市民の高い意識があること。
  わかり辛いのは、討議要綱の書き方（抽象すぎる）
  各ブロック１人市役所に職員がいると、別の見方もあるかと思った。
- 今後、転出の予定があります。仮に三鷹市に移ったとしても参加は続けたいのですが…。
- 自転車での道路の整備と駐輪場の案内を
  カンバン等（場所が分からない）を増やしてほしい。
- 意見の発散でしかなく、収束までこの場でやるべきだと思う。
  有識者の指導、コメントをうけながら進めた方が、やり易く良い意見がでると思う。
- 今まで市政には関心をもっていなかった為、ホームページで見て参加しました。前もって討議要綱を読んでから参加出来れば、よかったと思います。
- 先程も書きましたが、発表の３分間は、非常に短いです。最低でも５分以上欲しいです。
  最後の発表の紙に、全ポストイットで記入した物を、裏面でも良いので貼った方が良いと思います。
  何故なら、記入出来なかった良い意見が、必ずあります。
- 参加者にかなり差がある。このワークショップ（言葉もはじめてきいたらしい）の目的や内容（なにをするのか）をわからない人もいた。話しを聞くために来たので、意見もないという人もいた。
  難しいものである。慣れていて、うまくリードする人もいた。
- 職員さん同士の話が聞こえ、皆の話し合いを否定するような言動があり、不愉快に思いました。
- 討議要綱について、具体的に数値で示すものが少なく、また係の方に聞いてもご存じなく残念に思った。改善をお願いしたい。
- ２回目の方が半分以上で、各々、２回目としてそれぞれ経験が役立っていたように思われた。
- 討議要綱を読みましたが、読みづらいです。
  難しい言葉、専門用語をなるべく使わない、１文を短くするなどして、一般向けに読みやすくしてほしいです！
- 話し合う時間が少し足りない（特に第１、２ラウンド）
  交通費は必要（実費）だが、報酬は不要だと思う。
  事前にどのテーマになるか知っておけば、考えをまとめておけたのではないかと思う。
- 子育てが終わって長いので、今回のテーマは正直云って苦手な内容だった。今の子育て中の親の大切さ大変さがわかっただけでも良かった。
- 真剣に市の基本構想などを話し合う時間は貴重
  いろいろな年代の人の話を聞くことが出来た。
- いろいろな立場の人の意見がきけておもしろかった。

- 楽しかったです。どうもありがとうございました。
- 色々な意見がきけて有意義でした。
- ３時間半は長いかな？と思ったが、話し合いの中で、あっという間でした。有意義な時間でした。
- 世代が違う方と話し合いができて良かったです。
  発表者になるかとかなりドキドキしました…。良かった…。
- 意見を持っているテーマにあたらなかった（別のテーマに参加した）。
- それぞれ熱心に考えたり、お話をして下さり良かったです。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。又、参加したいです。
- 以前にもっと具体的な詳細内容を伝えるべきかと思います。
  話をするのが苦手な人もいるかと思うのですが、又、市職員が各グループに１人入ってスタートをさせるのが better ではないでしょうか。
- 今まで関心のなかった分野の席になり、その方面の話合いができ、よかった。
  進行として、最初にワークショップで話し合うこと以外の部分のよみあげが多かったが、その時間を、話し合う分野の課題をよむ時間にあてこむ方がよかった。
  又、全体の流れを先に話してほしい。グループごとにたまたまリーダーが入っていたかもしれないが、進行サポートにスタッフが各グループに入ったほうがまんべんなく意見がのべられると思った。（お話好きの人ばかりはなすことになるグループも）
- 参加者の年齢構成、男女比率を鑑みると、女性の中高年者の割合が多いことが印象的だった。
- 時間がやや不足。
- いろんな方とお話ができて楽しかった。
- けっこう皆さん、同じところに問題をかんじているんだなあと思いました。
- 課題が多すぎて、話をほり下げるのには、時間が少ないと感じました。
- 今迄、自分が感じていても具体的に言葉に出なかった事柄を色々な方々から意見を聞くことができ、納得できました。とても楽しかったです。ありがとうございました。
- 出来れば午前、午後にて、１日で終了するようにしてほしい。２日間にわたるのは、少々大変です。
- 初めの導入の部分がわかりづらかったです。何を考えればいいのか、戸惑いました。
- 無作為に選出ということながら、集まった武蔵野市民の質の高さに、改めて良いエリアに住んでいるのだと実感しました。
- いろいろな意見が出て興味深かった。
  最初の説明が長かった。時間内に終わってほしかった。
- ワークショップに参加させていただき大変有意義で、又楽しい時間でした。
  同じ武蔵野市居住者でも、その各々の地区により、課題が違い、又ニーズが異なることが多く、“今後の市、地区の運営”は肌理細かく区分して対応、処理をして行かなければならないむづかしさを感じました。

３　参加不承諾者アンケート集計結果（有効回答数：２７３件）

アンケート回答者の属性

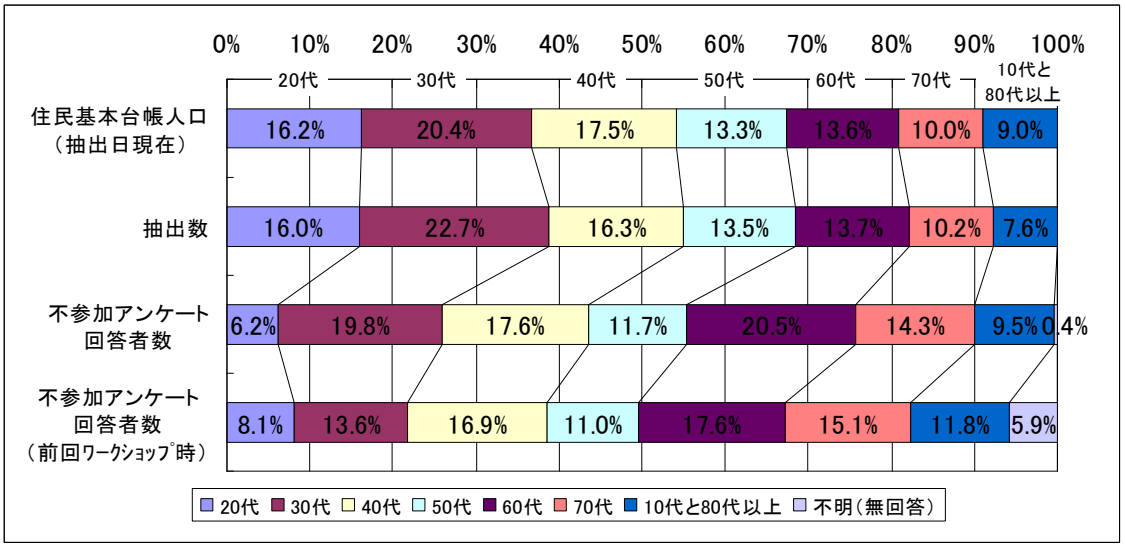
性別

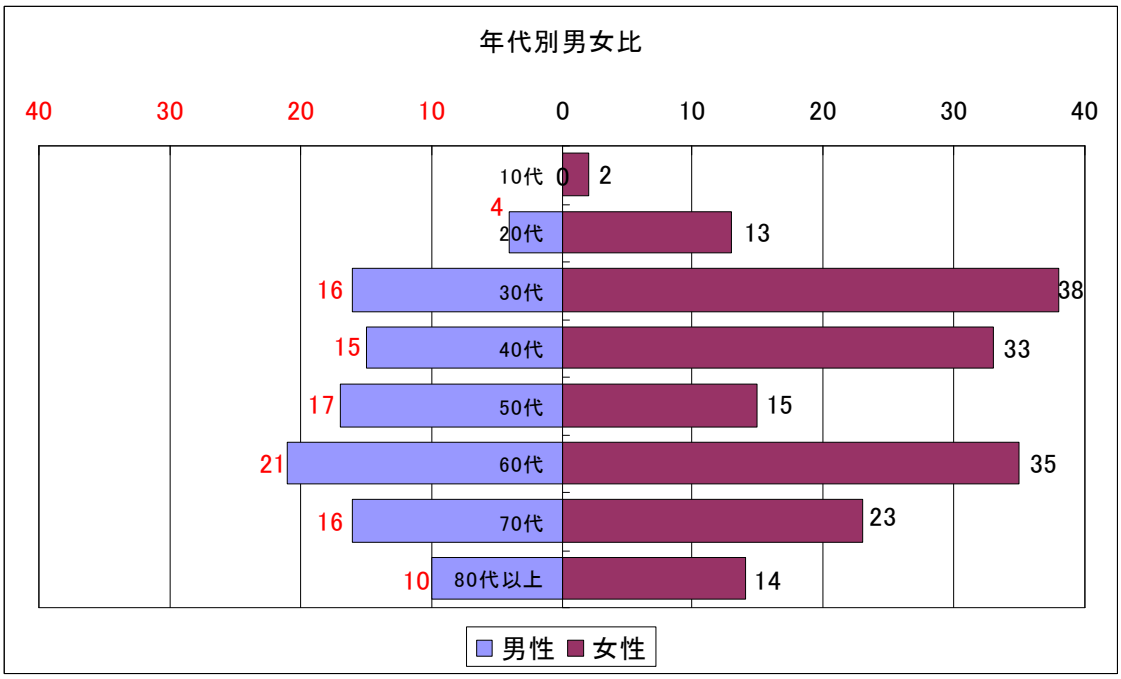


項　目	人　数	比率(%)
①　男　性	99	36%
②　女　性	173	63%
不明(無回答)	1	0%
合　計	273	0

※FAX および無記名での回答含む

年代別





項　目	人　数	比率(%)
①　10 代	2	1%
②　20 代	17	6%
③　30 代	54	20%
④　40 代	48	18%
⑤　50 代	32	12%
⑥　60 代	56	21%
⑦　70 代	39	14%
⑧　80 代以上	24	9%
不明(無回答)	1	0%
合　計	273	0

（有効回答数２７３）

１　ご自身について回答をお願いします。

（１）性別

項　目	人　数	比率（%）
①　男　性	99	36%
②　女　性	173	63%
不明（無回答）	1	0%
合　計	273	

（２）年代別

項　目	人　数	比率（%）
①　10代	2	1%
②　20代	17	6%
③　30代	54	20%
④　40代	48	18%
⑤　50代	32	12%
⑥　60代	56	21%
⑦　70代	39	14%
⑧　80代以上	24	9%
不明（無回答）	1	0%
合 計	273	

（３）ご住所

項　目	人　数	比率（%）
①　吉祥寺東町	22	8%
②　吉祥寺南町	32	12%
③　御殿山	8	3%
④　吉祥寺本町	15	5%
⑤　吉祥寺北町	33	12%
⑥　中　町	18	7%
⑦　西久保	23	8%
⑧　緑町	19	7%
⑨　八幡町	10	4%
⑩　関前	17	6%
⑪　境	32	12%
⑫　境南町	26	10%
⑬　桜堤	17	6%
不明（無回答）	1	0%
合 計	273	

（４）ご職業

項　目	人　数	比率（%）
①　会社員	73	27%
②　公務員	7	3%
③　自営業	27	10%
④　パート・アルバイト	21	8%
⑤　専業主婦・主夫	63	23%
⑥　学生	4	1%
⑦　無職	52	19%
⑧　その他 フリーランス・保育士・年金・心理カウンセラー・デザイナー・団体職員・ナース・会社役員・大学教員・教員・育休中・教員・会社経営・派遣社員・家業手伝い	15	5%
不明（無回答）	11	4%
合　計	273	

（５）武蔵野市での居住年数

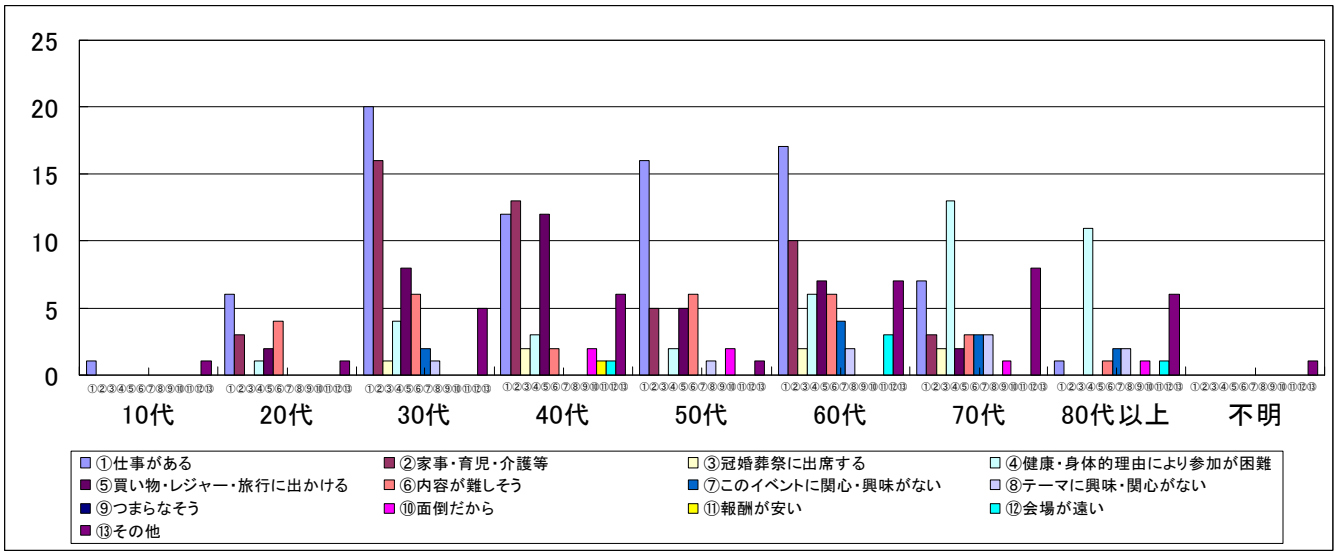
項　目	人　数	比率（%）
①　１年未満	15	5%
②　１年以上５年未満	47	17%
③　５年以上１０年未満	36	13%
④　１０年以上	166	61%
不明（無回答）	9	3%
合　計	273	

２　「武蔵野市第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのようにお感じになりましたか。

項　目	回答数	比率（%）
①おもしろそう。	116	42%
②つまらなそう。	0	0%
③あまり関心がない。興味がわかない。	63	23%
④何のことかよくわからない。	46	17%
⑤その他	36	13%

３　今回参加されない理由について

項　目	回答数	比率（%）
①仕事がある	80	29%
②家事・育児・介護等	50	18%
③冠婚葬祭に出席する	7	3%
④健康・身体的理由により参加が困難	40	15%
⑤買い物・レジャー・旅行に出かける	36	13%
⑥内容が難しそう	28	10%
⑦このイベントに関心・興味がない	11	4%
⑧テーマに興味・関心がない	9	3%
⑨つまらなそう	0	0%
⑩面倒だから	6	2%
⑪報酬が安い	1	0%
⑫会場が遠い	5	2%
⑬その他	36	13%



「⑬その他」の回答：

・出産予定の為

・試合の為

・もっと具体的に書いていないと、参加しようがない。

・１日なら、３／６（日）なら出席可

・具体的に何が貢献できるのかイメージできないため。まだ武蔵野市にきて日が浅いため。

・子供の行事がかさなったため、参加したかったが出来ませんでした。

・他に予定があるため

・独身者の意見はあまり反影されなそう。
・２月に胃の手術を受ける為、参加は不可と思います。
・２月に引っこすため。
・内容が理解できていないから。
・休日はゆっくり休みたい。
・コミセン行事に関する役員会と、地区社協の会合と２日共重なっているため
・外に予定が入っています。
・開催日時に予定ある為
・娘の出産と重なり手伝いのため。
・予定あり
・年齢的に無理、病気がち
・武蔵野市民の一人として参加することがよいことだと思うが私にとっては少々負担に感じる。
・受験があるので
・子供の習い事と保育園の委員会がそれぞれの日程に入っている。
・長い事椅子に座っていると背中が痛くなるので！！
・まったく知らない人達と話し合うのが心配
・前述の理由で武蔵野市の将来など興味がない。この市は将来は 70 才以上が４人に１人となる社会地域になるが今から考えては？そのテーマがない！
・高齢のため
・耳が遠く参加が困難（補聴器をつけているが）
・就職活動により予定がたたないため。
・関心が無い訳けではないが、改めて考えていなかったので、参加しても意見をする事が出来ない様に思ったので。
・市議に立候補よてい
・習い事がある。特に討議で発言したい意見がない。テーマが広すぎる。
・討議に要する専門知識がない。
・体調が悪いので今回は欠席させてください。
・お役に立てる意見を持っていないと思う。
・85 才です。若い意見を十分汲み上げ次世代の幸せにつなげて下さい。
・イベントに大変興味はありますが、仕事上、予定が決められなかった。
・痛院の予約がある
・昨年 11 月頃から身内に重病人が出てその状態が続いているから。

４　２日間というスケジュールについて

項　目	回答数	比率（%）
①ちょうどよい。	110	40%
②長い（１日のみならよい）。	99	36%
③短い。	10	4%
④その他	21	8%

「④その他」の回答：

・内容によりけりなので判断できない

・２日間という設定がわからない

・よくわからない。

・２日間（連日）は、家をあけられない。

・内容による。１テーマを、間に１週間時間を置いて２日間行えばいいアイデアが出そう。

・ケースバイケースと思いますが・・・ただ参加する方としては短い方がよい。でもそれでは足りないかなとも思う

・わからない

・参加出来ないので何とも云えない

・１日で午前と午後に分けた方が良いのでは。

・よくわからない

・参加し、又その成果を見ていないから長短については不明

・前回 11 月分の内容が不明であり、市報を活用して事前にご説明願えればベターではないかと思う。単なる「オモイツキ」でやっても意味がないと考えますが・・・

・不定期で開催してほしい

・１日にＡＭ・ＰＭでまとめてはどうかと思う。

・２日連続ではなく２週に分けた方が良いかと思います。

・２日間の方が前日話し合った事がらを検証して次の日に備えられて良い。

・２日連続で土日を使用することが厳しい

・連日だと参加が難しいと思う。

・高齢の為。

・だらだらとしそうな感じも致します。

５　時間について

項　目	回答数	比率（%）
①ちょうどよい。	133	49%
②長い。	71	26%
③短い。	4	1%
④その他	26	10%

「④その他」の回答：

・内容によりけりなので判断できない

・１日になるなら長くても良い。
・よくわからない。
・ワークショップに参加したことがないのでわからない。テーマ次第で長くも感じるし、短くも感じると思うので。
・内容による。
・ケースバイケースと思いますが・・・ただ参加する方としては短い方がよい。でもそれでは足りないかなとも思う
・わからない
・参加出来ないので何とも云えない
・長いとも思うが、話し合うにはこのくらいの時間が必要
・よくわからない
・なんとも言えない。
・家庭人として見ればＰＭ4：00 まで位がよいと思う。こうゆう会はつい定時より長びき易いから
・腰痛あり
・２時間位がよい
・参加経験がないのでよくわかりません。
・４により時間は不明です。
・長短は中身次第

６　次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。

項　目	回答数	比率（%）
①参加する・参加したい。	16	6%
②他に予定がなければ参加する・参加したい	103	38%
③手法やテーマしだいで参加する。	75	27%
④報酬が高ければ参加する。	75	27%
⑤会場が近ければ参加する。	2	1%
⑥参加しない・参加したくない。	17	6%
⑦その他	57	21%

「④その他」の回答：

・１人では参加困難のため

・体調が良ければ参加も考えたい

・体調が悪くなければ参加したい

・残念ですが不可能です。

・子供が大きくなって私がいなくても大丈夫になったら参加したい。

・背椎きょうさく症で長く座っていられない。

・残念乍ら３月で 76 才になるので２病持ちで（心臓と関接リウマチ）病院通いでいっぱいですので。

・健康上による

・体調次第

・その時に考える。

・仕事があり、介護をしているので困難である。

・育児があるので参加は難しい

・またその時考える

・要介護４の夫を１人でみているので、替わりの見守り人がいなければ参加出来ない

・わからない。あまり考えていない。

・その時の状況により考える。

・３－④の状態による

・高齢のため。報酬は関係ない。

・参加は無理と思う。

・興味がわかない。

・分からない。未定。

７　その他、ご意見などがございましたら自由にご記入ください。

・どんな様子なのかいまひとつ案内の書面ではわからなかった。あとでインターネットをみてみようと思いつつも見る時間を作れなかったので、ネット（市のＨＰ）でけいさいしている内容をプリントして同封してほしかったです。

・主婦が土・日のまん中の時間帯にイベントに参加するには支障がありすぎる。性別、年齢などにより、

ディスカッションしたい内容や、参加できる時間帯が異なるでしょうから、ターゲットと内容を少ししぼった、細かい分類で行った方が、より有益な会になると思います。
・15 年現在の所で住んでおりますが、改めて色々な事に接する事が少くなかったので、何にか意見をと思っても、今現在は勉強不足の様で・・・これを機会に関心を持てる様にしたいものです。
・ワクチン接種に対する補助金をもう少し安く設定してほしい。
・都合により参加できませんが、お手紙を頂いて、改めて、自分が武蔵野市民であることや、まちづくりに参加できるということを実感しました。とても興味深く、面白い企画だと思います。
・具体的な課題がない話合い？良くわからない。
・実施時間帯として平日の夜はどうか。
・とてもよい企画とは思いましたが、「４～６名で話しあい、発表」というのはとても難しそうですし、子供のいない独身者では、たいした役に立つ意見も出せそうにないので、欠席いたします。ごめんなさい。でもこのような企画があるというのは、市も頑張っていると感じます。内容しだいでは、今後参加したいと思います。宜しくお願いいたします。
・ご苦労様です。
・基本構想・長期計画というテーマは長期すぎ、大きすぎで何についてどう考えて意見を出せばよいのかイメージがわかず参加したいと思えない。もっと具体的な内容に絞って興味のあるものにだけ参加できるような形の方がよいと思う。
・報酬は不要なはず！
・専門知識のない者が、狭隘な私的意見を交わすことにどれだけの有効性があるのか疑問に思う。専門知識のある者に委託したらどうか？
・特にありません。今回、参加出来ず残念です。またの機会によろしくお願いします。
・この方法ですと言い方は悪いですが暇な人（≒高齢者）が集まりがちです。税負担の大きい現役就労世代の意見を集められる手法を導入してはいかがでしょうか。※このことが取り入れられることは全く期待はしていませんが。
・ある程度市政に関心のある方、又、経験者等の参加があった方が良いかもと思った。
・申し訳ありません。用事が出来て出掛けますので欠席いたします。
・テーマだけを見ると何だか良く感じます。年齢は幅広くて良いと思います。機会がありましたら出席したいと思います。
・色々な分野が良くなり、住みやすい武蔵野市になれたらと思います。
・もう少し若くて、足が不自由でなければと思いました。盛会を祈ります。
・参加した事がないのでよくわかりませんが、市政について思っている事を市側に直接伝える機械が出来、良い機会だと思いました。日程が合えば次会参加してみたいです。
・時期（期末、決算、確定申告）を考慮してほしい。スミマせんが、今回は辞退致します。
・この時代、武蔵野市をアピールする活動を町全体で真剣に考えていく事で、町全体のコミニケートと今後の皆んなの住みたい町を健存しつづけれると思います。若い力をもっと注入する市政にして、武蔵野＝吉祥寺の特色を色こくのこしてほしい。
・回答が遅くなり申し訳ありませんでした。
・ＨＰ拝見し、おもしろそうと思いました。ぜひ市民の意見を市政に取り入れて下さい。

・非常によい企画であると思う。よい成果が期待されていると思う。関係者の尽力を高く評価する。ご成功を祈る。
・おばはＳ23～Ｈ17 迄、私共はＳ49～現在迄子供３人は大野田小、四中卒、とても住みやすい町と思って感謝しております。
・知的障害があり、話合いに参加出来ません。福祉の事など希望はあると思いますが、すみません。（代筆）
・長期入院中
・私はＮＰＯとしてニューギニア方面の日本兵の遺骨の収集をボランティアで行っている。丁度、その計画に当たっているので。
・現在は体調をくずしていますので。当地に 45 年以上住んでいるので何かお役にたてればとは思っています。
・特にありません
・未来にむけての子供達への環境作りが一番大切に思います。
・武蔵野市の人口・平均年齢・税金収入等データの推移・予測等の資料を、従来以上に公開・ＰＲして下さい。
・武蔵野市は大好きですが、遠くへ引っこすことにしました。これからも良い町であって欲しいです。
・週末の“たった２日”の休日は“大変貴重”です。市民の方々との交流はせっかくの良いコミュニケーションの場とは思いますが、なんだかんだで精心、体力を使います。そして、月曜日にまた仕事に戻るのは私には辛いです。良い議論が成すとよいですね。
・テーマの中では“子ども・教育”分野に最も関心がある。子育て支援とよく云うけれども、皆さん（政治家、行政も含めて）どう理解、解釈しているのだろうか。保育園の増設は確かに必要。働くお母さんのために保育園増設をして子育て支援を充実した。と安心してはいけないと思う。若いお母さんの子育て教育と子どもが健全にのびやかに成長するための教育を忘れてはならない。保育園の充実と共に二ツの柱を以ってすすめて頂きたい。
・腰痛、座骨が良くなり体が楽になった場合
・興味はありますが、とても忙しくて、参加できず残念です。
・仕事があり残念でした
・簡単、アンケート式なら参加できる（仕事都合が合えばです）。
・去年 12 月に引越してきたばかりなので、お役に立てないかと思いますので、不参加とさせていただきました。
・会場が吉祥寺駅周辺なら参加できると思います。
・南町の住民。杉並区に接っている。杉並区との差、及び武蔵野市役所付近との格差にひがむ。
・ＪＲ吉祥寺駅付近の違反放置自転車に、なぜ強権を発揮できないのか。眼の不自由な方の通行を考えたことがありますか？（即撤去だ！）〃
・近年急に体調」が悪くなった時が多かったので予定が立てにくい。（関心はありますが）
・年令的無理の様です（興味はありますが）。
・グッドアイディアはオモイツキでは・・・失礼しました。
・メーリングリスト、インターネットのＨＰなどで討論し、その後実際に意見交換する方が良いのではないかと思う。

・人と人とのつながりを大切にしていきたい街づくりを考えていただけると幸いです。転居してきたばかりで、ネットワークがなく、そういう場もわかりません。
・病気入院中のため参加出来ません。
・今回は、他に小さい子どもを見てくれる人が見つからないため、参加できず、すみません。
・余り意味が無い。反映されるとは思わない。
・参加の方向で考えてましたが時間調整が出来ませんでした。返事が遅れてすいません。
・大変興味深いイベントだと思いました。仕事をしており子供もいるので、週末の時間の自由がききませんが、時間が許せば参加したかったです。
・ワークショップという名前がおかしい。聞いただけでは何のことか理解できない。「市政に関する懇談会」（のことですか？）
・武蔵境駅と北口広場を早期に完成させてもらいたい。
・夫が参加したいと言っていたので、夫に届いたら参加できたのに・・・と思いました。
・私は今まで都県に多く引越しをしてきましたが、このようなワークショップを行っている行政と出会ったのは初めてです。とても積極的であると思いましたが、案内書が残念です。討議する内容があまりにも漠然としていて、どのような議論になるかわかりません。現状と将来を指示す資料等添付いただけると幸いです。参加を決める判断材料をもう少しいただきたいと思います。乱筆、乱文失礼いたしました。
・送付されてくるアンケートに答えたりしているのですが、そのアンケートの結果と今回のワークショップの結果とどちらがより反映されるのか疑問です。
・私は健康上で参加できない。家族がかわりに出れる様に、次回から可能になると良い。
・10 年程住んでいるが高い家賃で老後不安がいっぱい。いづれ当市を離れれるが小役人中心に自己の保全中心が見え見えのきれい事の施策が多い。財団設立がその例だ、多すぎる。高齢化社会は諸氏にも押しよせてくることを忘れてはならない。10 年後武蔵野市の平均年令は？考えた事あるか？
・このような取組みを評価しております。
・高齢のため、出かけるのがおっくう。足腰がいたいので疲れる。団地の自治会役員、委員等今まで何回かやりましたがもう老齢のため心身ともにもムリです。病院への定期的な通院もあります。
・自動車、自転車、歩行者の安全交通について、将来の基本構想を構築したい。
・テーマによってはこれといった意見が出てこない場合があるのでテーマの分野を選んで参加できるようにした方が参加しやすいかもしれない。
・自分が住む街を今後どのようにしていくか、話し合う場は、他の街ではあまりないと思いますので、非常に将来の事を真剣に考えているのだなと感じました。いい企画ですね。
・主人がパーキンソンになったため参加出来ません。武蔵野市は今、一番住みたい所と云います。自然と商店等が調和した町として評価されたのでしょう。私は実家が目黒ですが、緑の多さ、空気のきれいさ、水のおいしさは都心とくらべものになりません。特に長い遊歩道は、木の多さと曲がりくねった道の面白さではお鷹の道の比ではありません。大事なものを大切にしてますます住み良い市にしましょう。
・討議要綱について、説明がないと参加すべきか判断できない。
・子供の助成金を 23 区と同様にして欲しい。
・午前中のほうが出席しやすい。
・参加できず、申し訳ございません。

・個人的には午前中の平日が良いが、休日であれば、日中ではなく午前かもしくは夜が良い
・日程が合わず、参加できなくて残念です。
・テーマが、あまりにも、漠然としています。市民が、なにを必要としているのかを知りたいという気持ちはわかりますが、もう少しテーマをしぼった方がいいと思います。又、なぜ報酬を支払うのですか。このお金も我々の税金から出てるのですか。もっと市の内を歩いて下さい。そしてよく見て下さい。
・日本獣医生命科学大学の前の横断歩道が踏切が高架になってから、車が停まらないのでなかなか渡れないし、一旦停止も守らないので危険です。どうにかして下さい。
・なし
・報酬を支払う必要があるのですか
・今回は都合がつかず、参加できませんが、とてもよい企画だと思います。
・とても良い機会だと思います。駐輪場の無料開放を検討頂きたいです。結局無料にしない限り、違法駐輪はへらず、いろいろな障外（目の不自由な方など）となると思います。こっちに税金を使ってほしいです。
・良き武蔵野（吉祥寺）をどう残すか？十分検討して下さい。ヤングだけでなく、大人の町の部分大事にして下さい。
・駅周辺の美観対策、広告に街との調和を望む
・歩行者の安全　特に増え続ける自転車対策˝
・今回は予定があわず、ざんねんです。市民の声が生かせる行政であることを願います。不妊治療助成に力をいれてくださるとうれしいです。
・種々予定有り。土日無理。
・特になし
・駐車違反の取りしまりが以前より悪くなり、ハザードランプをつければ良い状態を許している。特にアトレの郵便局のある通りはひどい。

４　その他資料

（1）ワークショップのご案内（新規参加者用）

（表面）

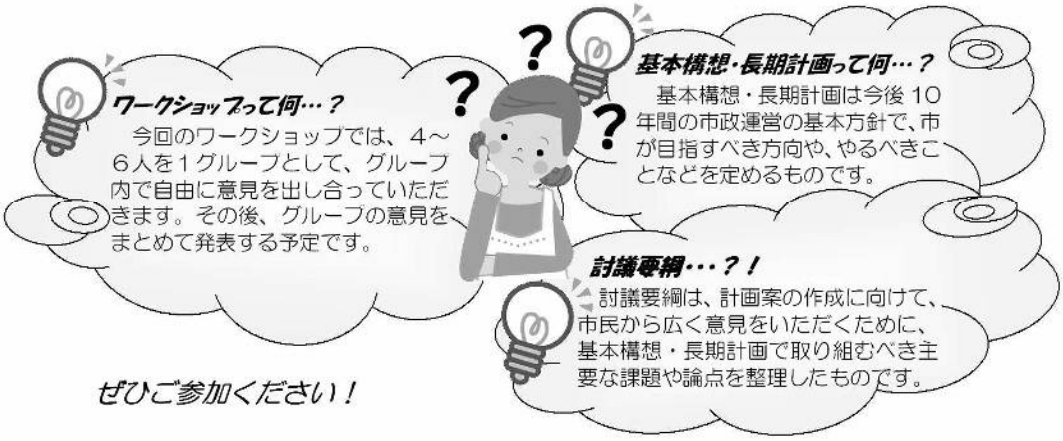
武蔵野市のことについて、みんなで話し合ってみませんか

武蔵野市で現在策定中の第五期基本構想・長期計画について、多くの市民の皆様に関心を持っていただき、またご意見を伺うために、無作為に選出された市民の方々によるワークショップを開催します。ワークショップの開催は、昨年11月に続いて2回目で、今回のテーマは第五期基本構想・長期計画の「討議要綱」についてです。

武蔵野市の今後10年間を展望する計画の元となる討議要綱について、日頃感じていることや考えていることなどを通して、皆様で話し合っていただく予定です。この機会に、住んでいるまちのことについて、いろいろな方と意見を交わしてみませんか。

※ 昨年 11 月に開催したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただくことが出来ます。
（URL：http://www.city.musashino.lg.jp/cms/sisaku/00/01/53/00015324.html）

※ 話し合いの結果は、第五期基本構想・長期計画策定委員会での議論の参考にいたします。



ぜひご参加ください！

※このご案内は、住民基本台帳から 18 歳以上の市民の方 1,000 人を無作為に選出してお送りしています。

（裏面）

1 日時等 ＊いずれか一日だけでも参加できますが、２日間とも参加できる方を優先します。

	第１日目	第２日目
日時	平成23年３月５日（土） 13：00～16：30（予定）	平成23年３月６日（日） 13：00～16：30（予定）
会場	武蔵野市役所　西棟８階　811会議室 （緑町２-２-２８）	
テーマ	＜討議要綱（予定）＞ 「健康・福祉」分野 「子ども・教育」分野	＜討議要綱（予定）＞ 「緑・環境・市民生活」分野 「都市基盤・行財政」分野

※ 討議要綱は、２月10日前後に市報特集号と市ホームページで公表する予定です。
※ テーマの中の分野・課題は選べません。

2 謝礼等　１日につき4,000円（源泉徴収後3,860円。４月20日前後に口座振替によりお支払いする予定です。）

3 参加定員数　参加を承諾した方100名

4 参加を承諾される方

（１）承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書にご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。**（平成２３年２月７日（月）必着）**

（２）参加者の決定

参加を承諾された方が100名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたします。参加を承諾された方全員に速やかに結果をご連絡いたします。

（３）その他

・参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんのでご留意ください。

・上記100名以外に、前回11月のワークショップに参加された方にもご参加いただく予定です。

5 参加を承諾されない方

お手数ですが、同封のアンケートにご協力をお願いいたします。FAXまたは同封の返信用封筒により平成23年２月28日（月）までにご返送ください。

6 その他　・託児・手話通訳が必要な方は、承諾書にご記入ください。
・討議要綱についてのご意見は、ワークショップ以外にも圏域別市民会議やパブリックコメント等でお寄せいただくことができます。

★お問い合わせ★
武蔵野市 企画政策室 企画調整課
〒180-8777　武蔵野市緑町２－２－２８
TEL　0422-60-1801
FAX　0422-51-5638
E-mail　sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

（２）承諾書兼振込依頼書

承諾書 兼 振込依頼書

私は、武蔵野市第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップの趣旨を理解し、参加することを承諾します。

平成 23 年＿＿＿月＿＿＿日

お 名 前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　昭・平・明・大　　年　　月　　日

ご 住 所　武蔵野市＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

●参加希望日

参加をご希望の日時を選んで○をご記入ください。１日だけでも、２日ともでもご参加いただけますが、２日間参加される方を優先いたします。

○を記入	日時	テーマ「討議要綱」（予定）
	平成 23 年３月５日（土） 13:00～16:30（予定）	「健康・福祉」分野 「子ども・教育」分野
	平成 23 年３月６日（日） 13:00～16:30（予定）	「緑・環境・市民生活」分野 「都市基盤・行財政」分野

※ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

●謝礼振込先

振 込 銀 行	銀行・信用金庫　　支店	
預 金 種 別	普通 当座	口座番号
口 座 名 義	住　所	
	フリガナ	
	氏　名	

●託児サービスを利用しますか。

①いいえ　・　②はい（お子さんのお名前＿＿＿＿＿＿＿＿年齢＿＿＿歳）

●手話通訳の配置が必要ですか。

①いいえ　・　②はい

※承諾書に記載された内容については、武蔵野市第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップの実施目的以外には使用いたしません。

（3）ワークショップのご案内（前回参加者用）

基本構想・長期計画の討議要綱について みんなで話し合ってみませんか

昨年11月には、お忙しい中、無作為抽出市民ワークショップにご参加くださいまして、ありがとうございました。その時出されたご意見を参考にしながら第五期基本構想・長期計画の策定作業が進み、取り組むべき主要な課題や論点を整理した討議要綱を公表することとなりました。この討議要綱をテーマに、前回同様、無作為に選出された市民の方によるワークショップを開催いたします。

武蔵野市の今後10年間を展望する計画の元となる討議要綱について、日頃感じていることや考えていることなどを通して、市民の皆様に話し合っていただく予定です。前回のワークショップとテーマを変えて、もう一度住んでいるまちのことについて、いろんな方と意見を交わしてみませんか。

※ 昨年 11 月に開催したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただくことが出来ます。
（URL：http://www.city.musashino.lg.jp/cms/sisaku/00/01/53/00015324.html）

※ 話し合いの結果は、第五期基本構想・長期計画策定委員会での議論の参考にいたします。

今回のワークショップは…

今回のワークショップも、4～6人を1グループとして、グループ内で自由に話し合っていただきます。その後、グループの意見をまとめて発表する予定です。どんな意見が出てくるか楽しみです！

基本構想・長期計画とは…

基本構想・長期計画は今後10年間の市政運営の基本方針で、市が目指すべき方向や、やるべきことなどを定めるものです。

討議要綱・・・？！

討議要綱は、計画案の作成に向けて、市民から広く意見をいただくために、基本構想・長期計画で取り組むべき主要な課題や論点を整理したものです。

ぜひご参加ください！

（４）ワークショップへのご案内（再送付）

ワークショップへのご案内
（再送付）

厳寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加についてご案内いたしましたが、ご都合はいかがでしょうか。

参加のご承諾の期限は２月７日（月）必着となっております。お忙しいとは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。また参加できない場合にも、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

今後とも、市政にご協力くださいますようお願いいたします。

日時：平成 23 年３月５日（土）13:00～
　　平成 23 年３月６日（日）13:00～

会場：武蔵野市役所西棟８階 811 会議室

※既にご返信いただいている場合はご容赦ください。

武蔵野市企画政策室企画調整課
TEL 0422-60-1801
FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

（５）参加承諾者への通知

各位

向春の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加のご案内をお送りしたところ、100 名を超える方にご快諾いただきました。まことにありがとうございます。

ご承諾いただいた方全員にご参加いただくことになりましたので、お知らせいたします。当日、このハガキをお持ちくださいますようお願いします。

なおワークショップは公開で行います。見学する方がいますのでご了承ください。

それでは、ご来場を心よりお待ちしております。

■日時：平成 23 年３月５日（土）、３月６日（日）
　　両日とも 13：00～
■会場：武蔵野市役所
　　西棟８階 811 会議室
　　（緑町２−２−28）
☆吉祥寺駅（北口①のりば）
柳沢駅前行き（武蔵野市役所経由）
「武蔵野市役所」下車
☆三鷹駅（北口①のりば）
北裏、武蔵関駅、田無橋場行き
「武蔵野市役所前」下車
☆武蔵境駅（北口⑤のりば）
三鷹駅行き「武蔵野営業所」下車徒歩８分

■お問い合せ■
武蔵野市企画政策室企画調整課
TEL 0422-60-1801　FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

（6）プログラム

（表紙）

第五期基本構想・長期計画
無作為抽出市民ワークショップ
討議要綱について

■日時　平成２３年３月５日(土)・６日(日)午後１時～４時30分
■場所　武蔵野市役所　８１１会議室

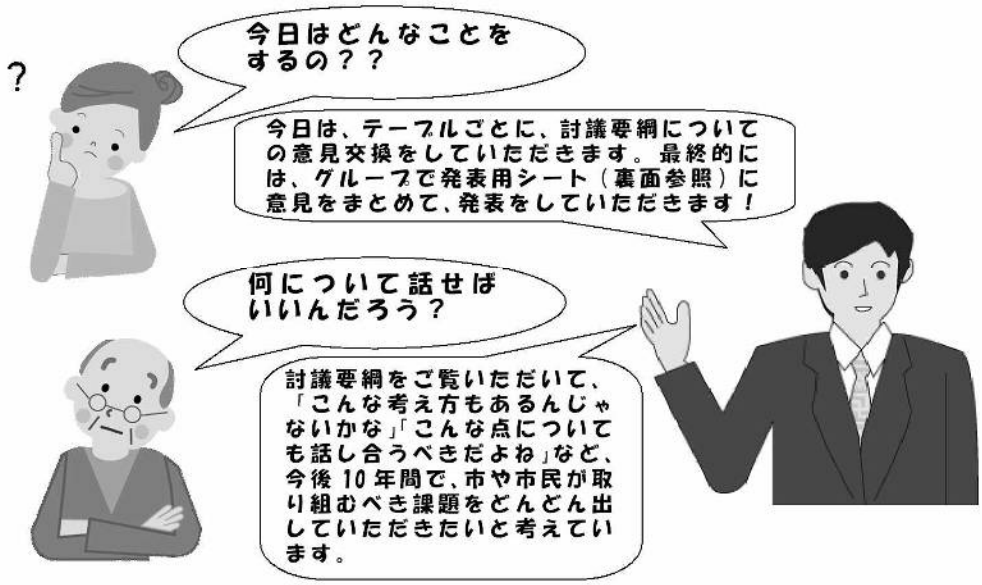
本日は、武蔵野市第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございます。
本日のワークショップは、計画策定にあたり、多様な市民参加の一環として行われる無作為選出市民による会議で、昨年11月に引き続き２回目の開催です。

基本構想・長期計画って何？

基本構想：市政運営の将来像、優先すべき政策、基本的な理念を示すものです。
長期計画：基本構想に基づき財政見通しのもと、個別計画との整合性を図ったうえで、計画期間内に優先して実施すべき、具体的な政策を示すものです。

討議要綱って何？

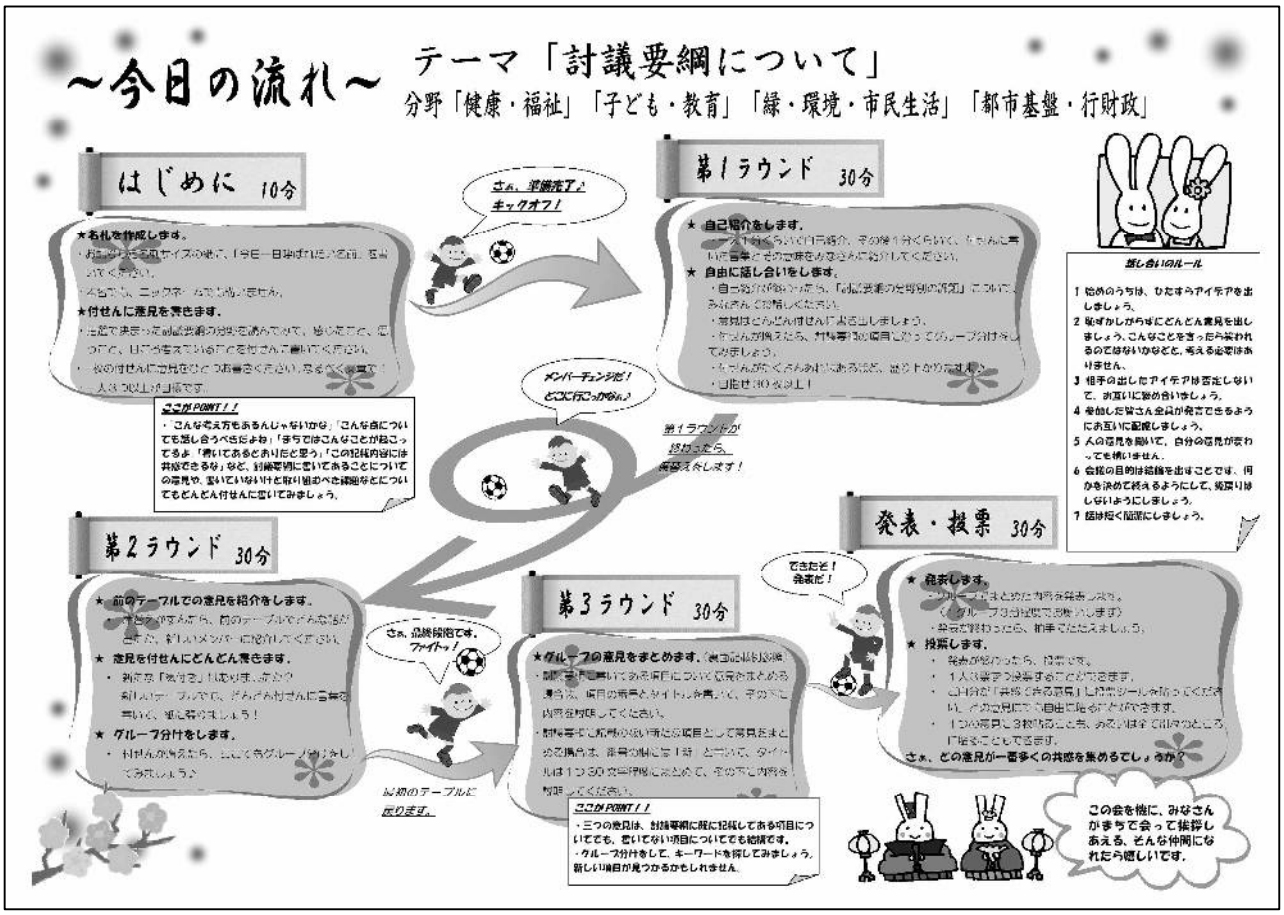
基本構想・長期計画を策定するにあたり、市民のみなさんから広く意見をいただくための「たたき台」として、計画の実行期間中に取り組むべき主要な課題や論点をまとめたものです。



どうぞ、自由に意見交換をしてみてください♪

資料

（内面）


～今日の流れ～
テーマ「討議要綱について」
分野「健康・福祉」「子ども・教育」「緑・環境・市民生活」「都市基盤・行財政」
はじめに 10分
★名札を作成します。
★付せんに意見を書きます。
ここがPOINT！！
・こんな考え方もあるんじゃないかな」「こんな点についても話し合うべきだよね」「まちではこんなことがおこってるよ」「書いてあるとおりだと思う」「この記載内容には共感できるな」など、討議要綱に書いてあることについての意見や、書いていないけど取り組むべき課題などについてもどんどん付せんに書いてみましょう。
さぁ、準備完了！キックオフ！
第1ラウンド 30分
★ 自己紹介をします。
★ 自由に話し合いをします。
・第1ラウンドが終わったら、第2ラウンドへ移ります！
メンバーチェンジだ！どこに行こっかなぁ♪
第2ラウンド 30分
★ 前のテーブルでの意見を紹介をします。
★ 意見を付せんにどんどん書きます。
★ グループ分けをします。
・付せんが増えたら、にてるグループ分けをしてみましょう♪
さぁ、後半戦です。ファイトッ！
初のテーブルに戻ります。
第3ラウンド 30分
★グループの意見をまとめます。
ここがPOINT！！
・三つの意見は、討議要綱に既に記載してある項目についてでも、書いてない項目についてでも結構です。
・グループ分けをして、キーワードを探してみましょう。新しい項目が見つかるかもしれません。
発表・投票 30分
できたぞ！発表だ！
★ 発表します。
★ 投票します。
さぁ、どの意見が一番多くの共感を集めるでしょうか？
この会を機に、みなさんがまちで会って挨拶しあえる、そんな仲間になれたら嬉しいです。
話し合いのルール
1 始めのうちは、ひたすらアイデアを出しましょう。
2 恥ずかしがらずにどんどん意見を出しましょう。こんなことをさっき言われるのではないかなどと、考える必要はありません。
3 相手の出したアイデアは否定しないで、お互いに盛り合いましょう。
4 発言した皆さん全員が発言できるようにお互いに配慮しましょう。
5 人の意見を聞いて、自分の意見が変わっても構いません。
6 会話の目的は結論を出すことです。何かを決めて終えるようにして、横道にそれないようにしましょう。
7 話は短く簡潔にしましょう。

（裏面）

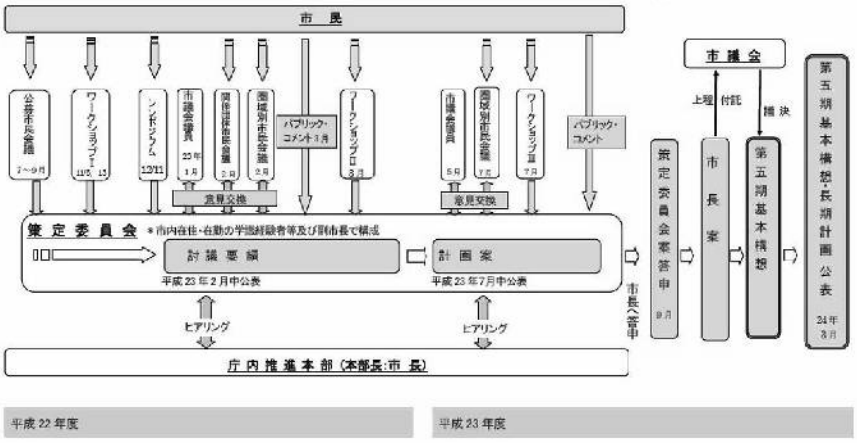
今日のワークショップで作っていただくのは、右のシートです。各グループごとにこのシートを作成し、最後に分野内で発表を行います。
難しく考えずに、思いついたことはどんどん話して、楽しく意見交換をしていきましょう！

＜発表用シート（記載例）＞

「討議要綱について」健康・福祉分野	グループ No.
メンバー ○○さん、△△ちゃん、・・・・・	
グループの意見	投票欄
4）地域福祉活動のあり方	
○○は、確かに深刻な問題である。□□をすることが大切なのではないか。	
2）新たな福祉ニーズへの対応	
○○へは△△するのが良いのではないか。□□が出来るようなまちであって欲しい。	
新 障害児、障害児をもつ家庭への支援	
△△は重要である。安心して生活が送れるように□□する必要があるのではないか。	

武蔵野市第五期基本構想・長期計画策定スケジュール（予定）

パブリックコメント（討議要綱に関する意見）は、3月15日（火）まで募集しています。本日グループで発表した意見以外にも、考えたことや気づいた視点などがありましたら、ぜひ事務局までお寄せください（提出先は、討議要綱表紙を参照）。



この後も様々な市民参加の機会がありますので、ぜひご意見をお寄せください。

（７）見学のルール

ワークショップ見学のルール

１ 見学の手続

ワークショップを見学しようとする人は、受付で住所および氏名を記入し、入室中は見学者名札を着用するものとします。

２ 見学の定員

見学の定員は、原則として１０人程度とし、事務局が会場の状況を考慮して決定します。

３ 会場に入ることができない人

(1) 銃器その他危険なものを所持している人
(2) 酒気を帯びていると認められる人
(3) 張り紙、ビラ、旗の類を所持している人
(4) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を所持している人
(5) 会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる人

４ 見学人の守るべき事項

(1) 一切の発言はできませんので、あらかじめご了承ください。
(2) 飲食又は喫煙はできません。
(3) 写真、ビデオ等の撮影又は録音はできません。ただし、特に事務局の許可を得た場合を除きます。
(4) ワークショップ開催中は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。
(5) その他ワークショップの運営に支障となる行為はしないでください。
(6) 話し合いの支障となるような行為は厳に慎んでください。
(7) 事務局の指示に従ってください。

５ その他

(1) 入退室は、進行に支障のないように配慮してください。
(2) 見学者は、事務局が会議の進行に支障があると判断した場合又は見学者がこのルールに定める事項に従わない場合で、事務局から退室の指示があったときは、直ちに退室しなければなりません。
(3) お帰りの際には、見学者名札を事務局へご返却ください。

第五期基本構想・長期計画
無作為抽出市民ワークショップⅡ
（平成 23 年３月５日・３月６日開催）
報告書

平成 23 年４月

発行　武蔵野市企画政策室企画調整課
〒180-8777　東京都武蔵野市緑町２丁目２番 28 号
電話 0422-60-1801